

(様式第 10)

東北病医 第 262 号
令和元 年

厚生労働大臣 殿

開設者 国立大学法人 東北大
大野 英

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 東北大

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院

3 所在の場所

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号	電話(022)717-7000
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科
5神経内科	⑥血液内科	7内分泌内科
⑨感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科
4腎臓内科		8代謝内科
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
<input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科 7内分泌外科 <input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 2小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科 <input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 8産科 <input checked="" type="checkbox"/> 9婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 10眼科 <input checked="" type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科 <input checked="" type="checkbox"/> 12放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 13放射線診断科 <input checked="" type="checkbox"/> 14放射線治療科 <input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
<input checked="" type="checkbox"/> 1小児歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 2矯正歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腎臓・内分泌内科 2 糖尿病・代謝内科 3 漢方内科 4 老年内科 5 心療内科 6 腫瘍内科 7 肝臓・胆のう・膵臓外科 8 胃腸外科 9 移植・食道・血管外科 10 乳腺・内分泌外科 11 形成外科 12 小児腫瘍外科 13 頭頸部外科 14 リハビリテーション科 15 病理診断科 16 脳神経内科 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5. 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	床	床	1118床	1160床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	374人	197人	560.7人	看 護 補 助 者	95人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	96人	87人	174.4人	理 学 療 法 士	23人	臨 床 検 査 技 師	118人
薬 剤 師	79人	1人	79.7人	作 業 療 法 士	9人	衛 生 検 査 技 師	3人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	16人	そ の 他	0人
助 産 師	58人	2人	59.1人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 正 師	0人
看 護 師	1190人	16人	1199.6人	臨 床 工 学 士	29人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	33人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	204人
歯 科 衛 生 士	10人	11人	20.7人	歯 科 技 工 士	9人	事 務 職 員	397人
管 理 栄 養 士	12人	0人	12人	診 療 放 射 線 技 師	70人	そ の 他 の 職 員	136人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	85人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	81人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	10人
精 神 科 専 門 医	14人	放 射 線 科 専 門 医	24人
小 児 科 専 門 医	40人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13人
皮 膚 科 専 門 医	14人	整 形 外 科 専 門 医	18人
泌 尿 器 科 専 門 医	9人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	19人	救 急 科 専 門 医	11人
		合 計	368人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (冨永 悌二) 任命年月日 平成31年 4月 1日

医療安全管理責任者(医療安全担当の副病院長)を平成28年4月1日から平成31年3月31日まで務め、医療安全監査委員会への対応、特定機能病院間のピアレビューの実施、高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等管理センター長業務、医療安全推進委員会や内部通報受付審査会等の業務等、医療に係る安全管理の業務に従事した。

また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員を務めながら、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	883.3人	26.1人	909.4人
1日当たり平均外来患者数	2,306.0人	641.9人	2,947.9人
1日当たり平均調剤数	1358.9 剤		
必要医師数	226人		
必要歯科医師数	24人		
必要薬剤師数	31人		
必要(准)看護師数	559人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	377.08m ²	鉄筋コンクリート	病床数	18床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 366m ² [移動式の場合] 台数 0台			病床数	25床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 251m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	705m ²	鉄骨造	(主な設備) 生化学、免疫検査装置			
細菌検査室	334m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	492m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	106m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台			
研究室	7,436m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	526m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	収容定員	460人
図書室	4,476m ²	鉄筋コンクリート	室数	4室	蔵書数	41万冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	76.6%	逆紹介率	43.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		21,953人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,136人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,873人
	D: 初診の患者の数		32,380人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療 報酬支払基金 宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律 事務所		法律に関する識見を有する者	有・ 無	1
原 忠篤	東北医科薬科 大学病院		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ 無	2
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
放射線照射前に大量メトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	1人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	1人
自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術 僧帽弁閉鎖不全症(感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六ヶ月以上経過した患者(再手術の適応が認められる患者に限る。))に係るものに限る。)	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がI B期以上及びII B期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がI A2期以上及びII B期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	0人
微小肺病変に対する切除支援マイクロコイル併用気管支鏡肺マッピング法	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	7人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	242人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	57人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とたわれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	201人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	103人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			

医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	105人
当該医療技術の概要 テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 ⁹⁰ Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	66人
当該医療技術の概要 自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			

医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要			
食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	49人
当該医療技術の概要			
胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみ使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	416人
当該医療技術の概要			
頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(抜歯等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	71人
当該医療技術の概要			
大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			

医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要			
<p>切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
<p>直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
<p>切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
<p>口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。</p>			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要			
<p>甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御的治療としては数少ない手段である。</p>			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	205人
当該医療技術の概要			
<p>急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。</p>			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	54人
当該医療技術の概要			
<p>血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。</p>			
医療技術名	エンドキシン吸着	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
<p>エンドキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。</p>			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要			
<p>緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。</p>			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
<p>ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。</p>			

医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	46人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度に抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			
医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能のため、術後早期回復に有用である。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	心臓大血管の仮性動脈瘤に対する経カテーテル的塞栓術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 心大血管に生じた仮性動脈瘤に対し、カテーテルを用いて選択的にコイル塞栓術を行い、低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取・調整・保存)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植患者の再発やウイルス感染に対し、移植ドナーの血液を連続的に体外循環してリンパ球分画を採取する(骨髄バンクでは100ml/ドナー体重(kg)を処理量上限と定めている)。漸増投与を行う場合は、CD3陽性Tリンパ球をカウントして患者体重あたりの細胞数で分割し、同日投与分以外は凍結保存する。			

医療技術名	Convection-enhanced delivery (CED)による悪性脳腫瘍の治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
再発悪性脳腫瘍および外科的治療が困難な脳幹部悪性脳腫瘍に対して、定位的に挿入したカテーテルから抗癌剤を持続陽圧下に脳細胞間隙に局所注入し、高濃度かつ広範囲の薬剤分布を得る新規薬剤投与方法。高度の医療技術を要し、開発途上にある医療である。			
医療技術名	難治てんかんに対する集学的外科治療	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要			
乳幼児から成人までてんかん科医師、小児科医、高次脳機能障害科医師、放射線診断科医、精神科医、生理検査技師、臨床心理士と協働で、外科治療の適応判断と治療を行い、長期予後とQOLの改善を図る。東北地方においては本学のみが提供している医療である。乳幼児については、遠隔医療システムによる連携で北海道地域の医師と協働で治療を提供している。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球、あるいは自己抗体を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			
医療技術名	二重濾過プラスマフェレーシス(血漿製剤で置換)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
血漿分離器で血漿成分を分離後、原因物質を含む血漿分画を廃棄して、アルブミン製剤等で置き換える治療法。新鮮凍結血漿を用いる場合は輸血に関連する感染事故のリスクやフィブリノーゲンの減少などが生じるなど、総合的な治療管理の資源を要する治療である。対象は神経疾患、天疱瘡、膠原病の難治性病態を呈する各種の内科疾患、および外科系では肝不全が対象となっている。			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要			
がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法で有り、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による円形脱毛症治療	取扱患者数	95人
当該医療技術の概要			
自己免疫性・炎症性反応に起因する脱毛性疾患に対する治療法である。特に急速進行の多発型、全頭型、全身型の脱毛症に適応となる。ステロイドパルス療法が脱毛性疾患に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普通化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			

医療技術名	切除境界腺癌に対する手術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
<p>膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。</p>			
医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
<p>食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。</p>			
医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要			
<p>センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。</p>			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
<p>顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。</p>			
医療技術名	子宮癌に対するロボット支援下手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
<p>子宮頸癌または子宮体癌に対して、内視鏡手術ロボット「da Vinci」を用いて手術を行うもの。当院で高難度新規医療として申請、認可済み。</p>			
医療技術名	腹腔鏡補助下臍頭十二指腸切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
<p>腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである臍頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。</p>			
医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術+十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
<p>病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少+糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。</p>			
医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	206人
当該医療技術の概要			
<p>多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。</p>			
医療技術名	小腸内圧検査	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
<p>多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に空腸内に挿入留置し、小腸の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびにバリウム透視では検出されない小腸運動異常を検出する検査である。慢性偽性腸閉塞症などの指定難病の診断に必須の検査である。</p>			
医療技術名	大腸内圧・バロスタット検査	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
<p>下部消化管内視鏡下に内圧カテーテルおよびバロスタットバックを下行結腸およびS状結腸内に挿入留置し、ネオスチグミン刺激および大腸拡張伸張刺激に対する運動変化および内臓知覚閾値を計測し、内視鏡ならびに大腸バリウム透視では検出されない大腸運動ならびに知覚異常を検出する検査である。慢性偽性腸閉塞症、大腸無力症、巨大結腸症などの診断を行う。</p>			

医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	90人
当該医療技術の概要 慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			
医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	93人
当該医療技術の概要 循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	252人
当該医療技術の概要 心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO、Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	多元的情報ソースを活用して早期診断を目指した認知症診断	取扱患者数	250人
当該医療技術の概要 以下の手法を用いた高度な人的物的資源による認知症診断：①脳脊髄液中のバイオマーカー（アミロイドβ蛋白、リン酸化タウ蛋白）の定量、②脳MRIによる形態画像解析（VSRAD advance）および脳血流シンチによる脳機能画像解析（3D-SSP）と読影専門医による総合評価、③専任臨床心理士による精神心理検査。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 胃癌組織（パラフィンブロック）を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性（HER2陰性）と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	がんクリニカルシーケンス検査	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療標的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 2 低位前方切除術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度（ステージ）が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除（根治手術）可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置（ロボット）を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下動脈後壁支持吻合術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 顕微鏡下動脈後壁支持吻合術は動脈にねじれの力をかけずに再建できる有用な手法である。これを生体部分肝移植における微小動脈再建に導入することで、動脈合併症軽減（閉塞、解離の軽減）に寄与すると考えられる。			
医療技術名	生体部分肝移植ドナー手術における小開腹ドナー肝切除法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 生体部分肝移植におけるドナーの体力的負担は非常に大きい。従来ドナー手術では安全性確保のため逆T字切開による大開腹が基本であったが、腹直筋が横断されるため術後筋力低下が指摘されていた。これは、ドナーの負担軽減と筋力低下阻止を目的として上腹部正中切開（小開腹＋場合によっては腹腔鏡補助）のみでのドナー手術を施行する新しい手術法である。			
医療技術名	植込み型補助人工心臓治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 深刻なドナー不足のため現在心臓移植待機期間は3年を超えている。内科的治療抵抗性の重症心不全で、心臓移植が唯一の治療手段だったとしても、待機中に亡くなってしまふ患者が多い。植込み型補助人工心臓は、心臓移植までの橋渡し治療として、2011年に保険償還が下り、当院でも患者数が増えている。患者は在宅治療が可能になりQOLが向上。			

医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 腎盂尿管狭窄による先天性あるいは後天性の水腎症に対する手術である。従来は開腹あるいは腹腔鏡下での手術を行っていたが、ロボット支援手術による繊細な形成術と吻合によって良好な成績を収めている。			
医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対する ω 3系脂肪製剤投与	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、 ω 3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤は ω 6系脂肪製剤のみである。入手可能な ω 3系脂肪製剤はOMEGA VENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。			
医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の腔内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。			
医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	43人
当該医療技術の概要 歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎位復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚥下機能、審美的満足度の向上がはかれる。			
医療技術名	グラスファイバー補強高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 コンポジットレジンブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。			
医療技術名	リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫に対して、1mm以下の細いリンパ管を静脈と吻合する、高度な技術を必要とする手術である。			
医療技術名	ロボット支援下食道切除術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 高度な技術が求められる胸腔鏡下食道癌手術において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより反回神経麻痺の発生を抑制できるなどの効果が認められている。高度な技術と知識を要する手術である。			
医療技術名	食道癌放射線治療後の局所再発に対する光線力学療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 食道癌放射線治療後の局所再発に対して内視鏡下に行う治療方法。光感受性物質であるレザフィリンとレーザーを組み合わせ腫瘍細胞を壊死させる。Salvage食道切除術と比べ非侵襲的であり、かつ局所制御に優れている。			
医療技術名	リツキサンによる術前脱感作療法後の血液型不適合生体肝移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 生体部分肝移植におけるドナー適応拡大のため血液型不適合移植が施行されてきたが、生着率・生存率が低いことが問題であった。当院は昨年より多施設共同試験に参加する形で脱感作療法後の血液型不適合肝移植を開始した。超高抗体価血液型不適合肝移植にも適応を拡大し良好な結果を出している。			
医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			

医療技術名	胸椎後縦靭帯骨化症に対する3Dナビゲーションを用いた骨化巣前方浮上術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
<p>下肢に重篤な麻痺を生じる病態である胸椎後縦靭帯骨化症に対しては、その解剖学的な位置関係から前方の骨化巣を浮上させる極めて高度かつ難易度の高い手技が要求される。当院では3Dナビゲーションを用いた方法を導入している。</p>			
医療技術名	脳磁図検査によるてんかん焦点の局在診断と機能野の同定	取扱患者数	114人
当該医療技術の概要			
<p>ニューロンが活動する際に生じる磁場活動から活動源の皮質を評価する検査法である。優れた空間分解能を特徴とし、てんかん診断のみならずてんかん外科治療の術前診断にも重要な役割を果たす。一方で、専門性の高さなどのため、本邦で実施できる施設は東北大学を含め極めて限られている。</p>			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球腎性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	158
2	筋萎縮性側索硬化症	127	57	特発性拡張型心筋症	202
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	1
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	27
5	進行性核上性麻痺	28	60	再生不良性貧血	45
6	パーキンソン病	157	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	11	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6
8	ハンチントン病	5	63	特発性血小板減少性紫斑病	65
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	2	65	原発性免疫不全症候群	1
11	重症筋無力症	78	66	IgA腎症	45
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	45
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	266	68	黄色靱帯骨化症	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	28	69	後縦靱帯骨化症	70
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クドウ・深瀬症候群	8	71	特発性大腿骨頭壊死症	65
17	多系統萎縮症	42	72	下垂体性ADH分泌異常症	2
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	92	73	下垂体性TSH分泌亢進症	17
19	ライゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	1
20	副腎白質ジストロフィー	19	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	3	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	11
22	もやもや病	76	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	210
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多発性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	9	82	先天性副腎低形成症	6
28	全身性アミロイドーシス	4	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	7	84	サルコイドーシス	263
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	72
31	ベスレムミオパチー	8	86	肺動脈性肺高血圧症	2
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	105
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	7
34	神経線維腫症	46	89	リンパ管筋腫症	103
35	天疱瘡	33	90	網膜色素変性症	100
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	2	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	11	93	原発性胆汁性肝硬変	77
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	99	95	自己免疫性肝炎	19
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	377
42	結節性多発動脈炎	61	97	潰瘍性大腸炎	399
43	顕微鏡的多発血管炎	26	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	25	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	9
46	悪性関節リウマチ	32	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	18	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	4
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	14	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	555	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	228	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	80	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	84	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	63	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	27	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	1	110	ブラウ症候群	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	3	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	25
113	筋ジストロフィー	15	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	2
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	5
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	4
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	6
122	脳表へモジリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性性脳動脈症	0	174	那須・ハコフ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	9	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(三相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	3	190	鰓耳腎症候群	1
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	1
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソトス症候群	2
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	7	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	6
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	13

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
1	三尖弁閉鎖症	260	シトステロール血症	0
1	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261	タンジール病	0
7	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262	原発性高カイロミクロン血症	0
10	ファロー四徴症	263	脳腫黄色腫症	0
7	両大血管右室起始症	264	無βリポタンパク血症	0
0	エプスタイン病	265	脂肪萎縮症	0
2	アルポート症候群	266	家族性地中海熱	1
1	ギャロウェイ・モフト症候群	267	高IgD症候群	4
1	急速進行性糸球体腎炎	268	中條・西村症候群	0
0	抗糸球体基底膜腎炎	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
36	一次性ネフローゼ症候群	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
0	一次性慢性増殖性糸球体腎炎	271	強直性脊椎炎	19
3	紫斑病性腎炎	272	進行性骨化性線維異形成症	0
0	先天性腎性尿崩症	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
1	間質性膀胱炎(ハンナ型)	274	骨形成不全症	1
8	オスラー病	275	タナトフォリック骨異形成症	0
0	閉塞性細気管支炎	276	軟骨無形成症	1
2	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
11	肺胞低換気症候群	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	2
0	α1-アンチトリプシン欠乏症	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
0	カーニー複合	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	3
3	ウォルフラム症候群	281	クリッペル・トレノニー・ウェーバー症候群	11
0	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
1	副甲状腺機能低下症	283	後天性赤芽球癆	0
1	偽性副甲状腺機能低下症	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
1	副腎皮質刺激ホルモン不応症	285	ファンconi貧血	1
1	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
0	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	287	エプスタイン症候群	1
1	フェニルケトン尿症	288	自己免疫性出血病XIII	1
5	高チロシン血症1型	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
0	高チロシン血症2型	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
0	高チロシン血症3型	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
0	メーブルシロップ尿症	292	総排泄腔外反症	0
1	プロピオン酸血症	293	総排泄腔遺残	1
1	メチルマロン酸血症	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
2	イソ吉草酸血症	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
0	グルコーストランスポーター1欠損症	296	胆道閉鎖症	24
0	グルタル酸血症1型	297	アラジール症候群	2
0	グルタル酸血症2型	298	遺伝性膝炎	2
0	尿素サイクル異常症	299	囊胞性線維症	1
2	リジン尿性蛋白不耐症	300	IgG4関連疾患	55
0	先天性葉酸吸収不全	301	黄斑ジストロフィー	1
0	ポルフィリン症	302	レーベル遺伝性視神経症	4
1	複合カルボキシラーゼ欠損症	303	アッシャー症候群	1
4	筋型糖原病	304	若年発症型両側性感音難聴	0
0	肝型糖原病	305	遅発性内リンパ水腫	1
4	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	306	好酸球性副鼻腔炎	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシニン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	1	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	2	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算1、3
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)(精神病棟13対1)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・救命救急入院料3
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・看護職員夜間配置加算1(16対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)(新生児集中治療室管理料)
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1、2	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	・緩和ケア病棟入院料1
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・糖尿病合併症管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・精密触覚機能検査
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ	・骨髄微小残存病変量測定
・外来緩和ケア管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体 特異性同定検査)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)(造血幹細胞移植 後)	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判 定)
・糖尿病透析予防指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・国際標準検査管理加算
・外来放射線照射診療料	・遺伝カウンセリング加算
・ニコチン依存症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実 加算	・胎児心エコー法
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・排尿自立指導料	・ヘッドアップティルト試験
・肝炎インターフェロン治療計画料	・人工膀胱検査、人工膀胱療法
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・薬剤管理指導料	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・脳波検査判断料1
・医療機器安全管理料1、2	・神経学的検査
・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管 理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料	・補聴器適合検査
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・内服・点滴誘発試験
・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	・画像診断管理加算1、2
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・歯科画像診断管理加算1、2
・遺伝学的検査	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・CT撮影及びMRI撮影
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・冠動脈CT撮影加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外傷全身CT加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・心臓MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・乳房MRI撮影加算	・手術用顕微鏡加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・CAD/CAM冠
・外来化学療法加算1	・手術時歯根面レーザー応用加算
・無菌製剤処理料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・センチネルリンパ節加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・皮膚移植術(死体)
・運動器リハビリテーション料(I)	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・児童思春期精神科専門管理加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・羊膜移植術
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・口腔粘膜処置	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・口腔粘膜血管腫凝固術	・網膜再建術
・レーザー機器加算	・人工中耳植込術
・硬膜外自家血注入	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・人工腎臓	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・同種心移植術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・同種心肺移植術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	
・同種死体肺移植術	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・生体部分肺移植術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
	・腹腔鏡下肝切除術
	・生体部分肝移植術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体肝移植術
・内視鏡下筋層切開術	・体外衝撃波膵石破砕術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・磁気ナビゲーション加算	・生体部分小腸移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・同種死体小腸移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・同種死体腎移植術
・補助人工心臓	・生体腎移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・膀胱水圧拡張術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)(子宮頸がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・口腔病理診断管理加算2
・輸血管管理料 I	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・貯血式自己血輸血管管理体制加算	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・自己生体組織接着剤作成術	・
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・
・麻酔管理料(I)(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7. 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	290回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 23例 / 剖検率 3.8%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
歯を用いた内部被曝量のスクリーニング	高橋 温	障害者歯科治療部	1,700,000	③ 委 日本学術振興会
呼吸・循環障害を合併した高度肥満症への包括的リハビリテーションの有効性の確立	高橋 珠緒	内部障害リハビリテーション科	600,000	③ 委 日本学術振興会
次世代シークエンサー、マイクロアレイを用いた頭頸部多段階発がん機構の解明	中目 亜矢子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	700,000	③ 委 日本学術振興会
咀嚼機能の向上は代謝性疾患治療の基盤となる	土谷 忍	顎口腔機能治療部	800,000	③ 委 日本学術振興会
MST法による卵細胞質機能低下克服への挑戦:次世代への安全性の担保も目指して	立花 眞仁	産科・婦人科	2,700,000	③ 委 日本学術振興会
Pannexin3を応用した歯周炎における抗炎症薬および新骨再生療法の開発	石河 真幸	保存修復科	2,500,000	③ 委 日本学術振興会
慢性腎臓病における代謝性アシドーシスの治療介入がもたらす腎保護機序の解明	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	1,100,000	③ 委 日本学術振興会
安全文化の形成に寄与できる初期研修医からの医療安全教育プログラムの開発	田畑 雅央	卒後研修センター	1,200,000	③ 委 日本学術振興会
門脈血代謝産物一斉解析による非アルコール性脂肪性肝炎と肝小胞体ストレスの関係解明	嘉数 英二	消化器内科	1,400,000	③ 委 日本学術振興会
難治性冠縮性狭心症患者における冠微小循環障害バイオマーカーに関する検討	高橋 潤	循環器内科	800,000	③ 委 日本学術振興会
マルチバイオマーカーによる慢性循環不全患者の多臓器障害連関の病態解明	建部 俊介	循環器内科	1,200,000	③ 委 日本学術振興会
血管機能検査による内腸骨動脈塞栓に伴う腎筋跛行の予測	赤松 大二朗	移植・再建・内視鏡外科	2,000,000	③ 委 日本学術振興会

COPD病態における自然リンパ球の関与およびその制御機構の解明	小荒井 晃	呼吸器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
ミネラルコルチコイド受容体コリプレッサーを標的にした糖尿病性腎症治療薬の創薬	工藤 正孝	腎・高血圧・内分泌科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患の肝臓におけるインスリンシグナル関連遺伝子発現の解析	澤田 正二郎	糖尿病代謝科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
ミトコンドリア関連新規髄鞘化障害遺伝子の機能解析	植松 貢	小児科	600,000	補 委	日本学術振興会
毛様細胞性星細胞腫微小残存病変の検出と臨床応用	渡辺 祐子	小児科	700,000	補 委	日本学術振興会
ABCA3変異を有する2型肺胞上皮細胞前駆細胞を用いた肺胞修復薬剤の探索	大田 千晴	小児科	900,000	補 委	日本学術振興会
ヒツジ胎仔の長期哺育によるポンプレス人工胎盤システムの安全性評価	渡邊 真平	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補 委	日本学術振興会
妊娠中期に動脈管の血管リモデリングを促進させる因子の解明	齋藤 昌利	産科・婦人科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
腫瘍随伴性マクロファージをターゲットとした悪性黒色腫新規免疫療法の開発	藤村 卓	皮膚科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
簡便な認知機能評価による早期精神病の転帰予測研究	大室 則幸	精神科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
副腎静脈サンプリング技術を応用した原発性アルドステロン症の低侵襲的治療法の開発	清治 和将	放射線診断科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応の病態解明とIL-17を介した新規治療法の開発	松田 安史	呼吸器外科	700,000	補 委	日本学術振興会
スタンフォードB型解離の大動脈径拡大のメカニズムの解析と予測方法の開発	吉岡 一朗	心臓血管外科	700,000	補 委	日本学術振興会

経口放射性薬剤による乳糜胸の重症度・胸管損傷部位の非侵襲的診断法の確立	高浪 健太郎	放射線診断科	500,000	補 委	日本学術振興会
整形外科術後感染症早期診断に向けた手術侵襲による全身性炎症反応の病態解明	小坏 知明	整形外科	900,000	補 委	日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スキスのトランスクリプトーム解析によるPONVの機序解明	杉野 繁一	手術部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
胎児心電図装置を応用した胎児脳機能発達異常検出法の開発	西郡 秀和	産科・婦人科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
パルスジェットメスによる精度の高い腹腔鏡下神経温存広汎子宮全摘出術の開発	岡本 聡	産科・婦人科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
加齢性難聴になりにくいマウスを用いた感音難聴発症機序の解明と予防法の開発	鈴木 淳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
神経線維腫症Ⅱ型に対する蝸牛温存型低侵襲水中内視鏡下経迷路法の確立に関する研究	山内 大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による頭頸部非扁平上皮癌の新規ターゲット分子解析	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補 委	日本学術振興会
新規同定した長鎖非翻訳RNAによる歯髄細胞増殖・分化誘導機序の解明	鈴木 茂樹	歯周病科	800,000	補 委	日本学術振興会
ウェアラブル機器を用いた妊婦の身体活動の可視化による活動パターンと評価指標の検討	伊藤 直子	医・保健学科ウイメンズヘルズ看護学分野 中村 康香助教(東6階病棟)	1,000,000	補 委	日本学術振興会
新しいドナー肺保存法CVLPの開発	野田 雅史	呼吸器外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
精神病発症リスク状態に対するメタ認知トレーニングの実施可能性と有効性の検討	濱家 由美子	精神科	700,000	補 委	日本学術振興会
12誘導心電図伝送システムが急性心筋梗塞診療に及ぼす影響に関する研究	羽尾 清貴	循環器内科	500,000	補 委	日本学術振興会

炎症性中枢神経疾患の病態に基づいた脳脊髄液中診断・予後推測因子の確立	西山 修平	神経内科	800,000	補 委	日本学術振興会
ミトコンドリア遺伝子発現不全に伴う新たな髄鞘化障害疾患概念の提唱	市野井 那津子	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
膵癌神経周囲浸潤におけるFbxw7/Notch1/ケモカインによる制御機構の解明	益田 邦洋	肝・胆・膵外科	900,000	補 委	日本学術振興会
胆道癌移植モデルを用いた脱ユビキチン化酵素の機能解析と新規薬物療法の開発	石田 晶玄	肝・胆・膵外科	600,000	補 委	日本学術振興会
二次性大動脈食道瘻の病因解明と早期診断システムの構築	早津 幸弘	心臓血管外科	900,000	補 委	日本学術振興会
Nrf2誘導剤による放射線粘膜炎の緩和効果の検討	大越 明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
緑内障臨床応用を見据えた網膜・眼表面におけるRho kinase阻害薬の作用解明	横山 悠	眼科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収におけるADAMTS4発現に対する高分子量ヒアルロン酸の効果	片岡 良浩	歯科顎口腔外科	500,000	補 委	日本学術振興会
放射線認知障害: Advanced MR による発症機構解明と動物モデルによる検証	麦倉 俊司	放射線診断科(放射線部)	8,330,000	補 委	日本学術振興会
味覚障害の病因解明と治療戦略の構築ー日本一タイ二国間比較研究ー	庄司 憲明	口腔診断科	3,100,000	補 委	日本学術振興会
網羅的解析で家族性ALSに見出した新規遺伝子変異の病原性解明	西山 亜由美	神経内科	900,000	補 委	日本学術振興会
ゲノム編集を応用したFGFRシグナル制御によるヒトiPS細胞の歯胚分化誘導	堀江 尚弘	咬合修復科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
歯科口腔保健指標とフレイルに関わる前向きコホート研究	小宮山 貴将	高齢者歯科治療部	800,000	補 委	日本学術振興会

切削用医療機器に固着するヒト由来組織の安全な除染法と自動化に関する研究	金澤 悦子	材料部	700,000	補委	日本学術振興会
語性失読の障害機序の解明と、それに基づいた訓練手技の開発に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部門	600,000	補委	日本学術振興会
低悪性度神経膠腫症例における言語機能再編の解明と言語療法の確立	飯塚 統	高次脳機能障害科(リハビリテーション部)	1,100,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による神経栄養因子発現と二次損傷抑制	菅野 晴夫	整形外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
糖鎖とNK細胞の相互作用を用いた切除不能腎癌に対する新規免疫療法の確立	川崎 芳英	泌尿器科	1,000,000	補委	日本学術振興会
甲状腺未分化癌に対する新規治療法および治療薬の開発	西條 憲	腫瘍内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
抗CCP抗体産生B細胞レパトア解析による新規関節リウマチモニタリング方法の開発	石井 智徳	血液・免疫科(臨床研究推進センター)	1,200,000	補委	日本学術振興会
認知行動療法が心身症患者の自己評価機能に及ぼす効果の脳画像による検証	佐藤 康弘	心療内科	400,000	補委	日本学術振興会
原因不明の消化器症状と食思不振患者における脳一消化管神経機能の類似性の検討	庄司 知隆	心療内科	900,000	補委	日本学術振興会
高齢患者むけ自記式調査票のユニバーサルデザイン化を実現するための研究	富田 尚希	加齢・老年病科	800,000	補委	日本学術振興会
食道ESD後難治性狭窄に対する自家細胞移植を用いた狭窄予防効果に関する研究	櫻井 直	移植・再建・内視鏡外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
α シヌクレインを介するヒストン修飾機構の解明	菅野 直人	神経内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
生体内分化誘導によるALS神経再生戦略の開発	割田 仁	神経内科	1,400,000	補委	日本学術振興会

病因特異的治療の可能性を秘めた新規コレステロール合成経路代謝異常症の疾患概念確立	菊池 敦生	小児科	1,100,000	補委	日本学術振興会
胎生期のsubplate neuron損傷が脳の成長発達に与える影響の解析	埴田 卓志	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補委	日本学術振興会
表皮内鉄代謝と炎症性皮膚疾患	浅野 雅之	皮膚科	1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔癌の顎骨浸潤と浮腫・炎症の鑑別に有効な客観的画像診断指標の確立	村田 隆紀	放射線診断科	900,000	補委	日本学術振興会
マージナルドナー肝移植とMuse細胞移植を融合した新たな末期肝不全治療法の開発	宮城 重人	移植・再建・内視鏡外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
代謝手術のNASH改善効果 酸化ストレスからみた空置空腸の意義	田中 直樹	胃腸外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
緑色蛍光タンパク質結合一本鎖人工抗体を用いた癌可視化システムの構築および臨床応用	林 洋毅	肝・胆・膵外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
膵インスリノーマにおけるプロゲステロン受容体発現意義の解明	青木 豪	肝・胆・膵外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
心筋炎における新たな細胞治療	高橋 悟朗	心臓血管外科	500,000	補委	日本学術振興会
ナノバブル発生技術を用いた脊髄液酸素化による対麻痺への新たな治療法の探求	秋山 正年	心臓血管外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
動脈瘤壁の治癒と穿通枝温存を両立する紡錘状動脈瘤治療用ステントの開発	遠藤 英徳	脳神経外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
日本人ゲノム解析ツールによる股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の探索	千葉 大介	整形外科	900,000	補委	日本学術振興会
麻酔薬によるKv1.3チャネルを介した免疫抑制作用の機序解明と予後改善戦略	外山 裕章	麻酔科	700,000	補委	日本学術振興会

骨盤内臓器神経クロストークの病態解明と難治性骨盤痛症候群における新規治療法の開発	川守田 直樹	泌尿器科	1,200,000	補委	日本学術振興会
ハイドロゲル埋め込み電極を用いた治療的電気刺激による嚙下障害治療モデルの開発	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
マイクロ波ドライプロセスによる歯科インプラントアバットメントのTiN表面改質	伊藤 彩	周術期口腔支援センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
経年的CTデータ分析に基づく顎骨リモデリングFEAの開発	重光 竜二	咬合回復科	700,000	補委	日本学術振興会
頭頸部腫瘍切除に伴う下顎骨付着筋の切断が及ぼす下顎位偏位、歯列変形への影響	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
Hif1 α の役割解明に基づくiPS細胞由来歯性上皮細胞への新規分化誘導方法の確立	吉田 倫子	矯正歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
矯正歯の移動時における振動刺激の骨リモデリング亢進に対するTGF β の機能解析	佐々木 紀代	矯正歯科	1,100,000	補委	日本学術振興会
γ δ T細胞が制御する骨代謝機構の解明と骨破壊性疾患分子標的薬の可能性の検討	西村 寿晃	顎口腔機能治療部	1,100,000	補委	日本学術振興会
GDF-5と歯髄幹細胞ニッチを併用した新たな象牙質再生療法樹立の試み	丸谷 由里子	小児歯科	700,000	補委	日本学術振興会
主観的評価による臨床評価手法の最適化に基づく革新的医療機器開発促進のための研究	保坂 実樹	臨床研究推進センター	800,000	補委	日本学術振興会
心臓リハビリテーションにおける肺高血圧症の新たな非侵襲的重症度評価法の開発	秋月 三奈	リハビリテーション部門	800,000	補委	日本学術振興会
腱板修復術後患者の修復腱板に加わる張力の定量的評価法の開発	石川 博明	リハビリテーション部門	1,100,000	補委	日本学術振興会
T細胞,B細胞受容体レパトア解析新技術を用いた乳癌治療効果予測モデルの開発	宮下 穰	乳腺・内分泌外科	1,000,000	補委	日本学術振興会

左室駆出率が保たれた心不全の日米比較	後岡 広太郎	臨床研究推進センター	700,000	補委	日本学術振興会
食道・胃上皮内アセトアルデヒド濃度測定とL-システイン製剤による発癌抑制への試み	八田 和久	消化器内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
微小血管狭心症の病態機序における内皮由来過分極因子の重要性の解明	白戸 崇	臨床研究推進センター	1,000,000	補委	日本学術振興会
EGFR(上皮成長因子受容体)遺伝子変異陽性肺癌における遺伝学的機序の解明	東出 直樹	呼吸器内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
中枢性炎症性脱髄疾患における虚血性組織障害の関与とその治療応用	高井 良樹	神経内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
MYC陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫における免疫監視機構分子発現の意義	市川 聡	血液・免疫科	1,500,000	補委	日本学術振興会
ターゲットシーケンス法による全前脳胞症の遺伝学的診断基盤の確立	阿部 裕	小児科	1,500,000	補委	日本学術振興会
Pelizaesus-Merzbacher病治療薬の簡便なスクリーニング法の開発	植松 有里佳(沼田)	小児科	1,600,000	補委	日本学術振興会
ポンプレス人工胎盤システムの開発: 人工羊水に対する濾過殺菌法の検討	佐藤 信一	小児科(周産母子センター)	1,000,000	補委	日本学術振興会
尋常性白斑の治療への応用をモデルとしたMuse細胞再生医療応用可能性の検討	土山 健一郎	皮膚科	1,700,000	補委	日本学術振興会
MRIと流体シミュレーションによる脳脊髄液の動態生理と正常圧水頭症の病態の解明	鎌田 裕基	放射線診断科	1,000,000	補委	日本学術振興会
神経膠腫の術前画像診断のためのT1rho MRIの撮像法と評価法の確立	明石 敏昭	放射線診断科	500,000	補委	日本学術振興会
Metomidateを使った原発性アルドステロン症の新たな診断法の確立	外山 由貴	放射線診断科	1,200,000	補委	日本学術振興会

補体結合性抗HLA抗体とIgGサブクラスの臓器移植後慢性拒絶反応における役割	戸子台 和哲	移植・再建・内視鏡外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
てんかんモニタリング入院精査の心理社会的介入効果の実証:術前多施設コホート研究	藤川 真由	てんかん科	900,000	補委	日本学術振興会
新規低弾性チタン合金であるTi-Nb-Sn合金を用いた骨折治療インプラントの開発	上村 雅之	整形外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
腱板断裂に対する肩関節再建手術後の筋活動評価ー新たな定量的解析の試みー	八田 卓久	整形外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
患者皮膚から誘導する神経膠様細胞を用いた難治性疼痛に対する移植治療	村上 徹	麻酔科	1,100,000	補委	日本学術振興会
子宮内膜症への網羅的TCRレパトリー解析の導入;新規子宮内膜症治療戦略に向けて	渡邊 善	婦人科	900,000	補委	日本学術振興会
マウス緑内障モデル動物の網膜神経節細胞死における転写因子Sp1の関与	津田 聡	眼科	1,800,000	補委	日本学術振興会
骨形成能を有する生体吸収性マグネシウム合金の可能性ー骨代謝に与える影響の検討ー	三浦 千絵子	形成外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
インフラマソームを標的とした低出力超音波パルスを用いた新規歯内治療の基盤構築	須藤 瑞樹	歯周病科	1,200,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞のNotchシグナル制御を基盤とした顎骨再生の試み	鎌野 優弥	咬合修復科	1,600,000	補委	日本学術振興会
非侵襲的脳機能イメージング法を用いた歯根膜感覚受容変化メカニズムの解明	日原 大貴	咬合回復科	900,000	補委	日本学術振興会
脂肪細胞に発現するCXCL12の破骨細胞形成および矯正学的歯の移動への影響	島 和弘	矯正歯科	1,400,000	補委	日本学術振興会
アクチン結合蛋白質の歯胚形成における役割の解析	日野 綾子(宮本綾子)	小児歯科	1,000,000	補委	日本学術振興会

ナノアパタイトと低出力超音波パルスを基軸とした新規歯周組織再生療法の基盤構築	向阪 幸彦	歯周病科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
失語症患者のためのQOL評価尺度の開発とQOL予測アルゴリズムの作成	成田 涉	高次脳機能障害科	500,000	補 委	日本学術振興会
トランスプロフェッショナル教育モデルを用いた卒前医学教育プログラム開発とその検証	田中 淳一	総合地域医療教育支援部	900,000	補 委	日本学術振興会
マルファン症候群から迫る新規歯周病ペプチドの創製	折本 愛	保存修復科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
診断群分類包括評価データの人工知能解析を基盤とする新規の集中治療管理戦略	志賀 卓弥	集中治療部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
頭部外傷後精神疾患:包括的な支援体制の構築と発症要因特定のための研究基盤の形成	佐久間 篤	精神科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
DNAメチル化調整による神経堤様MSCスフェアの分化能制御 H30年度に交付申請	新部 邦透	咬合修復科	12,000,000	補 委	日本学術振興会
小児薬物療法における適応外使用の安全性評価	吉田 真貴子	薬剤部	390,000	補 委	日本学術振興会
高齢者におけるポリファーマシーと有害事象調査に基づくリスク管理	佐藤 真由美	薬剤部	420,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病患者におけるがん化学療法時のデキサメタゾンの有用性と安全性に関する研究	佐藤 歩	薬剤部	350,000	補 委	日本学術振興会
高齢者における経口分子標的抗がん薬の適正使用に関する研究	細野 寛貴	薬剤部	530,000	補 委	日本学術振興会
鉛シートを用いた放射線防護装置内の検証とそれに基づいた製作法	佐々木 聡	歯科技術部門(技工室)	450,000	補 委	日本学術振興会
上皮系細胞から上皮間葉転換(EMT)誘導を応用した歯胚形成	齋藤 幹	小児歯科	3,500,000	補 委	日本学術振興会

医一獣医連携による未来型EX VIVO医療技術トレーニングシステムの構築	野田 雅史	呼吸器外科	4,400,000	補 委	日本学術振興会
超微小転移リンパ節の精密診断と新化学療法に関する総合的研究	阪本 真弥	口腔診断科	5,000,000	補 委	日本学術振興会
浸潤病変の局所制御と術後機能温存を両立する微弱衝撃波パルスジェットメスの開発	中川 敦寛	脳神経外科	13,300,000	補 委	日本学術振興会
がん患者家族における複雑性悲嘆のリスクアセスメント:死別前後の比較検討	佐竹 宣明	緩和医療部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
OATP4C1の薬物体内動態への関与	山口 浩明	薬剤部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
長期コホート調査によるビッグデータに基づく稀な難治性リンパ腫の臨床病理学的研究	福原 規子	血液・免疫科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来神経オルガノイドを用いた筋萎縮性側索硬化症の軸索病態の解析	鈴木 直輝	神経内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
統合失調症発症過程と海馬グルタミン酸神経系の異常:感情経路仮説に基づくMRS解析	伊藤 文晃	精神科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
乳癌術中迅速断端診断のためのMRI拡散強調画像撮像技術の開発	森 菜緒子	放射線診断科	2,000,000	補 委	日本学術振興会
骨形成不全症の分子基盤の解明とWntシグナルとOASISの活性化による新規治療	菅野 潤子	小児科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
膵上皮内癌周囲の膵腺房細胞萎縮に着目した膵癌早期診断の基礎的研究	菅野 敦	消化器内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症における新規分子病態を基盤としたバイオマーカーの開発	菊地 順裕	循環器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
抗血管リンパ管新生療法は癌微小環境を改善し癌免疫療法の効果を増強する	岡崎 達馬	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	1,100,000	補 委	日本学術振興会

肺上皮細胞における転写因子LHX9の機能とCOPD病態における役割解明	山田 充啓	呼吸器内科	1,700,000	補委	日本学術振興会
新鮮気道分泌液の質的变化に起因する粘膜防御能脆弱化メカニズムの解明とその制御	玉田 勉	呼吸器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
リンパ管を標的とした新たな胸膜炎治療の検討	小林 誠	呼吸器内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
喘息気道における上皮破綻のメカニズムの解明 -ミトコンドリア機能から迫る-	市川 朋宏	呼吸器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
加齢による呼吸器疾患とリゾホスファチジン酸の関連 -肺の中の混沌と秩序-	兼平 雅彦	卒後研修センター(先端医療技術トレーニングセンター)	1,300,000	補委	日本学術振興会
腸腎連関: 腸内細菌叢が慢性腎臓病に与える正負両因子の解明	三島 英換	腎・高血圧・内分泌科	1,400,000	補委	日本学術振興会
Truncated IL-36 β を用いた悪性黒色腫治療	沼崎 宗夫	加齢・老年病科	2,600,000	補委	日本学術振興会
炎症性皮膚疾患におけるヒアルロン酸バイオロジーの解析と創薬基盤強化の新機軸の探求	水芦 政人	皮膚科	1,600,000	補委	日本学術振興会
後天性鉄芽球性貧血の分子疫学及び病態の解明	藤原 亨	血液・免疫科	1,200,000	補委	日本学術振興会
POEMを応用した体内臓器への新しい低侵襲到達ルートの開発	佐藤 千晃	移植・再建・内視鏡外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
内因性抗菌タンパクの潰瘍性大腸炎・回腸囊炎への病態関与およびバイオマーカーの検討	渡辺 和宏	胃腸外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
大腸癌の多様性を制御する「マイクロエクソン」の同定	唐澤 秀明	胃腸外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
血液メタボロミクスによる胆嚢癌予後予測因子解析	中川 圭	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委	日本学術振興会

癌微小環境におけるWnt関連蛋白LRRFIP1の発現調節と浸潤転移促進機構の解明	大塚 英郎	肝・胆・膵外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
多層性血流制御ステントによる解離性大動脈瘤治療のための流体力学的基礎研究	鈴木 佑輔	心臓血管外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
腹部大動脈瘤拡大におけるHelicobacter Cinaedi菌の関与の解明	菅原 宏文	移植・再建・内視鏡外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
Type 1 regulatory T細胞による肺移植後の新規免疫抑制療法	大石 久	呼吸器外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
敗血症における内皮微小粒子の動態とその病態生理学的作用の解明	齋藤 浩二	集中治療部	1,200,000	補委	日本学術振興会
Muse細胞を用いたてんかん原性治療手法の確立	大沢 伸一郎	脳神経外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
Inflammasomeの評価による筋痛の病態解明	綿貫 宗則	整形外科	900,000	補委	日本学術振興会
低弾性チタン合金インプラントによる応力遮蔽抑制効果と骨癒合促進効果の検討	森 優	整形外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
緑内障病態におけるNrf2を介した硫化水素や補酵素の神経保護作用の検討	檜森 紀子	眼科	1,300,000	補委	日本学術振興会
腸管・口腔・結膜囊細菌叢解析による眼疾患診断法の開発	横倉 俊二	眼科	1,200,000	補委	日本学術振興会
高齢視野狭窄患者の自動車運転能力の評価と運転支援	国松 志保	眼科	1,600,000	補委	日本学術振興会
ケロイド発生過程における脂肪細胞と線維芽細胞との関連性の解明	長尾 宗朝	形成外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
モーダル解析によるオッセオインテグレーションとスクリュー連結状態の検査機器の開発	宮下 牧子	咬合回復科	1,200,000	補委	日本学術振興会

生体内ウェアラブル測定装置による義歯床下荷重解析に基づく最適義歯設計の探索	依田 信裕	咬合回復科	1,400,000	補委	日本学術振興会
人工知能による機械学習を基盤とした支台歯形成技能評価自動化システムの開発	奥山 弥生	咬合修復科	1,000,000	補委	日本学術振興会
形状記憶ゲルとバルーン技術を利用した3次元口腔・鼻咽腔印象採得方法の開発	小山 重人	顎顔面口腔再建治療部	900,000	補委	日本学術振興会
骨格筋MRIを用いた舌内部における筋機能分布の3次元解析	山口 哲史	高齢者歯科治療部	1,200,000	補委	日本学術振興会
PETバリデーティッドFEAに基づく顎骨リモデリングシミュレーションの構築	水戸 武彦	顎顔面口腔再建治療部	1,300,000	補委	日本学術振興会
パルス磁気刺激装置による摂食嚥下訓練の効果の筋電図学的評価	埴 総司	咬合回復科	1,800,000	補委	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症の骨代謝異常の解明に向けたRunx2の機械的刺激応答機構の解析	福永 智広	矯正歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
周術期乳癌患者への予知的口腔支援システムの構築	丹田 奈緒子	予防歯科	2,000,000	補委	日本学術振興会
医療従事者や介助者に資する多機能型水晶体被曝防護機器の開発	常陸 真	医・保健学専攻放射線検査額分野(放射線部)	1,500,000	補委	日本学術振興会
感性評価とブラーク除去評価による個別介助歯磨きスキルの習得支援プログラムの開発	猪狩 和子	障害者歯科治療部	1,400,000	補委	日本学術振興会
心的トラウマが精神病の発症・慢性化に与える影響を探索する心理学・症候学的研究	上田 一気	精神科	1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性黒色腫におけるメラニン合成系を介した免疫寛容誘導機序の解析	日高 高德	皮膚科	1,900,000	補委	日本学術振興会
大腸癌の治療感受性を予測する新規バイオマーカーの探索	大内 康太	がんセンター	1,400,000	補委	日本学術振興会

病理イメージングを用いた タウオパチーにおけるタウ -グリオース相互作用の 解明	原田 愛子(石木 愛子)	加齢・老年病科	1,100,000	補 委	日本学術 振興会
PTSD症状を有する統合 失調症に対する認知処理 療法の実施可能性につい ての検討	砂川 恵美	リハビリテーション部 門	1,200,000	補 委	日本学術 振興会
微小肺血管計測による肺 移植後慢性拒絶反応の 早期診断法の開発	佐藤 嘉尚	放射線診断科	1,600,000	補 委	日本学術 振興会
MRI-Linac用 NonlinearCCC線量計算ア ルゴリズムの開発	伊藤 謙吾	放射線治療科	2,000,000	補 委	日本学術 振興会
T1 ρ による海馬てんかん 原性病変検出法の開発	佐藤 志帆	放射線診断科	3,100,000	補 委	日本学術 振興会
多角的アプローチに基づ くニーマンピック病C型の 脂質代謝異常機構の解 明	前川 正充	薬剤部	1,900,000	補 委	日本学術 振興会
肝細胞癌の病態形成にお ける抑制系免疫細胞と non-coding RNAの関わり	岩田 朋晃	消化器内科	1,200,000	補 委	日本学術 振興会
大腸癌幹細胞はエクソ ソームを介した「自律性 ニッチ」を形成しているの か?	黒羽 正剛	消化器内科	1,600,000	補 委	日本学術 振興会
拡張不全による心不全に 対する低出力パルス波超 音波治療の有効性を評価 する基礎的検討	進藤 智彦	循環器内科	2,200,000	補 委	日本学術 振興会
アポトーシス細胞認識によ る気道上皮細胞の炎症制 御機構の解明	藤野 直也	呼吸器内科	1,900,000	補 委	日本学術 振興会
肺と他臓器のエクソソーム による相互コミュニケーションに 着目したCOPD病 態の解明	牧口 友紀	呼吸器内科	1,900,000	補 委	日本学術 振興会
カルバペネム耐性腸内細 菌科細菌の施設内および 施設間伝播様式の解明と 環境感染制御	金森 肇	総合感染症科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
アルツハイマー型認知症 が全身の糖代謝に及ぼす 影響とその機序の探索	浅井 洋一郎	糖尿病代謝科	1,800,000	補 委	日本学術 振興会

迷走神経シグナルによる膵β細胞増殖機構の治療応用に向けた包括的解析	井泉 知仁	糖尿病代謝科	2,200,000	補委	日本学術振興会
オルガノイド培養に基づいた胃癌個別化治療の確立	山村 明寛	肝・胆・膵外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
網羅的解析による膵癌抗癌剤感受性予測方法の確立～プレジジョン医療の実現を目指して	有明 恭平	肝・胆・膵外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
筋層非浸潤性膀胱癌の進展リスク予測と進展予防への糖鎖バイオロジカルアプローチ	嶋田 修一	泌尿器科	1,000,000	補委	日本学術振興会
膀胱がん再発予防を目的としたソノポレーション法による新規抗がん剤投与方法の開発	佐藤 琢磨	泌尿器科	1,000,000	補委	日本学術振興会
酸化ストレス内耳障害の病態と予防法解明のためのNrf2の局在および動態の解析	本藏 陽平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
PJDを応用した機能性フッ素化アパタイト成膜による新規予防填塞法の開発	泉田 一賢	顎顔面口腔重建治療部	1,200,000	補委	日本学術振興会
ポリフェノール光酸化反応を応用した殺菌消毒法の確立:より安全な補綴治療を目指して	倉内 美智子	咬合修復科	1,400,000	補委	日本学術振興会
CAD/CAM冠着後の早期負荷が冠のひずみ及び脱離に及ぼす影響	勝田 悠介	咬合修復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
顎矯正手術後の骨代謝亢進機構の解明と新しい治療体系への応用	阿部 陽子	歯科顎口腔外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
パラジウムに反応する特異的T細胞受容体の遺伝子導入細胞株や遺伝子導入マウスの作製	武田 裕利	歯科顎口腔外科	900,000	補委	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症における易感染性と歯の移動遅延解明にむけた免疫細胞の解析	坂東 加南	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
胆道癌移植モデルを用いた脱ユビキチン化酵素の機能解析と新規薬物療法の開発	石田 匡彦	矯正歯科	1,900,000	補委	日本学術振興会

多職種連携による介護予防において、歯科は何ができるのか？—挑戦的介入研究—	遠藤 耕生	高齢者歯科治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
マンモグラフィ検診の石灰化に着目した検診精度の底上げと新規マネジメントの基盤構築	佐藤 章子	乳腺・内分泌外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
脳卒中片麻痺患者の屋外環境下における歩行障害のメカニズムの解明	関口 雄介	リハビリテーション部門	1,600,000	補委	日本学術振興会
末梢動脈疾患における間歇性跛行の発生機序解明と装具療法の開発	柿花 隆昭	リハビリテーション部門	1,500,000	補委	日本学術振興会
微小還流を用いた筋・筋膜性疼痛の組織液採取と組成解析	小野田 祥人	整形外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
医師主導臨床研究でのePROシステムの開発と普及	高田 宗典	臨床試験データセンター(臨床研究推進センター)	1,900,000	補委	日本学術振興会
副鼻腔真菌症の原因真菌とその微生物叢解析による重篤化予防と疾患制御に関する研究	角田 梨紗子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	700,000	補委	日本学術振興会
特発性正常圧水頭症における遂行機能障害—新しい検査法の開発と病態機序の解明—	菅野 重範	高次脳機能障害科(リハビリテーション部)	900,000	補委	日本学術振興会
臨床応用可能な安全で機能的なhiPS細胞由来歯性間葉細胞の誘導技術の開発	関 大輔	矯正歯科	900,000	補委	日本学術振興会
神経変性疾患に関わるPDIのSNO化位置の同定と神経変性機構との関連	小倉次郎	薬剤部	1,200,000	補委	日本学術振興会
乾癬、感染症、メタボリック症候群における抗菌ペプチドカゼリサイディンの関与	高橋隼也	皮膚科	1,200,000	補委	日本学術振興会
肺癌における活性イオウ分子種とイオウ代謝酵素の役割の解明	突田容子	呼吸器内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
血中マイクロRNAの測定による食道癌化学放射線療法の治療効果予測に関する研究	武田一也	放射線治療科	1,200,000	補委	日本学術振興会

シスプラチン耐性卵巣癌の新規治療標的分子TIE-1の機能解析	石橋ますみ	産科・婦人科	1,200,000	補委	日本学術振興会
人工呼吸関連肺傷害における内皮微小粒子の動態とセボフルランの内皮傷害に対する影響	武井祐介	麻酔科	1,200,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞の細胞内レドックス制御を基盤とした新規骨再生法の開発	渡辺隼	咬合修復科	1,200,000	補委	日本学術振興会
歯胚形態形成に関わる新規転写因子AmeloDの機能解析	千葉雄太	小児歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
Sox21-アメロプラスチン共役におけるエナメル芽細胞の分化制御機構の解明	山口知子	小児歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
脳卒中片麻痺患者の地域社会における歩行時の転倒発生メカニズムの解明	本田啓太	リハビリテーション部門	1,100,000	補委	日本学術振興会
MDM2を中心とした食道扁平上皮癌の化学放射線抵抗性因子と新規分子標的薬の研究	岡本 宏史	移植・再建・内視鏡外科	900,000	補委	日本学術振興会
環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金森 肇	総合感染症科	866,000	補委	厚生労働省
東日本大震災後に発生した小児への健康被害への対応に関する研究	呉 繁夫	小児科	15,385,000	補委	厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	仁尾 正記	小児科	13,000,000	補委	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	20,190,000	補委	厚生労働省
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化	相場 節也	皮膚科	11,077,000	補委	厚生労働省
コンダクター型総合診療医の養成	石井 正	総合地域医療教育支援部	50,000,000	補委	文部科学省

医工連携を基盤としたオープン・イノベーション・プラットフォーム構築	下川 宏明	臨床研究推進センター	229,974,600	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	下川 宏明	臨床研究推進センター	323,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
法施行前より実施中の特定臨床研究に関する調査	高野 忠夫	臨床研究推進センター	152,598,557	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
非介入臨床研究におけるセントラル倫理委員会への基盤整備	高野 忠夫	臨床研究推進センター	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国産医療機器創出促進基盤整備等事業	富永 悌二	臨床研究推進センター	25,097,468	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
X線格子干渉計(タルボ・ロー干渉計)による下肢疲労骨折の診断・治療評価の検討	森優	整形外科	3,993,000	補 委	コニカミノルタ株式会社
再発危険因子を有するStage II大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究(JFMC46-1201)	三浦康(佐々木宏之)	胃腸外科	21,600	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第三相比較臨床試験	海野(大沼)	肝・胆・膵外科	32,400	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究「ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討」(BRIGHTEN)	佐藤博	腎・高血圧・内分泌科	216,000	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
JABTS乳房超音波診断に関する多施設共同研究	山口拓洋	TRセンター	600,000	補 委	特定非営利活動法人日本乳腺甲状腺超音波医学会(JABTS)
進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究「CREATIVE」	藤村卓	皮膚科	21,600	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究)	高橋潤	循環器内科	97,200	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
粘液型脂肪肉腫・滑膜肉腫・通常型軟骨肉腫におけるNY-ESO-1の発現と臨床成績に関する疫学研究	保坂正美	整形外科	168,000	補 委	特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会
既治療の進行・再発非小細胞肺癌を対象としたニボルマブ治療における、効果と至適投与期間予測に関する観察研究(New Epoch)	齋藤良太	呼吸器内科	64,800	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
中程度のQRS幅の拡大を認め、房室伝導が保たれた左脚ブロック症例で、心臓再同期療法 of 植込み基準を満たす患者において、心エコー至適化Bi-ventricular(BiV)-CRTに対するaCRTアルゴリズムの優越性を示す。(MID-Q)	中野 誠	循環器内科	300,000	補 委	国立大学法人筑波大学
医療情報データベースシステム運用業務	中山雅晴	メディカルITセンター	10,643,800	補 委	独立行政法人医薬品医療機器総合機構
医師の派遣業務 二次転送患者受け入れ行	野村亮介	高度救命救急センター	54,250,000	補 委	公益財団法人仙台市救急医療事業団
腸管不全関連肝障害に対する魚油由来ω3系脂肪酸製剤Omegavenの有効性と安全性の検討(医師主導治験)	和田基	小児外科	231,400	補 委	公益社団法人日本医師会
EGFRチロシンキナーゼ阻害薬(TKI)に抵抗性のEGFR T790M変異陽性、PS不良の非小細胞肺癌症例に対するオシメルチニブの第II相試験(NEJ032B)	齋藤良太	呼吸器内科	200,000	補 委	特定非営利活動法人North East Japan Study Group
耳管開放症難治例を対象としたPET001の有効性および安全性を評価する検証的治験(医師主導治験)(CCT-B-2806)	開発推進部門	開発推進部門	12,116,000	補 委	公益社団法人日本医師会
治験の実施に関する研究[ペランパネル]	割田仁	神経内科	399,854	補 委	公益社団法人日本医師会

J-DREAMS	片桐秀樹	糖尿病代謝科	300,000	補 委	国立研究 開発法人 国立国際 医療研究 センター
舌再建手術後の嚥下障 害発生割合を検討する多 施設共同前向き観察研究	高木尚之	形成外科	5,400	補 委	公益財団 法人静岡 県産業振 興財団
ロンサーフ(TFTD)使用 症例の後ろ向き観察(コ ホート)研究(JFMC50- 1701-C6)	海野倫明	胃腸外科	92,880	補 委	公益財団 法人がん 集学的治 療研究財 団
ロンサーフ(TFTD)使用 症例の後ろ向き観察(コ ホート)研究(JFMC50- 1701-C7)	石岡千加史	腫瘍内科	1,028,160	補 委	公益財団 法人がん 集学的治 療研究財 団
治療抵抗性胚細胞腫に 対するONO-4538の第II 相医師主導多施設共同 治験	山下慎一	泌尿器科	250,000	補 委	筑波大学
治験の実施に関する研究 [WT1ペプチドワクチン]	笹原洋二	小児科	616,957	補 委	公益社団 法人日本 医師会
プレクリニカル期における アルツハイマー病に対す る客観的画像診断・評価 法の確立を目指す臨床研 究	富田尚希	老年科	1,581,321	補 委	大阪市立 大学
CCT-C-2811	菅野晴夫	整形外科	123,705	補 委	公益社団 法人日本 医師会
CCT-B-2904	下川宏明	循環器内科	3,046,927	補 委	公益社団 法人日本 医師会
CCT-B-2904	下川宏明	開発推進部門	13,781,250	補 委	公益社団 法人日本 医師会
CCT-B-2904	下川宏明	開発推進部門	3,930,000	補 委	公益社団 法人日本 医師会
原発不明癌に対するニボ ルマブの有効性を検討す る第II相試験	高橋信	腫瘍内科	98,496	補 委	近畿大学
CCT-C-3006	下川宏明	循環器内科	399,781	補 委	公益社団 法人日本 医師会

平成30年度石綿健康被害救済制度の被認定者実態調査結果に基づく調査研究業務	上月正博	内部障害リハビリ科	4,292,231	補 委	環境省
がん薬物療法認定薬剤師研修	眞野康成(高橋さん)	薬剤部	162,000	補 委	日本病院薬剤師会
筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者を対象としたロピニロール塩酸塩徐放錠内服投与による安全性・忍容性および有効性を探索するプラセボ対照、二重盲検期および非盲検継続投与期からなる第I / IIa相試験における遺伝子検査業務	青木正志	神経内科	56,160	補 委	慶應義塾大学
セレンディピターを用いた細胞検出技術の確立	富永悌二	脳神経外科	13,590,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
不妊・不育に関する専門的な相談及び生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	立花眞仁	婦人科	1,416,720	補 委	宮城県
脳血管内治療における暗黙知の可視化とデジタル画像処理に基づいたカテーテル治療支援システムの開発	富永悌二	脳神経外科	15,340,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
個体・臓器老化研究拠点	片桐秀樹	糖尿病代謝科	524,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多能性幹細胞(Muse細胞)による中枢神経再生療法の開発	富永悌二	脳神経外科	55,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症狭心症を対象とした革新的超音波血管新生療法の開発	下川宏明	循環器内科	68,510,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
活性イオウ分子種を用いた新規抗酸化眼内灌流液の開発	中澤徹	眼科	53,300,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性便秘薬ルビプロストンの慢性腎不全治療薬としての適応拡大を目指す臨床研究	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	101,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
「IoT/BD/AI情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業 課題I 最先端の自然言語処理技術を活用した高度自然言語処理プラットフォームの研究開発	石井正	総合地域医療教育支援部	10,000,482	補 委	総務省

婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	婦人科	500,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
免疫チェックポイント阻害薬使用による免疫関連副作用予測システムの開発	藤村卓	皮膚科	15,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究倫理教育に関するモデル教材・プログラムの開発	高野忠夫	婦人科	9,456,409	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
Dysferlinopathyおよび類似疾患の次世代シーケンサを用いた診断および結合蛋白に注目した病態研究	青木正志	神経内科	900,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
RAS-MAPK シグナル異常症の症例登録と遺伝子診断に関する研究	青木洋子	遺伝科	150,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
非侵襲熱物性計測による皮膚腫瘍浸潤度測定法の開発	藤村卓	皮膚科	77,220,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
音声障害の診断と音声情報の収集	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補 委	公立大学法人名古屋市立大学
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討免疫組織的検討	渡辺みか	病理部	9,316,000	補 委	国家公務員共済組合連合会東北公済病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺みか	病理部	530,000	補 委	気仙沼市立病院
視野障害者・健常者運転データベース構築、視野障害者特有の事故要因の明確化 他	中澤徹	眼科	4,657,000	補 委	国立研究開発法人理化学研究所
各電子カルテメーカーからの診療情報の取り込み形式の統一、取り込み内容の決定	中澤徹	眼科	956,124	補 委	国立大学法人筑波大学
チオプリン不耐例を判別するNUDT15 R139C遺伝子多型検査キットの開発を軸とした炎症性腸疾患におけるゲノム医療実用化フレームワークの確立	角田洋一	消化器内科	38,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器の材質における薬剤との相互作用に関する研究	藤盛啓成	医療安全推進室	1,734,850	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

医薬品開発等における安全性向上のため、医薬関係者からの副作用等情報の活用方策に関する研究	眞野成康	薬剤部	4,450,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
希少・難治小児脳幹部神経膠腫に対する塩酸ニムスチン局所投薬による新規治療法開発:多施設共同医師主導治験	富永悌二	脳神経外科	69,999,381	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
神経疾患特異的iPS細胞を活用した病態解明と新規治療法の創出を目指した研究	青木正志	神経内科	5,000,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
多職種協働による地域包括ロービジョンケアシステム開発に関する研究	鈴嶋よしみ	肢体不自由リハ科	8,100,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
胆道閉鎖症診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	仁尾正記	小児外科	8,190,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	齋木佳克	心臓血管外科	8,320,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
細胞内シグナル伝達異常による先天性疾患の新しい治療パスウェイ検索と治療法開発	青木洋子	遺伝科	35,490,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
細胞膜修復や不要蛋白クリアランス機構の破綻をきたす筋疾患におけるメカノセンシングの機序の解明とその評価系の確立および治療法開発	青木正志	神経内科	8,800,000	補 ○委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
世界初・日本発ミトコンドリア病治療薬MA-5のオールジャパン臨床治験	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	149,890,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	張替秀郎	血液・免疫科	99,840,000	補 ○委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
自閉症スペクトラム障害に対する新規治療薬の開発	呉繁夫	小児科	45,000,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構

認知症に対する経頭蓋超音波治療装置の開発	下川宏明	循環器内科	40,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
嚥下障害に対する包括的嚥下障害基礎訓練法の開発と有効性の検討	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	4,040,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症(ALS)の画期的治療法開発	青木正志	神経内科	93,910,105	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
遠位型ミオパチーにおける承認申請に向けたアセノイラミン酸の長期投与試験	青木正志	神経内科	77,035,400	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
心房細動症例における抗血栓療法の問題点の解明とその対処法の開発に関する研究	下川宏明	循環器内科	20,020,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
乳がん治療における心臓合併症の画像診断を用いた新たなリスク因子探索と心機能評価法標準化に関する研究-Cardio-oncologyの実践	杉村宏一郎	循環器内科	14,989,001	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
住民健診・職域健診で使用可能な心房細動発症リスクスコアの開発と心房細動の再発・重症化予防戦略の確立	下川宏明	循環器内科	15,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
成人先天性心疾患の遠隔期合併症・問題点の解明とリスク低減への対処法開発に関する研究	建部俊介	循環器内科	6,240,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
オミックス解析に基づく心不全発症・重症化予測マーカーの開発と心不全発症・重症化機序の解明	坂田泰彦	循環器内科	30,160,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
COPD合併喘息の酸化窒素化制御による新規治療剤開発に関する研究	一ノ瀬正和	呼吸器内科	29,250,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
選択的神経ブロックによる個別化リハビリテーションと治療効果の定量化を重視した凍結肩の集学的診療ガイドラインの開発	山内正憲	麻酔科	7,145,060	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
高齢者誤嚥性肺炎の発症及び再発リスクとフレイル・サルコペニアの相関性の探索	岡崎達馬	呼吸器内科	1,040,000	補 委	学校法人 杏林学園 杏林大学

高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	保坂正美	整形外科	199,877	補 ⑤	国立大学 法人岡山 大学
脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究	富永悌二	脳神経外科	260,000	補 ⑤	国立大学 法人九州 大学
リンパ管疾患におけるバイオマーカーの意義の確定及び疾患鑑別マーカーの同定	青木洋子	遺伝科	520,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 国立成育 医療研究 センター
小児難病の病因遺伝子同定と発症機序の解明	呉繁夫	小児科	7,999,999	補 ⑤	国立研究 開発法人 国立成育 医療研究 センター
診療ガイド作成と小型・正常大血小板異常症解析	笹原洋二	小児科	1,300,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 国立成育 医療研究 センター
宮城県におけるユースメンタルヘルスの包括的な地域連携モデルの構築	松本和紀	精神科	1,900,000	補 ⑤	学校法人 東邦大学
脳画像登録システムを活用した先天性大脳白質形成不全症のレジストリの構築	植松有里佳	小児科	520,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 国立精神・ 神経医療 研究セン
筋萎縮性側索硬化症患者の疾患登録システムの構築と施設登録体制の整備	青木正志	神経内科	400,000	補 ⑤	国立大学 法人名古 屋大学
機械学習によるアウトカム定義の作成・評価手法の確立、複数拠点におけるアウトカム定義の作成・評価基準の確立	中山雅晴	メディカルITセンター	6,850,000	補 ⑤	独立行政 法人医薬 品医療機 器総合機 構
ヒルシュスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	仁尾正記	小児外科	286,000	補 ⑤	国立大学 法人九州 大学
縦断的データベースの臨床効果データベースによる循環器疾患データベース構築に関する研究	中山雅晴	メディカルITセンター	1,000,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築	中澤徹	眼科	390,000	補 ⑤	国立大学 法人筑波 大学
東北ブロックのIRUD拠点病院 / IRUD center hospital in Tohoku area	呉繁夫	小児科	29,900,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 国立精神・ 神経医療 研究セン

慢性血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するBalloon pulmonary angioplasty(BPA)の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究	下川宏明	循環器内科	100,001	補 委	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	下川宏明	循環器内科	260,000	補 委	国立大学 法人九州 大学
未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験:JCOG1411	福原規子	血液・免疫科	1,300,000	補 委	国立大学 法人山形 大学
耳鳴診療ガイドラインの開発に関する研究	川瀬哲明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	392,600	補 委	学校法人 慶應義塾 慶應義塾 大学
JCOG1408の患者登録	神宮啓一	放射線治療科	650,000	補 委	国立大学 法人広島 大学
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	新倉仁	婦人科	1,499,999	補 委	東京都立 墨東病院
臨床情報・ゲノム情報の集積と検証による、診療に直結するエビデンス創出	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	325,000	補 委	独立行政 法人国立 病院機構 東京医療 センター
自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬実用化のための医師主導多施設治験	本多奈美	精神科	1,105,000	補 委	国立大学 法人浜松 医科大学
分子標的治療薬によるび瘡様皮膚炎に対する標準的ケア方法の確立に関する研究	菊地克子	皮膚科	104,000	補 委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	八重樫伸生	婦人科	130,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
中性脂肪蓄積心筋血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発	杉村宏一郎	循環器内科	100,001	補 委	国立大学 法人大阪 大学
適格例の登録・治療・評価	小川武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	520,000	補 委	国立大学 法人北海 道大学

B型肝炎ウイルスの感染性エンベロープ形成を阻害する治療法の開発	井上淳	消化器内科	2,000,000	補 委	公立大学 法人名古屋 市立大学
リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対して、骨盤リンパ節郭清のみに比べて骨盤リンパ節に傍大動脈リンパ節郭清を加えることの優越性を検証する多施設共同臨床試験	徳永英樹	婦人科	520,000	補 委	国立大学 法人北海道 大学
プリオンド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の分子標的治療薬・バイオマーカーの開発	長谷川隆文	神経内科	3,120,000	補 委	国立大学 法人大阪 大学
①冠動脈ハイリスクプラーク診断法の予測精度を検証する多施設共同前向き観察研究の画像診断、③PMRの自動測定のためのquantitative HIP analysis software (q-HIP)の開発と検証	高瀬圭	放射線診断科	1,500,001	補 委	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
新生児マススクリーニング対象疾患等の診療に直結するエビデンス創出研究	坂本修	小児科	390,000	補 委	国立大学 法人岐阜 大学
皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築とAI活用診療支援システムの開発	山崎研志	皮膚科	25,935,803	補 委	公益社団 法人日本 皮膚科学 会
放射線防護剤としてのニカラベンの実用化	梅澤玲	放射線治療科	3,900,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
Adenosine Deaminase 2 (ADA2)欠損症の病態解明と治療薬開発の基盤構築	笹原洋二	小児科	650,000	補 委	国立大学 法人京都 大学
衝撃波アブレーションカテーテルシステムの開発	下川宏明	循環器内科	14,301,040	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
組織の適応・修復のための神経シグナルを介した細胞増殖制御機構の解明	今井淳太	糖尿病代謝科	13,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
上部尿路癌根治術後の膀胱内再発を予防する標準治療法の開発 (JCOG1403)	伊藤明宏	泌尿器科	650,000	補 委	地方独立 行政法人 宮城県立 病院機構 宮城県立

栄養・生活習慣・炎症に着目したうつ病の発症要因解明と個別化医療技術開発	富田博秋	精神科	43,034,310	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
産学官連携を加速する肺高血圧症患者レジストリ Japan PH Registryの活用研究	杉村宏一郎	循環器内科	1,300,000	補 委	学校法人 国際医療福祉大学
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	大内憲明	乳腺・内分泌外科	100,430,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
認知症対応型共同生活介護施設における施設職員の配薬業務軽減のための配薬支援装置と運用方法の開発	鈴木亮二	TRセンター	533,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
臨床医療における数理モデリングの新たな展開	植田琢也	放射線診断科	3,510,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
レビー小体病の早期診断技術と根本治療薬の開発	長谷川隆文	神経内科	5,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の治験実施と病態・薬効のメカニズム解明、および社会性齧歯類によるオキシトシン受容体アゴニスト高感度評価系樹立	本多奈美	精神科	8,931,780	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医療用免疫不全モデルマウスを用いた原発性免疫不全症候群に対する新規治療技術開発に向けた基盤研究	笹原洋二	小児科	1,170,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
臨床治験実施戦略策定と臨床試験実施計画立案	池田浩治	TRセンター	100,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
肺高血圧症の新規病因蛋白セレノプロテインPに着目した早期診断法開発	佐藤公雄	循環器内科	4,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ハイドロゲルを基材とする頭蓋内有機物電極の開発	中川敦寛	脳神経外科	7,800,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
バイオ医薬品局所徐放のための展開型ナノシート創出技術開発	中澤徹	眼科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

脳神経外科学分野に関する学術研究動向	中里信和	てんかん科	1,560,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
さりげないセンシングと日常人間ドック	中澤徹	眼科	4,900,000	補 委	国立研究 開発法人 科学技術 振興機構
高齢者への生活機能の指標開発	富田尚希	老年科	11,543,000	補 委	国立研究 開発法人 科学技術 振興機構
				補 委	
				補 委	

計366件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nakazawa T, Nishiguchi K. M, Fujita K, et al.	眼科	Alternative methods to detect anti-TRPM1 antibodies.	Clin Exp Ophthalmol.2019 Jan;47(1):148-149	Letter
2	Mizoguchi I, Marahleh A, Kitaura H, et al.	矯正歯科	Effect of anti-c-fms antibody on osteoclast formation and proliferation of osteoclast precursor in vitro.	J Vis Exp. 2019 Mar 18;145	Original Article
3	Ichinose M, Minakata Y, Motegi T, et al.	呼吸器内科	Efficacy of tiotropium/olodaterol on lung volume, exercise capacity, and physical activity.	Int J COPD 2018 May 1;13:1407-1419	Original Article
4	Ichinose M, Nishimura M, Akimoto M, et al.	呼吸器内科	Tiotropium/olodaterol versus tiotropium in Japanese patients with COPD: results from the DYNAGITO study.	Int J COPD 2018 Jun 13;13:2147-2156	Original Article
5	Kure S, Haginoya K, Togashi N, et al.	小児科	[¹⁸ F]fluorodeoxyglucose-positron emission tomography study of genetically confirmed patients with Dravet syndrome.	Epilepsy research 2018 Aug;147:9-14	Original Article
6	Arai H, Kobayashi R, Hayashi H, et al.	加齢・老年病科	[¹⁸ F]THK-5351 PET imaging in early-stage semantic variant primary progressive aphasia: a report of two cases and a literature review. BMC Neurol.	BMC Neurol. 2018 Aug;18(1):109	Case report
7	Unno M, Aizawa T, Karasawa H, et al.	総合外科	[A Case of Laparoscopically Resected Giant Rectal Cancer Following Neoadjuvant Chemoradiotherapy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2018 Dec;45(13):1931-1933	Case report
8	Tominaga T, Nakamura L, Saito R, et al.	脳神経外科	[A Case of Ventriculoperitoneal Shunt Dysfunction in an Adult Secondary to Constipation].	No shinkei geka. Neurological surgery 2018 May;46(5):385-389	Original Article
9	Unno M, Kokubo S, Ohnuma S, et al.	総合外科	[A Small Rectal Neuroendocrine Tumor of Less Than 5mm with Lymph Node Metastasis].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2018 Dec;45(13):1985-1987	Case report
10	Unno M, Toyama S, Mizuma M, et al.	総合外科	[Conversion Surgery Combined with Preoperative Coil Embolization of Hepatic Artery for Locally Advanced Unresectable Pancreatic Head Cancer with Hepatic Artery Invasion-A Case Report].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 2018 Dec;45(13):2309-2311	Case report
11	Masamune A, Kanno A.	消化器内科	[Diagnosis of autoimmune pancreatitis - imaging and histological diagnosis using EUS-FNA].	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastroenterology 2019;116(4):286-295	Original Article
12	Kaku M, Kakeya H, Yamada K, et al.	総合感染症科	[National Trends in the Distribution of Candida Species Causing Candidemia in Japan from 2003 to 2014].	Medical mycology journal 2018;59(1):E19-E22	Original Article

13	Saiki Y, Akiyama M.	心臓血管外科	[Preliminary Results with Implantation of Extracorporeal Ventricular Assist System without Sternotomy Incision].	Kyobu geka. The Japanese journal of thoracic surgery2018 Jul;71(7):519-523	Original Article
14	Saito R, Kumabe T, Shibahara I.	脳神経外科	[Results for Treatment of Newly-Diagnosed Glioblastoma Using Carmustine Wafers(Gliadel[?])].	No shinkei geka. Neurological surgery2018 May;46(5):367-376	Original Article
15	Tominaga T, Osawa SI, Endo H, et al.	脳神経外科	[Safety and Efficacy of Keishi-Bukuryo-Gan in Patients with Spontaneous Intracerebral Hemorrhage during the Acute Period:CT Image-Based Analysis of the Clearance of Hematoma].	No shinkei geka. Neurological surgery2018 Sep;46(9):763-770	Original Article
16	Saiki Y, Naganuma M, Takahashi M, et al.	心臓血管外科	[Splenic Injury during Replacement of the Thoracoabdominal Aorta].	Kyobu geka. The Japanese journal of thoracic surgery2019 Feb;72(2):104-107	Original Article
17	Tominaga T, Aburakawa D, Ogawa Y, et al.	脳神経外科	[Surgical Planning for a Giant Pituitary Adenoma Based on Evaluation of the Fine Feeding System and Angioarchitecture:A Case Report].	No shinkei geka. Neurological surgery2018 Aug;46(8):691-697	Original Article
18	Unno M, Kanehara K, Ohnuma S, et al.	総合外科	[Two Cases of Locally Recurrent Rectal Cancer Successfully Treated by Carbon Ion Radiotherapy].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy2018 Dec;45(13):1940-1942	Case report
19	Tominaga T, Shimizu S, Mano Y, et al.	脳神経外科	[Two Craniotomies with Retained Cotton Patties:Is Their Retrieval Necessary?]	No shinkei geka. Neurological surgery2018 Jun;46(6):529-533	Original Article
20	Sasahara Y, Ishige T, Igarashi Y, et al.	小児科	<i>IL-10RA</i> Mutation as a Risk Factor of Severe Influenza-Associated Encephalopathy: A Case Report.	Pediatrics2018 Jun;141(6)	Case report
21	Aoki M, Mitsuzawa S, Akiyama T, et al.	脳神経内科	<i>TARDBP</i> p.G376D mutation, found in rapid progressive familial ALS, induces mislocalization of TDP-43.	eNeurologicalSci2018 Jun;11:20-22	Case report
22	Arai H, Komatsu J, Samuraki M, et al.	加齢・老年病科	¹²³I-MIBG myocardial scintigraphy for the diagnosis of DLB: a multicentre 3-year follow-up study.	Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry2018 Nov;89(11):1167-1173	Original Article
23	Satoh F, Rossi GP, Mulatero P.	腎・高血圧・内分泌科	10 good reasons why adrenal vein sampling is the preferred method for referring primary aldosteronism patients for adrenalectomy.	Journal of hypertension2019 Mar;37(3):603-611	Original Article
24	Yaegashi N, Hashimoto C, Miki Y, et al.	産科	17 β -Hydroxysteroid Dehydrogenase Type 2 Expression Is Induced by Androgen Signaling in Endometrial Cancer.	International journal of molecular sciences2018 Apr 10;19(4)	Original Article
25	Takase K, Higuchi S, Ota H, et al.	放射線診断科	3T MRI evaluation of regional catecholamine-producing tumor-induced myocardial injury	Endocr Connect2019 Mar 1;pii: EC-18-0553.R1	Original Article
26	Sasano H, Ohara N, Kaneko M, et al.	病理部	A case of normotensive incidentally discovered adrenal pheochromocytoma.	Clinical case reports2018 Dec;6(12):2303-2308	Case report

27	Ishii T, Takayama S, Abe M, et al.	総合地域医療教育支援部	A Case of Spontaneous Regression of Recurrent Undifferentiated Carcinoma of the Endometrium.	Intern Med.2019 Feb 1	Case report
28	Ito S, Kumakura S, Nakamichi T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	A Catastrophic Case of Idiopathic Cholesterol Crystal Embolism with Multiple Lethal Complications: A Labyrinth Underneath the Diagnosis of Skin Ulcers in Chronic Kidney Disease Patients.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2019 Feb 1	Case report
29	Sasano H, Rindi G, Klimstra DS, et al.	病理部	A common classification framework for neuroendocrine neoplasms: an International Agency for Research on Cancer (IARC) and World Health Organization (WHO) expert consensus proposal.	Modern pathology : an official journal of the United States and Canadian Academy of Pathology, Inc2018 Aug;31(12):1770-1786	Original Article
30	Fujiwara T, Hatta S, Yamamoto T, et al.	血液・免疫科	A defined culture method enabling the establishment of ring sideroblasts from induced pluripotent cells of X-linked sideroblastic anemia.	Haematologica.2018 May;103(5):e188-e191	Original Article
31	Kitamoto T, Kobayashi A, Matsuura Y, et al.	病理部	A domain responsible for spontaneous conversion of bank vole prion protein.	Brain pathology (Zurich, Switzerland)2018 Jul;(2):155-163	Original Article
32	Mori S, Kikuchi R, Sukhbaatar A, et al.	歯科顎口腔外科	A model system for studying superselective radiotherapy of lymph node metastasis in mice with swollen lymph nodes	Clinical and Translational Radiation Oncology2019 Mar 18	Original Article
33	Onishi Y, Fuji S, Kim SW, et al.	血液・免疫科	A multi-center prospective study randomizing the use of fat emulsion in intensive glucose control after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation using a myeloablative conditioning regimen.	Clinical nutrition (Edinburgh, Scotland)2018 Oct;37(5):1534-1540	Original Article
34	Takahashi J, Kikuchi Y, Ito K, et al.	循環器内科	A multicenter trial of extracorporeal cardiac shock wave therapy for refractory angina pectoris: report of the highly advanced medical treatment in Japan.	Heart and vessels2018 Jun 25;34(1):104-113	Original Article
35	Sasaki K, Kuboki T, Ichikawa T, et al.	咬合回復科	A multi-centered epidemiological study evaluating the validity of the treatment difficulty indices developed by the Japan Prosthodontic Society.	Journal of prosthodontic research2018 Apr;62(2):162-170	Original Article
36	Masamune A, Hanzawa T, Matsunaga T, et al.	消化器内科	A new manometry device for evaluating the sphincter of Oddi using a fiber-optic pressure sensor.	Minimally invasive therapy & allied technologies : MITAT : official journal of the Society for Minimally Invasive Therapy2018 Aug;27(4):226-232	Original Article
37	Saiki Y, Hayatsu Y, Watanabe K, et al.	心臓血管外科	A novel diagnostic system for Doppler ultrasound of the peripheral arteries to detect the presence of thoracic aortic aneurysm.	Bio-medical materials and engineering2019 Feb;30(2):231-241	Original Article
38	Suzuki N, Miyabayashi T, Ochiai T, et al.	脳神経内科	A novel homozygous mutation of the TFG gene in a patient with early onset spastic paraplegia and later onset sensorimotor polyneuropathy.	Journal of human genetics2018 Nov 22	Original Article
39	Motoi F, Shimura M, Mizuma M, et al.	総合外科	A novel liver metastasis-correlated protein of pancreatic neuroendocrine neoplasm (PanNEN) discovered by proteomic analysis.	Oncotarget2018 May;9(36):24291-24303	Original Article
40	Egusa H, Shishido S, Miyano R, et al.	咬合修復科	A novel pathway for the photooxidation of catechin in relation to its prooxidative activity	Sci Rep2018 Aug;8(1):12888	Original Article

41	Ishizawa K, Yamanaka M, Shiga K, et al.	総合地域医療教育支援部	A novel SDHB IVS2-2A>C mutation is responsible for hereditary pheochromocytoma/paranglioma syndrome	Tohoku J Exp Med2018 Jun;245(2):99-105	Original Article
42	Goto M, Yasunami Y, Nakafusa Y, et al.	総合外科	A novel subcutaneous site of islet transplantation superior to the liver	Transplantation2018 Jun;102(6):945-952	Original Article
43	Egusa H, Miura S, Kasahara S, et al.	咬合修復科	A possible risk of CAD/CAM-produced composite resin premolar crowns on removable partial denture abutment tooth: A 3-year retrospective cohort study	Journal of Prosthodontic Research2019;63(1):78-84	Original Article
44	Kanamori M, Narita Y, Arakawa Y, et al.	脳神経外科	A randomized, double-blind, phase III trial of personalized peptide vaccination for recurrent glioblastoma.	Neuro Oncol2019 Feb 19;21(3):348-35	Original Article
45	Tada H, Yamamoto Y, Iwata H, et al.	総合外科	A randomized, open-label, Phase III trial of pertuzumab retreatment in HER2-positive locally advanced/metastatic breast cancer patients previously treated with pertuzumab, trastuzumab and chemotherapy: the Japan Breast Cancer Research Group-M05 PRECIOUS s	Japanese journal of clinical oncology2018 Sep;48(9):855-859	Original Article
46	Tominaga T, Mansour A, Niizuma K, et al.	脳神経外科	A refined model of chronic cerebral hypoperfusion resulting in cognitive impairment and a low mortality rate in rats.	Journal of neurosurgery2018 Sep;1-11	Original Article
47	Kure S, Okubo Y, Endo W, et al.	小児科	A severe female case of arthrogryposis multiplex congenita with brain atrophy, spastic quadriplegia and intellectual disability caused by ZC4H2 mutation.	Brain & development2018 Apr;40(4):334-338	Case report
48	Motoi F, Satoi S, Honda G, et al.	総合外科	A single-arm, phase II trial of neoadjuvant gemcitabine and S1 in patients with resectable and borderline resectable pancreatic adenocarcinoma: PREP-01 study.	Journal of gastroenterology2018 Sep 4	Original Article
49	Egusa H, Yamauchi S, Miura S, et al.	咬合修復科	A thick frame decreases the fracture toughness of veneering ceramics used for zirconia-based all-ceramic restorations.	Journal of Prosthodontic Research2018 Dec;63(2):184-192	Original Article
50	Itoi E, Aki T, Hashimoto K, et al.	整形外科	A whole-genome transcriptome analysis of articular chondrocytes in secondary osteoarthritis of the hip.	PloS one2018 Jun 26;13(6):e0199734	Original Article
51	Aoki M, Akaishi T, Takahashi T, et al.	脳神経内科	Abnormal Osmolality Gap Exists in Distal Symmetric Polyneuropathy.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 Sep;246(1):59-64	Original Article
52	Tominaga T, Houkin K, Shichinohe H, et al.	脳神経外科	Accelerating Cell Therapy for Stroke in Japan: Regulatory Framework and Guidelines on Development of Cell-Based Products.	Stroke2018 Apr;49(4):e145-e152	Original Article
53	Fujimura T, Iga N, Otsuka A, et al.	皮膚科	Accumulation of exhausted CD8+ T cells in extramammary Paget's disease.	Plos One2019 Jan;14(1):e021135-e021135	Original Article
54	Mizoguchi I, Tomita Y, Uechi J, et al.	矯正歯科	Accuracy of digital models generated by conventional impression/plaster-model methods and intraoral scanning.	Dent Mater J.2018 Jul;37(4):628-633	Original Article

55	Ito S, Itoh H, Komuro I, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Achieving LDL cholesterol target levels $\leq 1.81 \text{ mmol/L}$ may provide extra cardiovascular protection in patients at high risk: Exploratory analysis of the Standard Versus Intensive Statin Therapy for Patients with Hypercholesterolaemia and Diabetic Retinop	Diabetes, obesity & metabolism2018 Nov	Original Article
56	Asano N, Takahashi Y, Uno K, et al.	消化器内科	Acidic bile salts induces mucosal barrier dysfunction through miR-7a reduction during gastric carcinogenesis after $\text{Helicobacter pylori}$ eradication.	Oncotarget2018 Apr;9(26):18069-18083	Original Article
57	Masamune A, Kanno A, Hanada K, et al.	消化器内科	Advances in Early Detection of Pancreatic Cancer.	Diagnostics (Basel, Switzerland)2019 Feb 5;9(1)	Review
58	Yamada-Fujiwara M, Ikeda K, Ohto H, et al.	輸血・細胞治療部	Adverse Events Associated With Infusion of Hematopoietic Stem Cell Products: A Prospective and Multicenter Surveillance Study.	Transfusion medicine reviews2018 Jun	Original Article
59	Sasano H, Inoue K, Yamazaki Y, et al.	病理部	Aldosterone Suppression by Dexamethasone in Patients with KCNJ5-Mutated Aldosterone-producing Adenoma.	The Journal of clinical endocrinology and metabolism2018 Jul;103(9):3477-3485	Original Article
60	Onishi Y, Konuma T, Mizuno S, et al.	血液・免疫科	Allogeneic hematopoietic cell transplantation in adult acute myeloid leukemia with 11q23 abnormality: a retrospective study of the Adult Acute Myeloid Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT).	Annals of hematology2018 Nov;97(11):2173-2183	Original Article
61	Nakazawa T, Nishiguchi KM, Fujita K, et al.	眼科	Alternative methods to detect anti-TRPM1 antibodies.	Clinical & experimental ophthalmology2018 Jul;47(1):148-149	Letter
62	Arai H, Iwata A, Iwatsubo T, et al.	加齢・老年病科	Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative; Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative. Effects of sex, educational background, and chronic kidney disease grading on longitudinal cognitive and functional decline in patients in the Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative study.	Alzheimers Dement2018 Jul;12(4):765-774	Original Article
63	Kitamoto T, Ishizawa K, Mitsufoji T, et al.	病理部	An autopsy report of three kindred in a Gerstmann-Strussler-Scheinker disease P105L family with a special reference to prion protein, tau, and beta-amyloid.	Brain and behavior2018 Sep 32:e1117	Original Article
64	Itoi E, Kanno H, Aizawa T, et al.	整形外科	An increase in the degree ofolisthesis during axial loading reduces the dural sac size and worsens clinical symptoms in patients with degenerative spondylolisthesis.	The spine journal : official journal of the North American Spine Society2018 May;18(5):726-733	Original Article
65	Yamauchi M, Onishi E, Murakami M, et al.	麻酔科	Analgesic Effect of Double-Level Retrolaminar Paravertebral Block for Breast Cancer Surgery in the Early Postoperative Period: A Placebo-Controlled, Randomized Clinical Trial.	The Tohoku Journal of Experimental Medicine2018 Jul;245(3):179-185	Original Article
66	Onishi Y, Ichikawa S, Fukuhara N, et al.	血液・免疫科	Anaplastic multiple myeloma: possible limitations of conventional chemotherapy for long-term remission.	Journal of clinical and experimental hematopathology : JCEH2018;58(1):39-42	Letter
67	Aoki M, Shijo T, Warita H, et al.	脳神経内科	Antagonizing bone morphogenetic protein 4 attenuates disease progression in a rat model of amyotrophic lateral sclerosis.	Experimental neurology2018 Sep;307:164-179	Original Article

68	Nakazawa T, Kokubun T, Tsuda S, et al.	眼科	Anterior-Segment Optical Coherence Tomography for Predicting Postoperative Outcomes After Trabeculectomy.	Current eye research2018 Jun;43(6):762-770	Original Article
69	Kaku M, Takesue Y, Kusachi S, et al.	総合感染症科	Antimicrobial susceptibility of common pathogens isolated from postoperative intra-abdominal infections in Japan.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy2018 May;24(5):330-340	Original Article
70	Fujii H, Ojima Y, Sawada K, et al.	血液・免疫科	Anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis (AAV) Restricted to the Limbs.	Intern Med2018 May 1;57(9):1301-1308	Case report
71	Nakazawa T, Nishiguchi KM, Fujita K, et al.	眼科	Anti-TRPM1 antibodies in patients with retinal degeneration.	Clinical & experimental ophthalmology2018 Jun;46(9):1087-1089	Letter
72	Tominaga T, Suzuki T, Kawamoto S, et al.	脳神経外科	Application of actuator-driven pulsed water jet for coronary artery bypass grafting: assessment in a swine model.	Journal of artificial organs : the official journal of the Japanese Society for Artificial Organs2018 Jun;21(2):247-253	Original Article
73	Keiko Matsui, Tadashi Kawai, Tetsu Takahashi, et al.	歯科顎口腔外科	Application of octacalcium phosphate and collagen composite for bone augmentation with sinus floor elevation in humans	Clinics in Surgery2018 Sep 18	Original Article
74	Keiko Matsui, Tadashi Kawai, Tetsu Takahashi, et al.	歯科顎口腔外科	Application of octacalcium phosphate collagen composite to bone defects in humans: A long-term observational study.	Clinics in Surgery2018 Oct	Original Article
75	Misu T, Shosha E, Dubey D, et al.	脳神経内科	Area postrema syndrome: Frequency, criteria, and severity in AQP4-IgG-positive NMOSD.	Neurology2018 Oct;91(17):e1642-e1651	Original Article
76	K. Tokodai, K. Shimizu, S. Miyagi, et al.	総合外科	Arterial Complication After Simultaneous Pancreas-Kidney Transplantation From an Abdominal Aortic Aneurysm Donor: A Case Report	Transplantation Proceedings2018 Nov 1;50(9):2891-2894	Case report
77	Watanuki M, Hatta T, Hosaka M, et al.	整形外科	Arthroscopic Excision of Intra-Articular Osteoid Osteoma at the Elbow.	Case reports in orthopedics2019 Feb;2019:8505382	Original Article
78	Sugiura H, Komatsu R, Okazaki T, et al.	呼吸器内科	Aspiration pneumonia induces muscle atrophy in the respiratory, skeletal, and swallowing systems.	Journal of cachexia, sarcopenia and muscle2018 Aug;9(4):643-653	Original Article
79	Nakazawa T, Ito A, Tsuda S, et al.	眼科	Assessing retinal ganglion cell death and neuroprotective agents using real time imaging.	Brain research2019 Feb;1714:65-72	Original Article
80	Fujimura T, Hirai I, Tanese K, et al.	皮膚科	Assessment of the methods used to detect HER2-positive advanced extramammary Paget's disease.	Medical oncology (Northwood, London, England)2018 May 9;35(6):92	Original Article
81	Kakisaka Y, Alkawadri R, Burgess RC, et al.	てんかん科	Assessment of the Utility of Ictal Magnetoencephalography in the Localization of the Epileptic Seizure Onset Zone.	JAMA neurology2018 Aug 1;75(10):1264-1272	Original Article

82	Watanabe Z, Iwama N, Metoki H, et al.	婦人科	Association between alcohol consumption during pregnancy and hypertensive disorders of pregnancy in Japan: the Japan Environment and Children's Study.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension2018 Nov 7;42(1):85-94	Original Article
83	Motoi F, Sato N, Hasegawa Y, et al.	総合外科	Association between chronological depressive changes and physical symptoms in postoperative pancreatic cancer patients.	BioPsychoSocial medicine2018 Sep 228;12-13	Original Article
84	Nakazawa T, Inoue-Yanagimachi M, Himori N, et al.	眼科	Association between mitochondrial DNA damage and ocular blood flow in patients with glaucoma.	The British journal of ophthalmology2018 Sep 6	Original Article
85	Saiki Y, Sakatsume K, Saito K, et al.	心臓血管外科	Association between the severity of acquired von Willebrand syndrome and gastrointestinal bleeding after continuous-flow left ventricular assist device implantation.	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery2018 May;54(5):841-846	Original Article
86	Komiyama T, Saito S, Ohi T, et al.	高齢者歯科治療部	Association between tooth loss and cognitive impairment in community-dwelling older Japanese adults: A 4-year prospective cohort study from the Ohasama study	BMC Oral Health2018 Aug 20;18(1):142	Original Article
87	Itoi E, Sogi Y, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Association between trunk pain and lower extremity pain among youth soccer players: a cross-sectional study.	BMC sports science, medicine & rehabilitation2018 Jul 6;10:13	Original Article
88	Unno M, Tokodai K, Miyagi S, et al.	総合外科	Association of post-transplant donor-specific HLA antibody with liver graft fibrosis during long-term follow-up after pediatric liver transplantation.	Pediatric transplantation2018 May 14;22(3):e13169	Original Article
89	Suzuki T, Takayama KI, Fujimura T, et al.	病理部	Association of USP10 with G3BP2 Inhibits p53 Signaling and Contributes to Poor Outcome in Prostate Cancer.	Molecular cancer research : MCR2018 May;16(5):846-856	Original Article
90	Kure S, Ota C, Kimura M, et al.	小児科	Asymptomatic left atrial appendage aneurysm (LAAA) with pericardial defect in a 1-year-old girl.	BMJ case reports2018 Jun 4;2018	Case report
91	Shigeo K, Yurika NU, Hiroyuki Y, et al.	小児科	Attachment Disorder and Early Media Exposure: Neurobehavioral symptoms mimicking autism spectrum disorder.	The journal of medical investigation : JMI2018;65(3.4):280-282	Original Article
92	Bando K, Suzuki H, Tada H, et al.	矯正歯科	Augmentation of Lipopolysaccharide-Induced Production of IL-1 α and IL-1 β in Mice Given Intravenous Zoledronate (a Nitrogen-Containing Bisphosphonate) and Its Prevention by Clodronate (a Non-nitrogen-containing Bisphosphonate).	Biological and Pharmaceutical Bulletin. 2019;42(2):164-172	Original Article
93	Kitamoto T, Iwasaki Y, Imamura K, et al.	病理部	Autopsied case of non-plaque-type dura mater graft-associated Creutzfeldt-Jakob disease presenting with extensive amyloid- β deposition.	Neuropathology : official journal of the Japanese Society of Neuropathology2018 Oct;38(5):549-556	Case report
94	Kitamoto T, Iwasaki Y, Kato H, et al.	病理部	Autopsy case of V180I genetic Creutzfeldt-Jakob disease presenting with early disease pathology.	Neuropathology : official journal of the Japanese Society of Neuropathology2018 Sep 14	Case report
95	Sasaki K, Koyama S, Kanetaka H, et al.	咬合回復科	Availability of cosmetic treatment using novel cosmetics-based material on patients with craniofacial concavity.	Journal of prosthodontic research2018 Jul;62(3):379-382	Original Article

96	Ichinose M, Tsukita Y, Fujino N, et al.	呼吸器内科	Axl kinase drivers immune checkpoint and chemokine signaling pathways in lung adenocarcinomas.	Molecular Cancer 2019 Feb 11;18:24	Original Article
97	Ichinose M, Tsukita Y, Okazaki T, et al.	呼吸器内科	Beneficial effects of sunitinib on tumor microenvironment and immunotherapy targeting death receptor5.	Oncolimmunology 2018 Nov 13;8(2):e1543526	Original Article
98	Ito S, Mori T, Sato S, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Better Healing of the Exit Site with Negative-Pressure Wound Therapy.	Advances in peritoneal dialysis. Conference on Peritoneal Dialysis2018 Nov;34(2018):53-57	Original Article
99	Aoki Y, Wada Y, Kikuchi A, et al.	遺伝科	Biallelic GALM pathogenic variants cause a novel type of galactosemia.	Genetics in medicine : official journal of the American College of Medical Genetics2018 Oct 19	Original Article
100	Tominaga T, Akamatsu Y, Hayashi T, et al.	脳神経外科	Bilateral Upper Cerebellar Hemorrhage Due to Pial Arteriovenous Fistula and Its Pathophysiological Insight.	World neurosurgery2018 Jul;115:388-392	Original Article
101	Yoda N, Zheng K, Chen J, et al.	咬合回復科	Biomechanical analysis of bone remodeling following mandibular reconstruction using fibula free flap.	Medical engineering & physics2018 Jun;56:1-8	Original Article
102	Itoi E, Tanaka H, Yamako G, et al.	整形外科	Biomechanical analysis of supra-acetabular insufficiency fracture using finite element analysis.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association2018 Sep;23(5):825-833	Original Article
103	Tominaga T, Tashiro R, Fujimura M, et al.	脳神経外科	Biphasic Development of Focal Cerebral Hyperperfusion After Revascularization Surgery for Adult Moyamoya Disease Associated With Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association2018 Nov;27(11):3256-3260	Original Article
104	Watanabe Z, Iwama N, Metoki H, et al.	婦人科	Blood pressure changes during twin pregnancies: the Japan Environment and Children's Study.	Journal of hypertension2019 Jan;37(1):206-215	Original Article
105	Keiko Matsui, Atsushi Iwai, Fumihiko Kajii, et al.	歯科顎口腔外科	Bone regeneration by freeze-dried composite of octacalcium phosphate collagen and teriparatide	Oral Diseases2018 Nov;24(8):1514-1521	Original Article
106	Fujimura T, Hidaka T, Kambayashi Y, et al.	皮膚科	BRAF kinase inhibitors for treatment of melanoma: developments from early-stage animal studies to Phase II clinical trials.	Expert opinion on investigational drugs2018 Dec;28(2):143-148	Review
107	Hasegawa T, Carballo-Carbajal I, Laguna A, et al.	脳神経内科	Brain tyrosinase overexpression implicates age-dependent neuromelanin production in Parkinson's disease pathogenesis.	Nature communications2019 Mar 7;10(1):973	Original Article
108	Ito S, Mishima E, Fukuda S, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Canagliflozin reduces plasma uremic toxins and alters the intestinal microbiota composition in a chronic kidney disease mouse model.	American journal of physiology. Renal physiology2018 Oct;315(4):F824-F833	Original Article
109	Ito S, Hashimoto J, Westerhof BE.	腎・高血圧・内分泌科	Carotid Flow Augmentation, Arterial Aging, and Cerebral White Matter Hyperintensities.	Arteriosclerosis, thrombosis, and vascular biology2018 Dec;38(12):2843-2853	Original Article

110	Sasahara Y, Ozawa M, Aiba S.	小児科	Case of atopic dermatitis concurrent with idiopathic thrombocytopenic purpura, whose serum thymus and activation-regulated chemokine level remained undetectable.	The Journal of dermatology2018 May;45(5):606-608	Case report
111	Satoh F, Konosu-Fukaya S, Omata K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Catecholamine-Synthesizing Enzymes in Pheochromocytoma and Extraadrenal Paraganglioma.	Endocrine pathology2018 Dec;29(4):302-309	Original Article
112	Ito S, Omata K, Satoh F, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Cellular and Genetic Causes of Idiopathic Hyperaldosteronism.	Hypertension (Dallas, Tex. : 1979)2018 Oct;72(4):874-880	Original Article
113	Mutoh T, Yamamoto S, Mutoh T, et al.	加齢・老年病科	Central action of rapamycin on early ischemic injury and related cardiac depression following experimental subarachnoid hemorrhage.	Brain Res Bull2019 Jan;144:85-91	Original Article
114	Tominaga T, Inoue T, Ohara Y, et al.	脳神経外科	Cervical Periosteal Chondroma Causing Spinal Cord or Nerve Compression: 2 Case Reports and Literature Review.	World neurosurgery2018 Jun;114:99-105	Original Article
115	Ito S, Coresh J, Heerspink HJL, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Change in albuminuria and subsequent risk of end-stage kidney disease: an individual participant-level consortium meta-analysis of observational studies.	The lancet. Diabetes & endocrinology2019 Feb;7(2):115-127	Original Article
116	Unno M, Ise I, Tanaka N, et al.	総合外科	Changes in Enterohepatic Circulation after Duodenal-Jejunal Bypass and Reabsorption of Bile Acids in the Bilio-Pancreatic Limb.	Obesity surgery2019 Feb	Original Article
117	Akaishi T, Takahashi T, Nakashima I.	総合地域医療教育支援部	Chaos theory for clinical manifestations in multiple sclerosis.	Medical Hypotheses2018 Jun;115:87-93	Original Article
118	Takano T, Matsuo K, Takazawa Y, et al.	婦人科	Characterizing sarcoma dominance pattern in uterine carcinosarcoma: Homologous versus heterologous element.	Surgical oncology2018 Sep;27(3):433-440	Original Article
119	Aoki M, Akaishi T, Takahashi T, et al.	脳神経内科	Chloride imbalance is involved in the pathogenesis of optic neuritis in neuromyelitis optica.	Journal of neuroimmunology2018 Jul 15;320:98-100	Original Article
120	Tominaga T, Omodaka S, Endo H, et al.	脳神経外科	Circumferential Wall Enhancement on Magnetic Resonance Imaging is Useful to Identify Rupture Site in Patients with Multiple Cerebral Aneurysms.	Neurosurgery2018 May;82(5):638-644	Original Article
121	Kamei T, Kumata H, Nakanishi C, et al.	総合外科	Classical Hodgkin lymphoma-type and monomorphic-type post-transplant lymphoproliferative disorder following liver transplantation: a case report.	Surgical case reports2018 Jul;4(1):72	Case report
122	Yamada M, Kobayashi S, Hanagama M, et al.	呼吸器内科	Clinical characteristics and outcomes in Japanese patients with COPD according to the 2017 GOLD classification: the Ishinomaki COPD Network Registry.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease2018 Dec 6;13:3947-3955	Original Article
123	Kanno A, Kubota K, Kamisawa T, et al.	消化器内科	Clinical course of type 1 autoimmune pancreatitis patients without steroid treatment: a Japanese multicenter study of 97 patients.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences2018 Apr;25(4):223-230	Original Article

124	Onishi Y, Yakushijiin K, Ikezoe T, et al.	血液・免疫科	Clinical effects of recombinant thrombomodulin and defibrotide on sinusoidal obstruction syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Bone marrow transplantation2018 Aug;54(5):674-680	Original Article
125	Itoi E, Okuno H, Watanuki M, et al.	整形外科	Clinical features and radiological findings of 67 patients with SAPHO syndrome.	Modern rheumatology2018 Jul;28(4):703-708	Original Article
126	Tominaga T, Shibahara I, Kanamori M, et al.	脳神経外科	Clinical Features of Precocious, Synchronous, and Metachronous Brain Metastases and the Role of Tumor Resection.	World neurosurgery2018 May;113:e1-e9	Original Article
127	Kanno A, Isayama H, Tazuma S, et al.	消化器内科	Clinical guidelines for primary sclerosing cholangitis 2017.	Journal of gastroenterology2018 Sep;53(9):1006-1034	Original Article
128	Motoi F, Satoi S, Yamamoto T, et al.	総合外科	Clinical impact of developing better practices at the institutional level on surgical outcomes after distal pancreatectomy in 1515 patients: Domestic audit of the Japanese Society of Pancreatic Surgery.	Annals of gastroenterological surgery2018 May;2(3):212-219	Original Article
129	Unno M, Nagakawa Y, Sahara Y, et al.	総合外科	Clinical Impact of Neoadjuvant Chemotherapy and Chemoradiotherapy in Borderline Resectable Pancreatic Cancer: Analysis of 884 Patients at Facilities Specializing in Pancreatic Surgery.	Annals of surgical oncology2019 Jan 4	Original Article
130	Watanuki M, Urakawa H, Yonemoto T, et al.	整形外科	Clinical outcome of primary giant cell tumor of bone after curettage with or without perioperative denosumab in Japan: from a questionnaire for JCOG 1610 study.	World journal of surgical oncology2018 Aug 8;16(1):160	Original Article
131	Kanno A, Kamizawa T, Nakazawa T, et al.	消化器内科	Clinical practice guidelines for IgG4-related sclerosing cholangitis.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences2018 Dec;26(1):9-42	Original Article
132	Akaishi T, Sato DK, Takahashi T, et al.	総合地域医療教育支援部	Clinical spectrum of inflammatory central nervous system demyelinating disorders associated with antibodies against myelin oligodendrocyte glycoprotein.	Neurochemistry International 2018 Oct 3	Original Article
133	Takano T, Matsuo K, Ross MS, et al.	婦人科	Clinical utility of CA-125 in the management of uterine carcinosarcoma.	Journal of gynecologic oncology2018 Nov;29(6):e88	Original Article
134	Sakamoto M, Ogawa T, Kojima I, et al.	口腔診断科	Clinical utility of dynamic-enhanced MRI in salivary gland tumors: retrospective study and literature review.	European archives of oto-rhino-laryngology : official journal of the European Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies (EUFOS) : affiliated with the German Society for Oto-Rhino-Laryngology - Head and Neck Surgery2018 Jun;275(6):1613-1621	Original Article
135	Tokunaga H, Sakurada S, Watanabe Y, et al.	婦人科	Clinicopathologic features and BRCA mutations in primary fallopian tube cancer in Japanese women.	Japanese journal of clinical oncology2018 Sep;48(9):794-798	Original Article
136	Sasano H, Kasajima A, Konukiewicz B, et al.	病理部	Clinicopathologic profiling of lung carcinoids with a Ki67 index greater than 20.	Neuroendocrinology2018 Nov 28	Original Article

137	Kushimoto S, Yasaka M, Brainsky A, et al.	救急科	Coagulation Factor Plasma Levels Following Administration of a 4-Factor Prothrombin Complex Concentrate for Rapid Vitamin K Antagonist Reversal in Japanese Patients.	Current therapeutic research, clinical and experimental2018 Aug;89:21-26	Original Article
138	Suzuki T, Takayama KI, Fujimura T, et al.	病理部	COBL1 modulates cell morphology and facilitates androgen receptor genomic binding in advanced prostate cancer.	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America2018 May;115(19):4975-4980	Original Article
139	Sasano H, Kitawaki Y, Fujishima F, et al.	病理部	Coexistence of glandular papilloma and sclerosing pneumocytoma in the bronchiole.	Pathology international2018 Jul;68(7):425-430	Case report
140	Sasaki K, Yamamoto T, Aida J, et al.	咬合回復科	Cohort Study on Laryngeal Cough Reflex, Respiratory Disease, and Death; a Mediation Analysis.	Journal of the American Medical Directors Association2019 Mar	Original Article
141	Kamei T, Sato H, Ishida M, et al.	総合外科	Combination of longitudinal pancreaticojejunostomy with coring-out of the pancreatic head (Frey procedure) and distal pancreatectomy for chronic pancreatitis.	Surgery today2018 Sep 26	Case report
142	Unno M, Kawaguchi K, Higuchi T, et al.	総合外科	Combination therapy of tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R and oral recombinant methioninase regresses a BRAF-V600E-negative melanoma.	Biochemical and biophysical research communications2018 Sep;503(4):3086-3092	Original Article
143	Takahashi J, Kasahara S, Sakata Y, et al.	循環器内科	Comparable prognostic impact of BNP levels among HFpEF, Borderline HFpEF and HFrEF: a report from the CHART-2 Study.	Heart and vessels2018 Sep;33(9):997-1007	Original Article
144	Itoi E, Hagiwara Y, Mori M, et al.	整形外科	Comparative proteome analysis of the capsule from patients with frozen shoulder.	Journal of shoulder and elbow surgery2018 Oct;27(10):1770-1778	Original Article
145	Nakazawa T, An G, Omodaka K, et al.	眼科	Comparison of Machine-Learning Classification Models for Glaucoma Management.	Journal of healthcare engineering2018 Jun 19;2018:6874765	Original Article
146	Yamauchi M, Sato Y.	麻酔科	Complex issues in new ultrasound-guided nerve blocks: how to name, where to inject, and how to publish.	Journal of Anesthesia2018 Apr;32(2):283-287	Original Article
147	Hideki Ota, Takuya Ueda, Hiroshi Suito, et al.	放射線診断科	Computational Fluid Dynamics Modeling in Aortic Diseases	Cardiovascular Imaging Asia2018 Apr;2(2):58-64	Review
148	Satoh F, Williams TA, Burrello J, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Computed Tomography and Adrenal Venous Sampling in the Diagnosis of Unilateral Primary Aldosteronism.	Hypertension (Dallas, Tex. : 1979)2018 Sep;72(3):641-649	Original Article
149	Itoi E, Ando A, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Concomitant ipsilateral humeral neck and shaft fractures in an elderly patient treated with hemiarthroplasty and periprosthetic cable-plating system.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association2018 Jul;23(4):710-714	Case report
150	Saiki Y, Adachi O, Suzuki T, et al.	心臓血管外科	Concomitant Valve-sparing Aortic Root Replacement with Repair of Tetralogy of Fallot.	The Annals of thoracic surgery2019 Feb 8	Original Article

151	Kudo D, Umemura Y, Yamakawa K, et al.	救急科	Concomitant Versus Individual Administration of Antithrombin and Thrombomodulin for Sepsis-Induced Disseminated Intravascular Coagulation: A Nationwide Japanese Registry Study.	Clinical and applied thrombosis/hemostasis : official journal of the International Academy of Clinical and Applied Thrombosis/Hemostasis 2018 Jul;24(5):734-740	Original Article
152	Ito S, Shimada S, Nakamichi T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Concurrent isolated IgG2-positive membranous nephropathy and malignant B-cell lymphoma.	CEN case reports 2018 Nov;7(2):248-252	Case report
153	Masamune A, Ishii N, Araki K, et al.	消化器内科	Conophylline suppresses pancreatic cancer desmoplasia and cancer-promoting cytokines produced by cancer-associated fibroblasts.	Cancer science 2018 Oct;110(1):334-344	Original Article
154	Masamune A, Hatta W, Koike T, et al.	消化器内科	Continuous liquid-suction catheter attachment for endoscope reduces volume of liquid reflux to the mouth in esophageal endoscopic submucosal dissection.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society 2019 Mar 12	Original Article
155	Tominaga T, Shoji T, Kawaguchi T, et al.	脳神経外科	Continuous Minor Bleeding from Tumor Surface in Patients with Craniopharyngiomas: Case Series of Nonobstructive Hydrocephalus.	Journal of neurological surgery. Part A, Central European neurosurgery 2018 Sep;79(5):436-441	Original Article
156	Jingu K, Tang L, Matsushita H, et al.	放射線治療科	Controversial issues in radiotherapy after breast-conserving surgery for early breast cancer in older patients: a systematic review.	Journal of radiation research 2018 Nov;59(6):789-793	review
157	Yoko Aoki, Akihiro Tamura, Suguru Uemura, et al.	遺伝科	Co-occurrence of hypertrophic cardiomyopathy and juvenile myelomonocytic leukemia in a neonate with Noonan syndrome, leading to premature death	Clinical Case Reports 2018 May 8;6(7):1202-1207	Case report
158	Ichinose M, Igarashi A, Fukuchi Y, et al.	呼吸器内科	COPD uncovered: a cross-sectional study to assess the socioeconomic burden of COPD in Japan.	Int J COPD 2018 Aug 28;13:2629-2641	Original Article
159	Sugiura H, Aizawa H, Koarai A, et al.	呼吸器内科	Correction to: Oxidative stress enhances the expression of IL-33 in human airway epithelial cells.	Respiratory research 2018 Jun 12;19(1):116	Original Article
160	Saiki Y, Oishi H, Watanabe T, et al.	心臓血管外科	Correction to: Single lung transplantation for lymphangiomyomatosis: a single-center experience in Japan.	Surgery today 2018 Oct;48(10):951	Original Article
161	Unno M, Chiba H, Kakuta Y, et al.	総合外科	Correction: Allele-specific DNA methylation of disease susceptibility genes in Japanese patients with inflammatory bowel disease.	PloS one 2019 Feb 5;14(2):e0212148	Original Article
162	Nakazawa T, Nishiguchi KM, Yokoyama Y, et al.	眼科	Correlation between aqueous flare and residual visual field area in retinitis pigmentosa.	The British journal of ophthalmology 2018 Jun;103(4):475-480	Original Article
163	K. Tokodai, S. Miyagi, C. Nakanishi, et al.	総合外科	Correlation Between Splenectomy and Portal Vein Complications in Living Donor Liver Transplantation	Transplantation Proceedings 2018 Nov 1;50(9):2611-2613	Original Article
164	Arai H, Harada R, Ishiki A, et al.	加齢・老年病科	Correlations of ¹⁸ F-THK5351 PET with Postmortem Burden of Tau and Astroglia in Alzheimer Disease.	Journal of nuclear medicine : official publication, Society of Nuclear Medicine 2018 Apr;59(4):671-674	Original Article

165	Kaku M, Takesue Y, Kusachi S, et al.	総合感染症科	Corrigendum to "Antimicrobial susceptibility of common pathogens isolated from postoperative intra-abdominal infections in Japan" [J Infect Chemother 24 (2018) 330-340].	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy2018 Jul;24(7):592-595	Original Article
166	Arai H, Tomita N, Kojima T, et al.	加齢・老年病科	Could problem lists summarize comprehensive geriatric assessments? A nationwide cross-sectional survey on geriatricians' attitudes towards problem lists	Geriatr. Gerontol. Int. 2019 Feb;19(2):159-164	Original Article
167	Kitamoto T, Miyake K, Hara T, et al.	病理部	Creutzfeldt-Jakob disease with Alzheimer pathology, presenting with status epilepticus following repeated partial seizures: a case report and literature review.	BMC neurology2018 Apr 25;18(1):54	Case report
168	Itoi E, Shinagawa K, Hatta T, et al.	整形外科	Critical shoulder angle in an East Asian population: correlation to the incidence of rotator cuff tear and glenohumeral osteoarthritis.	Journal of shoulder and elbow surgery2018 Sep;27(9):1602-1606	Original Article
169	Sugawara A, Aida K, Kobayashi T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Crucial role of Reg I from acinar-like cell cluster touching with islets (ATLANTIS) on mitogenesis of beta cells in EMC virus-induced diabetic mice.	Biochemical and biophysical research communications2018 Sep;503(2):963-969	Original Article
170	Aoki M, Kaneko K, Sato DK, et al.	脳神経内科	CSF cytokine profile in MOG-IgG+ neurological disease is similar to AQP4-IgG+ NMOSD but distinct from MS: a cross-sectional study and potential therapeutic implications.	Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry2018 Sep;89(9):927-936	Original Article
171	Inoue SI, Morozumi N, Yoshikiyo K, et al.	遺伝科	C-type natriuretic peptide improves growth retardation in a mouse model of cardio-facio-cutaneous syndrome.	Human molecular genetics2019 Jan 1;28(1):74-83	Original Article
172	Unno M, Imamura M, Hirata K, et al.	総合外科	Current status of projects for developing cancer-related clinical practice guidelines in Japan and recommendations for the future.	International journal of clinical oncology2018 Aug;24(2):189-195	Original Article
173	Kitaura H, Shima K, Kimura K, et al.	矯正歯科	C-X-C motif chemokine 12 enhances lipopolysaccharide-induced osteoclastogenesis and bone resorption in vivo.	Calcif. Tissue Int.2018 Oct;103(4):431-442	Original Article
174	Nemoto E, Maruyama K, Sakisaka Y, et al.	歯周病科	Cyclic Stretch Negatively Regulates IL-1 β Secretion Through the Inhibition of NLRP3 Inflammasome Activation by Attenuating the AMP Kinase Pathway.	Frontiers in physiology2018 Jun;9:802	Original Article
175	Unno M, Aoki S, Motoi F, et al.	総合外科	Decreased serum carbohydrate antigen 19-9 levels after neoadjuvant therapy predict a better prognosis for patients with pancreatic adenocarcinoma: a multicenter case-control study of 240 patients.	BMC cancer2019 Mar 21;19(1):252	Original Article
176	Tachi M, Miura T, Kawakami K, et al.	形成外科	Dectin-2-mediated signaling leads to delayed skin wound healing through enhanced neutrophilic inflammatory response and neutrophil extracellular traps formation.	The Journal of investigative dermatology2019 Mar 21;136(3):702-711	Original Article
177	Etsuro Mori, Nishio Yoshiyuki, Kayoko Yokoi, et al.	高次脳機能障害科	Defining visual illusions in Parkinson's disease: Kinetopsia and object misidentification illusions.	Parkinsonism & Related Disorders2018 Oct;55:111-116	Original Article
178	Ichinose M, Yanagisawa S.	呼吸器内科	Definition and Diagnosis of asthma-COPD overlap (ACO).	Allergol Int2018 Apr;67(2):172-178	Review

179	Kamei T, Okamoto H, Taniyama Y, et al.	総合外科	Definitive chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (DCF-R) for advanced cervical esophageal cancer.	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society2018 Oct;15(4):281-285	Original Article
180	Kure S, Umeki I, Niihori T, et al.	小児科	Delineation of LZTR1 mutation-positive patients with Noonan syndrome and identification of LZTR1 binding to RAF1-PPP1CB complexes.	Human genetics2019 Jan;138(1):21-35	Original Article
181	Takamasa Komiya, Takashi Ohi, Yasutake Tomata, et al.	高齢者歯科治療部	Dental Status is Associated with Incident Functional Disability in Community-Dwelling Older Japanese: A Prospective Cohort Study Using Propensity Score Matching	Journal of Epidemiology2019 Jan 26	Original Article
182	Ishizawa K, Fujiwara S, Saiki Y, et al.	総合地域医療教育支援部	Department of Molecular Pathology, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan	Cancer Med2019 Feb;8(4):1671-1678	Original Article
183	Akaishi T, Kaneko K, Sato DK, et al.	総合地域医療教育支援部	Department of Neurology, Tohoku University Graduate school of Medicine, sendai, Japan	Journal of Neurology, Neurosurgery, and Psychiatry2018 Sep;89(9):927-936	Original Article
184	Jingu K, Suenaga H, Tamahara T, et al.	放射線治療科	Design of the spacer for brachytherapy using (198)Au grain for carcinoma of the tongue as a tool of perioperative oral management.	Journal of prosthodontic research2018 Oct;62(4):518-521	case report
185	Masamune A, Okata H, Hatta W, et al.	消化器内科	Detection of Acetaldehyde in the Esophageal Tissue among Healthy Male Subjects after Ethanol Drinking and Subsequent L-Cysteine Intake.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 Apr;244(4):317-325	Original Article
186	Yaegashi N, Ishikawa T, Obara T, et al.	産科	Development of algorithms to determine the onset of pregnancy and delivery date using health care administrative data in a university hospital in Japan.	Pharmacoepidemiology and drug safety2018 Jul;27(7):751-762	Original Article
187	Tomoyuki Yambe, Yusuke Inoue, Masaki Hayakawa, et al.	心臓血管外科	Development of Evaluation System for Von Willebrand Factor Degradation by Shear Stress of Mechanical Circulation	40th International Engineering in Medicine and Biology Conference2018 Jul;40(1):31-31	Original Article
188	Arai H, Toyoshima K, Araki A, et al.	加齢・老年病科	Development of the Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System 8-items, a short version of the Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System 21-items, for the assessment of cognitive and daily functions.	Geriatr Gerontol Int2018 Sep 17;18(10):1458-1462	Original Article
189	Ito S, Iwai T, Miyazaki M, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Diabetes mellitus as a cause or comorbidity of chronic kidney disease and its outcomes: the Gonryo study.	Clin Exp Nephrol.2018 Apr;22(2):328-336	Original Article
190	Nakazawa T, Yoshida M, Hariya T, et al.	眼科	Diagnosing superinfection keratitis with multiplex polymerase chain reaction.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy2018 Jul;24(12):1004-1008	Case report
191	Kanno A, Hata T, Mizuma M, et al.	消化器内科	Diagnostic and Prognostic Impact of Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio for Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas With High-Grade Dysplasia and Associated Invasive Carcinoma.	Pancreas2019 Jan;48(1):99-106	Original Article
192	Nakazawa T, Aizawa N, Kunikata H	眼科	Diagnostic power of laser speckle flowgraphy-measured optic disc microcirculation for open-angle glaucoma: Analysis of 314 eyes.	Clinical & experimental ophthalmology2019 Mar	Letter

193	Tokunaga H, Nishigaya Y, Kobayashi Y, et al.	婦人科	Diagnostic value of combination serum assay of lactate dehydrogenase, D-dimer, and C-reactive protein for uterine leiomyosarcoma.	The journal of obstetrics and gynaecology research2018 Aug	Original Article
194	Kaku M, Abe M, Kinjo Y, et al.	総合感染症科	Differences in Ocular Complications Between <i>Candida albicans</i> and Non- <i>albicans Candida</i> Infection Analyzed by Epidemiology and a Mouse Ocular Candidiasis Model.	Frontiers in microbiology2018 Oct;9:2477	Original Article
195	Miura M, Sunamura S, Satoh K, et al.	循環器内科	Different roles of myocardial ROCK1 and ROCK2 in cardiac dysfunction and postcapillary pulmonary hypertension in mice.	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America2018 Jul 24;115(30):E7129-E7138	Original Article
196	Saiki Y, Watanabe K, Ito K, et al.	心臓血管外科	Differential selective hypothermic intercostal artery perfusion: a new method to probe spinal cord perfusion during thoracoabdominal aortic aneurysm repair.	General thoracic and cardiovascular surgery2018 Sep;67(1):180-186	Original Article
197	Morikawa T, Ohtsuka T, Ban D, et al.	総合外科	Difficulty scoring system in laparoscopic distal pancreatectomy.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences2018 Nov;25(11):489-497	Original Article
198	NOGAMI S, Yamauchi K, Bottini GB, et al.	歯科顎口腔外科	Do mandibular third molars play a role in fractures of the mandibular angle and condyle ?	J Craniofac Surg2018 Oct;29(7):e713-e717	Original Article
199	Mizoguchi I, Kishikawa A, Kitaura H, et al.	矯正歯科	Docosahexaenoic acid inhibits inflammation-induced osteoclast formation and bone resorption in vivo through GPR120 by inhibiting TNF- α production in macrophages and directly inhibiting osteoclast formation.	Front Endocrinol.2019 Mar;10:157	Original Article
200	Kitaura H, Ishida M, Shen WR, et al.	矯正歯科	DPP-4 inhibitor impedes lipopolysaccharide-induced osteoclast formation and bone resorption in vivo.	Biomed Pharmacother. 2019 Jan;109:242-253	Original Article
201	Tatewaki Y, Takanashi Y, Kawase T, et al.	加齢・老年病科	Duplicated internal auditory canal with inner ear malformation: Case report and literature review.	Auris, nasus, larynx2018 Apr;45(2):351-357	Case report
202	Tominaga T, Rashad S, Niizuma K, et al.	脳神経外科	Early BBB breakdown and subacute inflammasome activation and pyroptosis as a result of cerebral venous thrombosis.	Brain research2018 Nov;1699:54-68	Original Article
203	Kure S, Isojima T, Kato N, et al.	小児科	Early excessive growth with distinct seasonality in preschool obesity.	Archives of disease in childhood2018 Jun	Original Article
204	Nakazawa T, Sato K, Shiga Y, et al.	眼科	Ecell Knockdown With an AAV2-Mediated CRISPR/Cas9 System Promotes Optic Nerve Damage-Induced RGC Death in the Mouse Retina.	Investigative ophthalmology & visual science2018 Aug;59(10):3943-3951	Original Article
205	Itoi E, Nagamoto H, Yamamoto N.	整形外科	Effect of anchor threads on the pullout strength: A biomechanical study.	Journal of orthopaedics2018 Sep;15(3):878-881	Original Article
206	Sasaki K, Shiraishi N, Ishiko-Uzuka R, et al.	咬合回復科	Effect of functionally-graded calcium titanate Film, prepared by metal-organic chemical vapor deposition, on titanium implant.	Applied sciences2019 Jan;9(172)	Original Article

207	Mutoh T, Mutoh T, Tsubone H, et al.	加齢・老年病科	Effect of hippotherapy on gait symmetry in children with cerebral palsy: A pilot study.	Clin Exp Pharmacol Physiol2019 Mar;46(5):506-509	Original Article
208	K. Tokodai, K. Miyazawa, S. Miyagi, et al.	総合外科	Effect of Middle Hepatic Vein Tributaries Preserving Technique Until Just Before Graft Retrieval on Donors' Surgical Outcomes in Living Donor Liver Transplantation	Transplantation Proceedings2018 Nov 1;50(9):2636-2639	Original Article
209	Ishida Takanori, Omata Fumiya, McNamara Keely May, et al.	総合外科	Effect of the normal mammary differentiation regulator ELF5 upon clinical outcomes of triple negative breast cancers patients	BREAST CANCER2018 Jul;25(4):489-496	Original Article
210	Tominaga T, Kamiyama Y, Yamashita S, et al.	脳神経外科	Effects of a Novel Piezo Actuator-Driven Pulsed Water Jet System on Residual Kidney after Partial Nephrectomy in a Rat Model.	Urology2018 Oct	Original Article
211	Itoi E, Hagiwara Y, Sekiguchi T, et al.	整形外科	Effects of Arthroscopic Coracohumeral Ligament Release on Range of Motion for Patients with Frozen Shoulder.	The open orthopaedics journal2018 Sep;12:373-379	Original Article
212	Motoi F, Ono T, Nagao M, et al.	総合外科	Effects of Calcitonin Gene-Related Peptide on Colonic Motility and Defecation in Conscious Dogs.	Journal of gastrointestinal surgery : official journal of the Society for Surgery of the Alimentary Tract2018 Jul;22(12):2097-2103	Original Article
213	Saiki Y, Konno R, Tatebe S, et al.	心臓血管外科	Effects of Hepatitis C Virus Antibody-Positivity on Cardiac Function and Long-Term Prognosis in Patients With Adult Congenital Heart Disease.	The American journal of cardiology2018 Dec;122(11):1965-1971	Original Article
214	Onishi Y, Yokoyama H, Kanda J, et al.	血液・免疫科	Effects of HLA mismatch on cytomegalovirus reactivation in cord blood transplantation.	Bone marrow transplantation2018 Nov	Original Article
215	Itoi E, Fujisawa H, Mori Y, et al.	整形外科	Effects of intramedullary nails composed of a new β -type Ti-Nb-Sn alloy with low Young's modulus on fracture healing in mouse tibiae.	Journal of biomedical materials research. Part B, Applied biomaterials2018 Nov;106(8):2841-2848	Original Article
216	Sugino S, Kido K, Toda S, et al.	手術部	Effects of low-dose ketamine infusion on remifentanyl-induced acute opioid tolerance and the inflammatory response in patients undergoing orthognathic surgery.	Journal of pain research2019;12:377-385	Original Article
217	Itoi E, Itaya N, Yabe Y, et al.	整形外科	Effects of Low-Intensity Pulsed Ultrasound for Preventing Joint Stiffness in Immobilized Knee Model in Rats.	Ultrasound in medicine & biology2018 Jun;44(6):1244-1256	Original Article
218	Mizoguchi I, Iijima M, Ishikawa R. et al.	矯正歯科	Effects of pastes containing ion-releasing particles on dentin remineralization.	Dent Mater J. 2019 Mar;38(2):271-277	Original Article
219	Sasaki K, Sheng H, Ogawa T, et al.	咬合回復科	Effects of polyphenols on doxorubicin-induced oral keratinocyte cytotoxicity and anticancer potency against oral cancer cells.	Journal of oral pathology & medicine : official publication of the International Association of Oral Pathologists and the American Academy of Oral Pathology2018 Apr;47(4):368-374	Original Article

220	Ito S, Ogawa S, Nako K.	腎・高血圧・内分泌科	Effects of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors on hypoglycaemia in brittle diabetic patients with decreased endogenous insulin secretion	Endocrinol Diab Metab2018 Dec;2(1):e00044	Original Article
221	Goto M, Kakizaki Y, Miyagi S, et al.	総合外科	Effects of subnormothermic perfusion before transplantation for liver grafts from donation after cardiac death: A simplified dripping perfusion method in pigs	Transplantation Proc2018 Jun;50(5):1538-1543	Original Article
222	Nogami S, Yamauchi K, Takahashi T, et al.	歯科顎口腔外科	Effects of surgery-first approaches on temporomandibular joint symptom and function: A comparison with orthodontics-first approaches.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol2018 Oct	Original Article
223	Ito S, Nezu M, Kudo M, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Effects of surgical treatment for acromegaly on knee MRI structural features.	Endocrine journal2018 Oct;65(10):991-999	Original Article
224	Ito S, Kagawa T, Saiki T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Efficacy and Safety of Imarikiren in Patients with Type 2 Diabetes and Microalbuminuria: A Randomized, Controlled Trial.	Clinical journal of the American Society of Nephrology : CJASN2019 Feb	Original Article
225	Ishikawa T, Ohmachi K, Tobinai K, et al.	血液・免疫科	Efficacy and safety of obinutuzumab in patients with previously untreated follicular lymphoma: a subgroup analysis of patients enrolled in Japan in the randomized phase III GALLIUM trial.	International journal of hematology2018 Jul	Original Article
226	Kikuchi K, Watabe A, Yamasaki K, et al.	皮膚科	Efficacy of oral cholecalciferol on rhododendrol-induced vitiligo: A blinded randomized clinical trial.	The Journal of dermatology2018 Apr;45(4):456-462	Original Article
227	Masamune A, Hamada S.	消化器内科	Elucidating the link between collagen and pancreatic cancer: what's next?	Expert review of gastroenterology & hepatology2018 Apr;12(4):315-317	Review
228	Ito S, Itoh H, Komuro I, et al.	腎・高血圧・内分泌科	EMPATHY Investigators: Intensive Treat-to-Target Statin Therapy in High-Risk Japanese Patients With Hypercholesterolemia and Diabetic Retinopathy: Report of a Randomized Study.	Diabetes Care2018 Jun;41(6):1275-1284	Original Article
229	Onishi Y, Kurosawa S, Yamaguchi T, et al.	血液・免疫科	Employment status was highly associated with quality of life after allogeneic hematopoietic cell transplantation, and the association may differ according to patient age and graft-versus-host disease status: analysis of a nationwide QOL survey.	Bone marrow transplantation2018 Oct;54(4):611-615	Original Article
230	Sugawara A, Noro E, Yokoyama A, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Endogenous Purification of NR4A2 (Nurr1) Identified Poly(ADP-Ribose) Polymerase 1 as a Prime Coregulator in Human Adrenocortical H295R Cells.	International journal of molecular sciences2018 May;19(5)	Original Article
231	Nogami S, Yamauchi K, Morishima H, et al.	歯科顎口腔外科	Endoscope-assisted intraoral approach for removal of ectopic third molar to the lower border mandible using long-tip ultrasonic device	Clinics in Surgery2019	Original Article
232	Masamune A, Endo H, Koike T, et al.	消化器内科	Endoscopic Findings of Esophageal Adenosquamous Carcinoma Diagnosed by Endoscopic Mucosal Resection.	Case reports in gastroenterology2019 Jan;13(1):144-152	Case report
233	Suzuki J, Nomura K, Ikushima H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Endoscopic Modified Medial Maxillectomy for Fungal Ball of the Hypoplastic Maxillary Sinus With Bony Hypertrophy.	The Journal of craniofacial surgery2018 May;29(3):e304-e307	Original Article

234	Tominaga T, Sato K, Endo H, et al.	脳神経外科	Endovascular Treatments in Combination with Extracranial-Intracranial Bypass for Complex Intracranial Aneurysms.	World neurosurgery2018 May;113:e747-e760	Original Article
235	Kikuchi K, Tsuchiya S, Sawada S, et al.	皮膚科	Eruptive xanthomas in a patient with soft-drink diabetic ketosis and apolipoprotein E4/2.	Endocrine journal2018 Nov	Case report
236	Kure S, Yamaguchi-Kabata Y, Yasuda J, et al.	小児科	Estimating carrier frequencies of newborn screening disorders using a whole-genome reference panel of 3552 Japanese individuals.	Human genetics2019 Mar	Original Article
237	Saiki Y, Wakasa S, Matsui Y, et al.	心臓血管外科	Estimating postoperative left ventricular volume: Identification of responders to surgical ventricular reconstruction.	The Journal of thoracic and cardiovascular surgery2018 Aug;156(6):2088-2096	Original Article
238	Sasaki K, Miyashita M, Ogawa T, et al.	咬合回復科	Evaluation of implant screw loosening by resonance frequency analysis with triaxial piezoelectric pick-up: in vitro model and in vivo animal study.	Clinical oral investigations2018 Jun;22(5):2129-2134	Original Article
239	Mori S, Zheng J, Jia L, et al.	歯科顎口腔外科	Evaluation of metastatic niches in distant organs after surgical removal of tumor-bearing lymph nodesvaluation of metastatic niches in distant organs after surgical removal of tumor-bearing lymph nodes	BMC Cancer2018 May;18(1):608	Original Article
240	Sasaki K, Kosaka M, Sumita YI, et al.	咬合回復科	Evaluation of salivary cortisol levels in relation to dento-maxillary prosthesis adjustment.	Journal of prosthodontic research2019 Jan;63(1):73-77	Original Article
241	Sasaki K, Koyama S, Kato H, et al.	咬合回復科	Evaluation of water absorption properties and fabrication of hollow obturator model using 3D digital dentistry.	Dental materials journal2018 Jul;37(4):521-525	Original Article
242	Itoi E, Sekiguchi T, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Excessive game playing is associated with musculoskeletal pain among youth athletes: a cross-sectional study in Miyagi prefecture.	Journal of sports sciences2018 Aug;36(16):1801-1807	Original Article
243	Sasano H, Miki Y, Iwabuchi E, et al.	病理部	Exploring Protein-Protein Interaction in the Study of Hormone-Dependent Cancers.	International journal of molecular sciences2018 Oct;19(10)	Original Article
244	Sugiura H, Kamata S, Fujino N, et al.	呼吸器内科	Expression of cytochrome P450 mRNAs in Type II alveolar cells from subjects with chronic obstructive pulmonary disease.	Pharmacology research & perspectives2018 Jun;6(3):e00405	Original Article
245	Unno M, Ishida K, Yamashita R, et al.	総合外科	Expression of Epithelial-Mesenchymal Transition Proteins in Pancreatic Anaplastic (Undifferentiated) Carcinoma.	Pancreas2019 Jan;48(1):36-42	Original Article
246	Saito M, Kannya S, Xiao B, et al.	保存修復科	Extracellular calcium increases fibroblast growth factor 2 gene expression via extracellular signal-regulated kinase 1/2 and protein kinase A signaling in mouse dental papilla cells.	Journal of applied oral science : revista FOB2018 May;26:e20170231	Original Article
247	Aoki M, Kawaguchi N, Izumi R, et al.	脳神経内科	Extranodal NK/T-cell Lymphoma Mimicking Granulomatous Myositis: A Case Report.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Aug	Case report

248	Mori N, Pineda FD, Tsuchiya K, et al.	放射線診断科	Fast Temporal Resolution Dynamic Contrast-Enhanced MRI: Histogram Analysis Versus Visual Analysis for Differentiating Benign and Malignant Breast Lesions	AJR Am J Roentgenol2018 Oct;211(4):933-939	Original Article
249	Kikuchi A, Sasaki K, Ito Y, et al.	小児科	Fatal case of Hajdu-Cheney syndrome with idiopathic pulmonary hemosiderosis.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society2019 Feb;61(2):190-192	Case report
250	Motoi F, Mori A, Masuda K, et al.	総合外科	FBXW7 modulates malignant potential and cisplatin-induced apoptosis in cholangiocarcinoma through NOTCH1 and MCL1.	Cancer science2018 Dec;109(12):3883-3895	Original Article
251	Ito S, Kimura K, Hosoya T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Febuxostat Therapy for Patients With Stage 3 CKD and Asymptomatic Hyperuricemia: A Randomized Trial.	American journal of kidney diseases : the official journal of the National Kidney Foundation2018 Dec;72(6):798-810	Original Article
252	Handa K, Abe S, Suresh VV, et al.	保存修復科	Fibrillin-1 insufficiency alters periodontal wound healing failure in a mouse model of Marfan syndrome.	Archives of oral biology2018 Jun;90:53-60	Original Article
253	Onishi Y, Okada M, Imagawa J, et al.	血液・免疫科	Final 3-year Results of the Dasatinib Discontinuation Trial in Patients With Chronic Myeloid Leukemia Who Received Dasatinib as a Second-line Treatment.	Clinical lymphoma, myeloma & leukemia2018 May;18(5):353-3600	Original Article
254	Keiko Matsui, Tetsu Takahashi, Tadashi Kawani, et al.	歯科顎口腔外科	First Clinical Application of New Bone Substitute Material to the Alveolar Cleft	Journal of Clinical Trials2018 Aug;8(3)	Case report
255	Fujimura T, Okabe T, Okajima J, et al.	皮膚科	First-in-human clinical study of novel technique to diagnose malignant melanoma via thermal conductivity measurements.	Scientific reports2019 Mar;9(1):3853-3859	Original Article
256	Fujiwara T, Ishida H, Imamura T, et al.	血液・免疫科	Five-aminolevulinic acid: New Approach for Congenital Sideroblastic Anemia.	Pediatr Int.2018 May;60:496-497	Review
257	Ito S, Narumi K, Mishima E, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Focal Segmental Glomerulosclerosis Associated with Chronic Progressive External Ophthalmoplegia and Mitochondrial DNA A3243G Mutation.	Nephron.2018;138(3):243-248	Original Article
258	Hideki Ota, Satoshi Higuchi, Wenyu Sun, et al.	放射線診断科	Four-Dimensional Flow Magnetic Resonance Imaging for Cardiovascular Imaging: from Basic Concept to Clinical Application	Cardiovascular Imaging Asia2018 Apr;2(2):85-96	Review
259	Harada-Shoji N, Varghese V, Magnani L, et al.	総合外科	FOXO1 modulates 5-FU resistance in colorectal cancer through regulating TYMS expression.	Scientific reports2019 Feb;9(1):1505	Original Article
260	Saiki Y, Yokobori AT, Watanabe K, et al.	心臓血管外科	Frequency and chaotic analysis of pulsatile motion of blood vessel wall related to aneurysm.	Bio-medical materials and engineering2019 Feb;30(2):243-253	Original Article
261	Aoki M, Tohna G, Nakamura R, et al.	脳神経内科	Frequency and characteristics of the TBK1 gene variants in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	Neurobiology of aging2018 Apr;64(158):e15-158-e19	Original Article

262	Kure S, Yasuda J, Kinoshita K, et al.	小児科	Genome analyses for the Tohoku Medical Megabank Project toward establishment of personalized healthcare.	Journal of biochemistry2019 Feb;165(2):139-158	Original Article
263	Nakazawa T, Shiga Y, Akiyama M, et al.	眼科	Genome-wide association study identifies seven novel susceptibility loci for primary open-angle glaucoma.	Human molecular genetics2018 Apr;27(8):1486-1496	Original Article
264	Kure S, Takezawa Y, Kikuchi A, et al.	小児科	Genomic analysis identifies masqueraders of full-term cerebral palsy.	Annals of clinical and translational neurology2018 May;5(5):538-551	Original Article
265	Nakazawa T, An G, Omodaka K, et al.	眼科	Glaucoma Diagnosis with Machine Learning Based on Optical Coherence Tomography and Color Fundus Images.	Journal of healthcare engineering2019;2019:4061313	Original Article
266	Tominaga T, Haryu S, Endo H, et al.	脳神経外科	Growth of Thrombosed Cerebral Venous Varix Following Resection of Cerebral Arteriovenous Malformation: Case Report with Pathologic Consideration.	World neurosurgery2018 Nov;119:274-277	Original Article
267	Suzuki J, Takahashi Y, Koyama A, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Hearing recovery from deafness caused by bromate intoxication.	The Journal of laryngology and otology2018 Nov;132(11):1039-1041	Original Article
268	Tominaga T, Fujimura M.	脳神経外科	Hemorrhagic Moyamoya Disease : A Recent Update.	Journal of Korean Neurosurgical Society2018 Nov	Original Article
269	Sugawara A, Matsuzawa T, Yoshikawa T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Heparan sulfate in pancreatic β -cells contributes to normal glucose homeostasis by regulating insulin secretion.	Biochemical and biophysical research communications2018 May;499(3):688-695	Original Article
270	Kamei T, Konno-Kumagai T, Takeyama D, et al.	総合外科	Hiatal hernia involving prolapse of the entire stomach into the mediastinum after distal gastrectomy: a case report.	Surgical case reports2018 Aug;4(1):93	Case report
271	Ito S, Eguchi K, Miyashita H, et al.	腎・高血圧・内分泌科	High central blood pressure is associated with incident cardiovascular events in treated hypertensives: the ABC-J II Study.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension2018 Nov;41(11):947-956	Original Article
272	Akaishi T, Abe M, Okuda H, et al.	総合地域医療教育支援部	High glucose level and angiotensin II type 1 receptor stimulation synergistically amplify oxidative stress in renal mesangial cells.	SCIENTIFIC REPORTS2019 Mar 26;9(1):5214	Original Article
273	Takahashi J, Taguchi I, Jimuro S, et al.	循環器内科	High-Dose Versus Low-Dose Pitavastatin in Japanese Patients With Stable Coronary Artery Disease (REAL-CAD): A Randomized Superiority Trial.	Circulation2018 May 8;137(19):1997-2009	Original Article
274	Ito S, Wang A, Hirose T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Hydrochlorothiazide ameliorates polyuria caused by tolvaptan treatment of polycystic kidney disease in PCK rats.	Clinical and experimental nephrology2018 Nov	Original Article
275	Tenkumo T, Nakamura K, Shirato M, et al.	咬合回復科	Hydroxyl radicals generated by hydrogen peroxide photolysis recondition biofilm-contaminated titanium surfaces for subsequent osteoblastic cell proliferation.	Scientific reports2019 Mar;9(1):4688	Original Article

276	Mutoh T, Yamamoto S, Tatewaki Y, et al.	加齢・老年病科	Identification of non-convulsive status epilepticus with bradylalia using arterial spin-labeling magnetic resonance imaging.	Acute Med Surg2018 Sep 23;6(1):73-77	Original Article
277	Sasahara Y, Moriya K, Ohnishi H, et al.	小児科	IKBA S32 Mutations Underlie Ectodermal Dysplasia with Immunodeficiency and Severe Noninfectious Systemic Inflammation.	Journal of clinical immunology2018 Jul;38(5):543-545	Original Article
278	Sakamoto M, Iwamura R, Mori S, et al.	口腔診断科	Imaging of the mouse lymphatic sinus during early-stage lymph node metastasis using intranodal lymphangiography with X-ray micro-computed tomography	Molecular Imaging and Biology2019 Jan;[Epub ahead of print]	Original Article
279	Sasano H, Fujishima F, Katsushima H, et al.	病理部	Immunohistochemical pattern of c-MYC protein judged as '+/(weak)+/-' by a new notation correlates with MYC gene non-translocation in large B-cell lymphoma.	Human pathology2018 Nov	Original Article
280	Yamamoto T, Takeda K, Umezawa R, et al.	放射線治療科	Impact of change in serum albumin level during and after chemoradiotherapy in patients with locally advanced esophageal cancer	Esophagus2018 Jul;15(3):190-197	Original Article
281	Yamauchi M, Kanaya A, Sato T, et al.	麻酔科	Impact of clinical factors and UGT1A9 and CYP2B6 genotype on inter-individual differences in propofol pharmacokinetics.	Journal of Anesthesia2018 Apr;32(2):236-243	Original Article
282	Kure S, Yokomichi H, Matsubara H, et al.	小児科	Impact of the Great East Japan Earthquake on Body Mass Index, Weight, and Height of Infants and Toddlers: An Infant Survey.	Journal of epidemiology2018 May;28(6):237-244	Original Article
283	Sasano H, Guestini F, Ono K, et al.	病理部	Impact of Topoisomerase II α , PTEN, ABCC1/MRP1, and KI67 on triple-negative breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy.	Breast cancer research and treatment2018 Oct	Original Article
284	Yamauchi Masanori, Saito Kazutomo, Toyama Hiroaki, et al.	麻酔科	Implantation of ventricular assist device for systemic right ventricular failure in a patient with transposition of the great arteries and post-Mustard procedure: a case report	JA Clinical Reports2018 Jul 25;4	Original Article
285	Ishii T, Akaishi T, Abe M, et al.	総合地域医療教育支援部	Importance of Barium Swallow Test and Chest CT Scan for Correct Diagnosis of Achalasia in the Primary Care Setting.	Tohoku J Exp Med.2019 Jan;247(1):41-49	Original Article
286	Sasano H, Moon JY, McNamara KM, et al.	病理部	Improved detectability of sex steroids from frozen sections of breast cancer tissue using GC-triple quadrupole-MS.	The Journal of steroid biochemistry and molecular biology2018 Apr;178:185-192	Original Article
287	Tominaga T, Shibahara I, Saito R, et al.	脳神経外科	Incidence of initial spinal metastasis in glioblastoma patients and the importance of spinal screening using MRI.	Journal of neuro- oncology2018 Nov	Original Article
288	Sasano H, Fujishima F, Katsushima H, et al.	病理部	Incidence Rate, Subtype Frequency, and Occurrence Site of Malignant Lymphoma in the Gastrointestinal Tract: Population-Based Analysis in Miyagi, Japan.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 Jul;245(3):159-165	Original Article
289	Motoi F, Tsuchiya T, Naitoh T, et al.	総合外科	Increased Bile Acid Signals After Duodenal-jejunal Bypass Improve Non-alcoholic Steatohepatitis (NASH) in a Rodent Model of Diet-Induced NASH.	Obesity surgery2018 Jun;28(6):1643-1652	Original Article

290	Sugino S, Janicki PK, Eyileten C, et al.	手術部	Increased burden of rare deleterious variants of the KCNQ1 gene in patients with large?vessel ischemic stroke.	Molecular medicine reports2019 Feb 25;19(4):3263-3272	Original Article
291	Tada H, Watanabe G, Chiba N, et al.	総合外科	Increased centrosome number in BRCA-related breast cancer specimens determined by immunofluorescence analysis.	Cancer science2018 Jun;109(6):2027-2035	Original Article
292	Tominaga T, Kanamori M, Kumabe T, et al.	脳神経外科	Indications for salvage surgery during treatment for intracranial germ cell tumors.	Journal of neuro-oncology2018 Jul;138(3):601-607	Original Article
293	Watanabe K, Zabaleta J, Iida T, et al.	総合外科	Individual data meta-analysis for the study of survival after pulmonary metastasectomy in colorectal cancer patients: A history of resected liver metastases worsens the prognosis.	European journal of surgical oncology : the journal of the European Society of Surgical Oncology and the British Association of Surgical Oncology2018 Jul;44(7):1006-1012	Original Article
294	Onishi Y, Konuma T, Shimomura Y, et al.	血液・免疫科	Induction chemotherapy followed by allogeneic HCT versus upfront allogeneic HCT for advanced myelodysplastic syndrome: A propensity score matched analysis.	Hematological oncology2019 Feb;37(1):85-95	Original Article
295	Fujiwara T, Kato H, Itoh-Nakadai A, et al.	血液・免疫科	Infection perturbs Bach2- and Bach1-dependent erythroid lineage choice to cause anemia.	Nat Immunol.2018 Oct;19(10):1059-1070	Original Article
296	Harigae H, Kato H, Itoh-Nakadai A, et al.	血液・免疫科	Infection perturbs Bach2- and Bach1-dependent erythroid lineage 'choice' to cause anemia.	Nature immunology2018 Oct;19(10):1059-1070	Original Article
297	Egusa H, Ankyu S, Nakamura K, et al.	咬合修復科	Influence of microscale expansion and contraction caused by thermal and mechanical fatigue on retentive strength of CAD/CAM-generated resin-based composite crowns	J Mech Behav Biomed Mater2018 Jun;86:89-97	Original Article
298	Itoi E, Sekiguchi T, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Influence of subjective economic hardship on new onset of neck pain (so-called: katakori) in the chronic phase of the Great East Japan Earthquake: A prospective cohort study.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association2018 Sep;23(5):758-764	Original Article
299	Sugawara A, Parvin R, Noro E, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Inhibitory Effects of a Novel PPAR- γ Agonist MEKT1 on $Pomc$ Expression/ACTH Secretion in AtT20 Cells.	PPAR research2018 Apr;2018:5346272	Original Article
300	Sasaki K, Luo F, Hong G, et al.	咬合回復科	Initial osteoblast adhesion and subsequent differentiation on zirconia surfaces are regulated by integrins and heparin-sensitive molecule.	International journal of nanomedicine2018 Nov;13:7657-7667	Original Article
301	Yajima T, Endo C, Sato T, et al.	保存修復科	Innervation of the Human Incisive Papilla: Comparison with Other Oral Regions.	Cells, tissues, organs2018 May;205(2):93-104	Original Article
302	Kikuchi K, Nozawa K, Yamazaki N, et al.	皮膚科	Instrumental evaluation sensitively detects subclinical skin changes by the epidermal growth factor receptor inhibitors and risk factors for severe acneiform eruption.	The Journal of dermatology2018 Nov	Original Article

303	Takano-Yamamoto T, Oyanagi T, Takeshita N, et al.	矯正歯科	Insulin-like growth factor 1 modulates bioengineered tooth morphogenesis.	Sci Rep. 2019 Jan;9(1):368	Original Article
304	Nakagawa A, Nitta N, Sugimura T, et al.	脳神経外科	Intelligent Image-Activated Cell Sorting	Cell2018 Sep;175(1):266-276	Original Article
305	Masamune A, Whitcomb DC, Shimosegawa T, et al.	消化器内科	International consensus statements on early chronic Pancreatitis. Recommendations from the working group for the international consensus guidelines for chronic pancreatitis in collaboration with The International Association of Pancreatology, American Pan	Pancreatology : official journal of the International Association of Pancreatology (IAP) ... [et al.]2018 May	Original Article
306	Tominaga T, Rashad S, Niizuma K, et al.	脳神経外科	Intracellular SIP Levels Dictate Fate of Different Regions of the Hippocampus following Transient Global Cerebral Ischemia.	Neuroscience2018 Aug;384:188-202	Original Article
307	Saiki Y, Hosoyama K, Wakao S, et al.	心臓血管外科	Intravenously injected human multilineage-differentiating stress-enduring cells selectively engraft into mouse aortic aneurysms and attenuate dilatation by differentiating into multiple cell types.	The Journal of thoracic and cardiovascular surgery2018 Jun;155(6):2301-2313	Original Article
308	Tominaga T, Fujimura M, Funaki T, et al.	脳神経外科	Intrinsic development of choroidal and thalamic collaterals in hemorrhagic-onset moyamoya disease: case-control study of the Japan Adult Moyamoya Trial.	Journal of neurosurgery2018 May1-7	Original Article
309	Furuuchi T, Tenkumo T, Fujii T, et al.	口腔診断科	Introduction of integrated dental training jaw models and rubric criteria.	Eur J Dent Educ. 2018; doi:10.11112019 Feb;23(1):e17-e31	Original Article
310	Suzuki T, Uchida Y, Sumiya T, et al.	病理部	Involvement of Claudin-11 in Disruption of Blood-Brain, -Spinal Cord, and -Arachnoid Barriers in Multiple Sclerosis.	Molecular neurobiology2018 Jul	Original Article
311	Shiraishi N, Tsujimura T, Suzuki T, et al.	咬合回復科	Involvement of hypoglossal and recurrent laryngeal nerves on swallowing pressure.	Journal of applied physiology2018 May;124(5):1148-1154	Original Article
312	Saiki Y, Masaki N, Endo M, et al.	心臓血管外科	Is Trisomy 21 a Risk Factor for Rapid Progression of Pulmonary Arteriopathy? - Revisiting Histopathological Characteristics Using 282 Lung Biopsy Specimens.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society2018 May;82(6):1682-1687	Original Article
313	Mutoh T, Takano Y, Tatewaki Y, et al.	加齢・老年病科	Isolated Fornix Infarction with Damage to the Limbic System as a Cause of Persistent Amnesia: A Case Report.	Am J Case Rep2018 Nov 21;19:1382-1385	Case report
314	Yaegashi N, Saito T, Tabata T, et al.	産科	Japan Society of Gynecologic Oncology guidelines 2015 for the treatment of vulvar cancer and vaginal cancer.	International journal of clinical oncology2018 Apr;23(2):201-234	Original Article
315	Arai H, Iwatsubo T, Iwata A, et al.	加齢・老年病科	Japanese and North American Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative studies: Harmonization for international trials.	Alzheimer's & dementia : the journal of the Alzheimer's Association2018 Aug;14(8):1077-1087	Original Article
316	Taki Y, Matsuda H, Murata M, et al.	加齢・老年病科	Japanese multicenter database of healthy controls for [123I]FP-CIT SPECT.	Eur J Nucl Med Mol Imagin2018 Jul;45(8):1405-1416	Original Article

317	Ito S, Ito M, Ishimitsu T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	JSH Statement: Kyoto declaration on hypertension research in Asia.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension2019 Jan	Review
318	Fujimura T, Ishida Y, Nakashima C, et al.	皮膚科	Killer immunoglobulin-like receptor genotype did not correlate with response to anti-PD-1 antibody treatment in a Japanese cohort.	Scientific reports2018 Oct;8(1):15962	Original Article
319	Motoi F, Morikawa T, Ishida M, et al.	総合外科	Laparoscopic partial liver resection improves the short-term outcomes compared to open surgery for liver tumors in the posterosuperior segments.	Surgery today2018 Sep	Original Article
320	Itoi E, Yabe Y, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Late bedtimes, short sleeping time, and longtime video-game playing are associated with low back pain in school-aged athletes.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society2018 May;27(5):1112-1118	Original Article
321	Tominaga T, Inoue T, Ishida T, et al.	脳神経外科	Lectin-Like Oxidized Low-Density Lipoprotein Receptor-1 Levels as a Biomarker of Acute Intracerebral Hemorrhage.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association2018 Nov	Original Article
322	Takase K, Takagi H, Ota H, et al.	放射線診断科	Left Ventricular T1 Mapping during Chemotherapy-Radiation Therapy: Serial Assessment of Participants with Esophageal Cancer	Radiology2018 Nov;289(2):347-354	Original Article
323	Kaku M, Yoshida M, Furuya N, et al.	総合感染症科	Legionella pneumophila contamination of hospital dishwashers.	American journal of infection control2018 Aug;46(8):943-945	Original Article
324	Masamune A, Murata T, Asanuma K, et al.	消化器内科	Leptin Aggravates Reflux Esophagitis by Increasing Tissue Levels of Macrophage Migration Inhibitory Factor in Rats.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 May;245(1):45-53	Original Article
325	Kure S, Suzuki-Muromoto S, Miyabayashi T, et al.	小児科	Leucine-485 deletion variant of BRAF may exhibit the severe end of the clinical spectrum of CFC syndrome.	Journal of human genetics2019 Mar	Original Article
326	Nakazawa T, Ichinohasama R, Nishiguchi KM, et al.	眼科	Levels of Anti-Retinal Antibodies in Retinal Detachment and Proliferative Vitreoretinopathy.	Current eye research2018 Jun;43(6):804-809	Original Article
327	Kudo D, Godo S, Yoshida Y, et al.	救急科	Life-threatening Hyperkalemia Associated with Axitinib Treatment in Patients with Recurrent Renal Carcinoma.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Oct;57(19):2895-2900	Original Article
328	Numasaki M, Tsukamoto H, Takeuchi S, et al.	加齢・老年病科	Lipopolysaccharide (LPS)-binding protein stimulates CD14-dependent Toll-like receptor 4 internalization and LPS-induced TBK1-IKKε-IRF3 axis activation.	J. Biol. Chem.2018 Jun;293(26):10186-10201	Original Article
329	Sasaki K, Song Y, Ma A, et al.	咬合回復科	Loading icaritin on titanium surfaces by phase-transited lysozyme priming and layer-by-layer self-assembly of hyaluronic acid/chitosan to improve surface osteogenesis ability.	International journal of nanomedicine2018 Oct;13:6751-6767	Original Article

330	Shiga H, Miyazawa T, Kinouchi Y, et al.	消化器内科	Long-term course of inflammatory bowel disease after the Great East Japan Earthquake.	Journal of gastroenterology and hepatology2018 Jun	Original Article
331	Masamune A, Moroi R, Endo K, et al.	消化器内科	Long-term prognosis of Japanese patients with biologic-naïve Crohn's disease treated with anti-tumor necrosis factor- α antibodies.	Intestinal research2019 Jan;17(1):94-106	Original Article
332	Itoi E, Tanaka H, Chiba D, et al.	整形外科	Long-term results of a modified Spitzzy shelf operation for developmental dysplasia of the hip in adults and adolescents.	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie2018 Oct;28(7):1341-1347	Original Article
333	Ishii T, Ogata A, Tanaka Y, et al.	血液・免疫科	Long-Term Safety and Efficacy of Weekly Subcutaneous Tocilizumab Monotherapy in Patients With Rheumatoid Arthritis Who Had an Inadequate Response to Subcutaneous Tocilizumab Every Other Week: Results From the Open-Label Extension of the SHINOBI Study.	Modern rheumatology2018 Oct1-8	Original Article
334	Motoi F, Hirose T, Ishida M, et al.	総合外科	Loss of BAP1 expression is associated with genetic mutation and can predict outcomes in gallbladder cancer.	PloS one2018 Nov;13(11):e0206643	Original Article
335	Tachi M, Kurosawa K, Inoue Y, et al.	形成外科	Loss of protein phosphatase 6 in mouse keratinocytes enhances K-ras ^{G12D} -driven tumor promotion.	Cancer science2018 Jul;109(7):2178-2187	Original Article
336	Ito S, Mishima E, Umezawa S, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Low frequency of cervicocranial artery involvement in Japanese with renal artery fibromuscular dysplasia compared with that of Caucasians.	Clinical and experimental nephrology2018 Dec;22(6):1294-1299	Original Article
337	Takahashi J, gaya Y, Ito K, et al.	循環器内科	Low-energy cardiac shockwave therapy to suppress left ventricular remodeling in patients with acute myocardial infarction: a first-in-human study.	Coronary artery disease2018 Jun;29(4):294-300	Original Article
338	Ito S, Yoshida M, Nakamichi T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Low-energy extracorporeal shock wave ameliorates ischemic acute kidney injury in rats.	Clinical and experimental nephrology2019 Jan	Original Article
339	Tominaga T, Kajitani T, Endo T, et al.	脳神経外科	Lumbar tap-induced subarachnoid hemorrhage in a case of spinal epidural arteriovenous fistula.	Journal of neurosurgery. Spine2018 Nov;29(5):535-540	Original Article
340	Mori S, Sukhbaatar A, Salki Y, et al.	歯科顎口腔外科	Lymph node resection induces the activation of tumor cells in the lungs	Cancer Science2019 Jan	Original Article
341	Unno M, Ishii K, Ishida M, et al.	総合外科	Lymph nodes around the posterior gastric artery: their existence, frequency, and clinical implications.	Surgery today2018 Oct;48(10):916-920	Original Article
342	Nakazawa T, Nishiguchi KM, Aoki M, et al.	眼科	Macular degeneration as a common cause of visual loss in spinocerebellar ataxia type 1 (SCA1) patients.	Ophthalmic genetics2019 Feb;40(1):49-53	Original Article

343	Nakazawa T, Verbakel SK, van Huet RAC, et al.	眼科	Macular Dystrophy and Cone-Rod Dystrophy Caused by Mutations in the RPI Gene: Extending the RPI Disease Spectrum.	Investigative ophthalmology & visual science2019 Mar;60(4):1192-1203	Original Article
344	Masamune A, Inui K, Igarashi Y, et al.	消化器内科	Management of Pancreolithiasis: A Nationwide Survey in Japan.	Pancreas2018 Jul;47(6):708-714	Original Article
345	Tominaga T, Uchida H, Ogawa Y.	脳神経外科	Marked effectiveness of low-dose oral methotrexate for steroid-resistant idiopathic hypertrophic pachymeningitis: Case report.	Clinical neurology and neurosurgery2018 May;168:30-33	Original Article
346	Kure S, Kawashima S, Nakamura A, et al.	小児科	Maternal Uniparental Disomy for Chromosome 20: Physical and Endocrinological Characteristics of Five Patients.	The Journal of clinical endocrinology and metabolism2018 Jun;103(6):2083-2088	Original Article
347	Kure S, Sugawara J, Ochi D, et al.	小児科	Maternity Log study: a longitudinal lifelog monitoring and multiomics analysis for the early prediction of complicated pregnancy.	BMJ open2019 Feb;9(2):e025939	Original Article
348	Yaegashi N, Minato T, Toyoshima M, et al.	産科	Mature ovarian cystic teratoma with disseminated nodular lesions in the pleural and peritoneal cavities: A case report.	Radiology case reports2018 Jun;13(3):671-675	Original Article
349	Sasano H, McNamara K.	病理部	MCE - Special issue on updates on steroid signalling in breast cancer.	Molecular and cellular endocrinology2018 May;466:1	Review
350	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	総合外科	MEK inhibitor trametinib in combination with gemcitabine regresses a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) pancreatic cancer nude mouse model.	Tissue & cell2018 Jun;52:124-128	Original Article
351	Kure S, Munakata M, Kodama H, et al.	小児科	Menkes disease: Oral administration of glyoxal-bis(N(4)-methylthiosemicarbazonato)-copper(II) rescues the macular mouse.	Pediatric research2018 Jul	Original Article
352	Tominaga T, Abe T, Niizuma K, et al.	脳神経外科	Metabolomic Analysis of Mouse Brain after a Transient Middle Cerebral Artery Occlusion by Mass Spectrometry Imaging.	Neurologia medico-chirurgica2018 Sep;58(9):384-392	Original Article
353	Tokunaga H, Seino M, Ohta T, et al.	婦人科	Metabolomic analysis of uterine serous carcinoma with acquired resistance to paclitaxel.	Oncotarget2018 Aug;9(62):31985-31998	Original Article
354	Nakazawa T, Sato K, Saigusa D, et al.	眼科	Metabolomic changes in the mouse retina after optic nerve injury.	Scientific reports2018 Aug;8(1):11930	Original Article
355	Masamune A, Asama H, Suzuki R, et al.	消化器内科	MicroRNA let-7d targets thrombospondin-1 and inhibits the activation of human pancreatic stellate cells.	Pancreatology : official journal of the International Association of Pancreatology (IAP) ... [et al.]2018 Oct;19(1):196-203	Original Article
356	Tominaga T, Ogawa Y, Jokura H, et al.	脳神経外科	Mid-term prognosis of non-functioning pituitary adenomas with high proliferative potential: really an aggressive variant?	Journal of neuro-oncology2018 May;137(3):543-549	Original Article

357	Morikawa T, Nakata K, Shikata S, et al.	総合外科	Minimally invasive preservation versus splenectomy during distal pancreatectomy: a systematic review and meta-analysis.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences2018 Nov;25(11):476-488	Original Article
358	Fujimura T, Tanita K, Sato Y, et al.	皮膚科	Minocycline decreases Th2 chemokines from M2 macrophages: possible mechanisms for the suppression of bullous pemphigoid by traditional bullous disease drugs.	Exp Dermatol2018 Nov;27(11):1268-1272	Original Article
359	Aoki M, Fujimori K, Ishikawa M, et al.	脳神経内科	Modeling sporadic ALS in iPSC-derived motor neurons identifies a potential therapeutic agent.	Nature medicine2018 Oct;24(10):1579-1589	Original Article
360	Fujiwara T, Harigae H.	血液・免疫科	Molecular pathophysiology and genetic mutations in congenital sideroblastic anemia.	Free Radic Biol Med.2019 Mar;133:179-185	Review
361	Saiki Y, Takaya H, Masuda S, et al.	心臓血管外科	Morphometrical and biomechanical analyses of a stentless bioprosthetic valve: an implication to avoid potential primary tissue failure.	General thoracic and cardiovascular surgery2018 Sep;66(9):523-528	Original Article
362	Kushimoto S, Kawazoe Y, Sato T, et al.	救急科	Mortality Effects of Prolonged Hemoperfusion Therapy Using a Polymyxin B-Immobilized Fiber Column for Patients with Septic Shock: A Sub-Analysis of the DESIRE Trial.	Blood purification2018 Aug;46(4):309-314	Original Article
363	Saiki Y, Hosoyama K.	心臓血管外科	Muse Cells and Aortic Aneurysm.	Advances in experimental medicine and biology2018;1103:273-291	Original Article
364	Kure S, Ashraf S, Kudo H, et al.	小児科	Mutations in six nephrosis genes delineate a pathogenic pathway amenable to treatment.	Nature communications2018 May;9(1):1960	Original Article
365	Suzuki J, Harazaki Y, Morita S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Myeloid Sarcoma of the Paranasal Sinuses in a Patient with Acute Myeloid Leukemia.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 Oct;246(2):141-146	Original Article
366	Kamei T, Sato N, Fujishima F, et al.	総合外科	Myosin 5a regulates tumor migration and epithelial-mesenchymal transition in esophageal squamous cell carcinoma: utility as a prognostic factor.	Human pathology2018 Jun	Original Article
367	Sasaki K, Yamamoto M, Ogawa T, et al.	咬合回復科	Na18F accumulates on the compressive side of peri-implant bone under immediate loading.	Odontology2018 Jul;106(3):232-237	Original Article
368	Saiki Y, Miyazaki T, Sato S, et al.	心臓血管外科	National survey of de novo malignancy after solid organ transplantation in Japan.	Surgery today2018 Jun;48(6):618-624	Original Article
369	Takahashi J, Kojima S, Nishihira K, et al.	循環器内科	Nationwide real-world database of 20,462 patients enrolled in the Japanese Acute Myocardial Infarction Registry (JAMIR): Impact of emergency coronary intervention in a super-aging population.	International journal of cardiology. Heart & vasculature2018 Jun 14;20:1-6	Original Article
370	Narita Wataru, Watanabe Hiroyuki, Nishio Yoshiyuki, et al.	高次脳機能障害科	Negative mood invites psychotic false perception in dementia	PLOS ONE2018 Jun 1;13(6):e0197968	Original Article

371	Sasano H, Sato N, Masuda N, et al.	病理部	Neoadjuvant endocrine therapy with exemestane followed by response-guided combination therapy with low-dose cyclophosphamide in postmenopausal patients with estrogen receptor-positive breast cancer: A multicenter, open-label, phase II study.	Cancer medicine2018 Jun	Original Article
372	Akaishi T.	総合地域医療教育支援部	Nerve conduction models in myelinated and unmyelinated nerves based on three-dimensional electrostatic interaction.	Neural Regeneration Research2018 May;13(5):779-785	Review
373	Sasano H, Ishiki A, Harada R, et al.	病理部	Neuroimaging-pathological correlations of [¹⁸ F]THK5351 PET in progressive supranuclear palsy.	Acta neuropathologica communications2018 Jun;6(1):53	Original Article
374	Arai H, Ishiki A, Harada R, et al.	加齢・老年病科	Neuroimaging-pathological correlations of [¹⁸ F]THK5351 PET in progressive supranuclear palsy.	Acta Neuropathol Commun. 2018 Jun;6(1):53	Original Article
375	Itoi E, Tsuchiya M, Sekiai S, et al.	整形外科	Neutrophils Provide a Favorable IL-1-Mediated Immunometabolic Niche that Primes GLUT4 Translocation and Performance in Skeletal Muscles.	Cell reports2018 May;23(8):2354-2364	Original Article
376	Kanno A, Shimizu Y, Hijioka S, et al.	消化器内科	New Model for Predicting Malignancy in Patients With Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm.	Annals of surgery2018 Nov	Original Article
377	Aoki Y, Takahara S, Inoue SI, et al.	遺伝科	New Noonan syndrome model mice with RIT1 mutation exhibit cardiac hypertrophy and susceptibility to β -adrenergic stimulation-induced cardiac fibrosis.	EBioMedicine2019 Mar	Original Article
378	Ishida Takanori, Yanai Ai, Itoh Masatoshi, et al.	総合外科	Newly-Developed Positron Emission Mammography (PEM) Device for the Detection of Small Breast Cancer	TOHOKU JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE2018 May;245(1):13-19	Original Article
379	Ito S, Imaruoka K, Oe Y, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Nicotinamide alleviates kidney injury and pregnancy outcomes in lupus-prone MRL/lpr mice treated with lipopolysaccharide.	Biochemical and biophysical research communications2019 Feb	Original Article
380	Nishioka T, Tada H, Ibaragi S, et al.	口腔診断科	Nicotine exposure induces the proliferation of oral cancer cells through the $\alpha 7$ subunit of the nicotinic acetylcholine receptor.	Biochemical and Biophysical Research Communications2019 Feb 5;509(2):514-520	Original Article
381	Nishioka T, Shimizu R, Ibaragi S, et al.	口腔診断科	Nicotine promotes lymph node metastasis and cetuximab resistance in head and neck squamous cell carcinoma.	International journal of oncology2019 Jan;54(1):283-294	Original Article
382	Fujimura T, Okabe T, Okajima J, et al.	皮膚科	Non-invasive Measurement of Effective Thermal Conductivity of Human Skin with a Guard-heated Thermistor Probe.	Int J Heat Mass Trans2018 Nov;126:625-635	Original Article
383	Tatewaki Y, Yamamoto S, Mutoh T, et al.	加齢・老年病科	Noninvasive three-dimensional power Doppler imaging for the assessment of acute cerebral blood flow alteration in a mouse model of subarachnoid haemorrhage.	Clinical and experimental pharmacology & physiology2018 Sep	Original Article
384	Kure S, Takezawa Y, Fujie H, et al.	小児科	Novel IARS2 mutations in Japanese siblings with CAGSSS, Leigh, and West syndrome.	Brain & development2018 Jul	Original Article

385	Unno M, Sugisawa N, Ohnuma S, et al.	総合外科	Novel Potent ABCB1 Modulator, Phenethylisoquinoline Alkaloid, Reverses Multidrug Resistance in Cancer Cell.	Molecular pharmaceutics2018 Sep;15(9):4021-4030	Original Article
386	Sasaki K, Mehta D, Jyothi S, et al.	咬合回復科	Novel treatment of in-office tooth bleaching sensitivity: A randomized, placebo-controlled clinical study.	Journal of esthetic and restorative dentistry : official publication of the American Academy of Esthetic Dentistry ... [et al.].2018 May;30(3):254-258	Original Article
387	Asano N, Minaga K, Watanabe T, et al.	消化器内科	Nucleotide-binding oligomerization domain 1 and <i>Helicobacter pylori</i> infection: A review.	World journal of gastroenterology2018 Apr;24(16):1725-1733	Review
388	Masamune A, Kakuta Y, Kawai Y, et al.	消化器内科	NUDT15 codon 139 is the best pharmacogenetic marker for predicting thiopurine-induced severe adverse events in Japanese patients with inflammatory bowel disease: a multicenter study.	Journal of gastroenterology2018 Jun;53(9):1065-1078	Original Article
389	Yamamoto T, Kozumi M, Ota H, et al.	放射線治療科	Oesophageal squamous cell carcinoma: histogram-derived ADC parameters are not predictive of tumour response to chemoradiotherapy	European Radiology2018 Oct;28(10):4296-4305	Original Article
390	Sasano H, Mayama A, Takagi K, et al.	病理部	OLFM4, LY6D and S100A7 as potent markers for distant metastasis in estrogen receptor-positive breast carcinoma.	Cancer science2018 Oct;109(10):3350-3359	Original Article
391	Akaishi T, Takahashi T, Nakashima I.	総合地域医療教育支援部	Oligoclonal bands and periventricular lesions in multiple sclerosis will not increase blood-brain barrier permeability.	Journal of Neurological Science2018 Apr 15;387:129-133	Original Article
392	Jingu K, Niibe Y, Onishi H.	放射線治療科	Oligo-recurrence and Sync-oligometastases.	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer2018 Apr;13(4):e59-e60	letter
393	Kure S, Koshiba S, Motoike I, et al.	小児科	Omics research project on prospective cohort studies from the Tohoku Medical Megabank Project.	Genes to cells : devoted to molecular & cellular mechanisms2018 Jun;23(6):406-417	Original Article
394	Nakazawa T, Yui N, Kunikata H, et al.	眼科	Optical coherence tomography angiography assessment of the macular capillary plexus after surgery for macula-off rhegmatogenous retinal detachment.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv für klinische und experimentelle Ophthalmologie2019 Jan;257(1):245-248	Letter
395	Kudo D, Hayakawa M, Yamakawa K, et al.	救急科	Optimal Antithrombin Activity Threshold for Initiating Antithrombin Supplementation in Patients With Sepsis-Induced Disseminated Intravascular Coagulation: A Multicenter Retrospective Observational Study.	Clinical and applied thrombosis/hemostasis : official journal of the International Academy of Clinical and Applied Thrombosis/Hemostasis 2018 Sep;24(6):874-883	Original Article
396	Mori S, Fujii H, Horie S, et al.	歯科顎口腔外科	Optimal range of injection rates for a lymphatic drug delivery system	J Biophotonics2018 Aug;11(8):e201200401	Original Article

397	Aoki M, Imai T, Utsugisawa K, et al.	脳神経内科	Oral corticosteroid dosing regimen and long-term prognosis in generalised myasthenia gravis: a multicentre cross-sectional study in Japan.	Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry2018 May;89(5):513-517	Original Article
398	Unno M, Kawaguchi K, Miyake K, et al.	総合外科	Oral recombinant methioninase (o-rMETase) is superior to injectable rMETase and overcomes acquired gemcitabine resistance in pancreatic cancer.	Cancer letters2018 Sep;432:251-259	Original Article
399	Itoi E, Yoshida S, Watanuki M, et al.	整形外科	Osteofibrous dysplasia arising in the humerus: A case report.	Rare tumors2018 Nov;10:2036361318808850	Case report
400	Unno M, Sano K, Yamamoto M, et al.	総合外科	Outcomes of 1,639 hepatectomies for non-colorectal non-neuroendocrine liver metastases: a multicenter analysis.	Journal of hepatobiliary-pancreatic sciences2018 Nov;25(11):465-475	Original Article
401	Kushimoto S, Egi M, Kataoka J, et al.	救急科	Oxygen management in mechanically ventilated patients: A multicenter prospective observational study.	Journal of critical care2018 Aug;46:1-5	Original Article
402	Masamune A, Yoshida N, Kanno A, et al.	消化器内科	Pancreatic Acinar Cell Carcinoma with Multiple Liver Metastases Effectively Treated by S-1 Chemotherapy.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Aug;57(24):3529-3535	Case report
403	Masamune A, Tanaka HY, Kitahara K, et al.	消化器内科	Pancreatic stellate cells derived from human pancreatic cancer demonstrate aberrant SPARC-dependent ECM remodeling in 3D engineered fibrotic tissue of clinically relevant thickness.	Biomaterials2018 Nov;192:355-367	Original Article
404	Tominaga T, Tashiro R, Fujimura M, et al.	脳神経外科	Paradoxical Association of Symptomatic Local Vasogenic Edema with Global Cerebral Hypoperfusion after Direct Revascularization Surgery for Adult Moyamoya Disease.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association2018 Aug;27(8):e172-e176	Original Article
405	Aoki M, Ikenouchi H, Sugeno N, et al.	脳神経内科	Paradoxical Cerebral Embolism after Gastrointestinal Endoscopy in a Patient with Crohn's Disease.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association2018 Jul;27(7):e117-e118	Case report
406	Tominaga T, Kameyama M, Kawaguchi T, et al.	脳神経外科	Parapharyngeal neuroglial heterotopia appearing as high uptake on ¹⁸ F-FDG PET: case report and literature review of radiographical findings.	Acta neurochirurgica2018 Apr;160(4):801-809	Original Article
407	Ito S, Shimada S, Hirose T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Pathophysiological and molecular mechanisms involved in renal congestion in a novel rat model.	Scientific reports2018 Nov;8(1):16808	Original Article
408	Yuko Omori, Yusuke Ono, Mishie Tanino, et al.	病理部	Pathways of Progression from Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm to Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Based on Molecular Features.	Gastroenterology, in press2018 Oct	Original Article
409	Unno M, Kawaguchi K, Igarashi K, et al.	総合外科	Patterns of sensitivity to a panel of drugs are highly individualised for undifferentiated/unclassified soft tissue sarcoma (USTS) in patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude-mouse models.	Journal of drug targeting2018 Aug1-6	Original Article

410	Unno M, Nakanishi C, Miyagi S, et al.	総合外科	Pediatric Living-Donor Liver Transplant Recipients without Transition After Reaching Adulthood.	Annals of transplantation2019 Jan;24:18-24	Original Article
411	Takase K, Mori N, Mugikura S, et al.	放射線診断科	Perfusion contrast-enhanced ultrasound to predict early lymph-node metastasis in breast cancer	Jpn J Radiol2019 Feb;37(2):145-153	Original Article
412	Hajime Shimoda, Tetsu Takahashi.	歯科顎口腔外科	Perioperative management in a patient with type 1 diabetes mellitus who presented severe hypoglycemia during dental implant surgery: a case report	BMC Oral Health2018 Dec 7;18(1):204	Case report
413	Saiki Y, Maeda K, Takanashi S.	心臓血管外科	Perioperative use of the intra-aortic balloon pump: where do we stand in 2018?	Current opinion in cardiology2018 Nov;33(6):613-621	Original Article
414	Akaishi T, Takahashi T, Nakashima I.	総合地域医療教育支援部	Peripheral blood monocyte count at onset may affect the prognosis in multiple sclerosis.	Journal of Neuroimmunology2018 Jun 15;319:37-40	Original Article
415	Mori S, Kurihara J, Oikawa M, et al.	歯科顎口腔外科	Peripheral clear cell variant of calcifying epithelial odontogenic tumor devoid of calcification	J Oral Sci2018 Apr	Original Article
416	Shiga H, Ishioka M, Watanabe N, et al.	消化器内科	Phlegmonous Gastritis: A Report of Three Cases with Clinical and Imaging Features.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Aug;57(15):2185-2188	Case report
417	Sugiura H, Tanaka R, Yamada M, et al.	呼吸器内科	Physical inactivity is associated with decreased growth differentiation factor 11 in chronic obstructive pulmonary disease.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease2018 Apr;13:1333-1342	Original Article
418	Nakazawa T, Omodaka K, Maekawa S, et al.	眼科	Pilot study for three-dimensional assessment of lamellar pore structure in patients with glaucoma, as measured with swept source optical coherence tomography.	PloS one2018 Nov;13(11):e0207600	Original Article
419	Kohzuki M, Hu G, Ito O, et al.	内部障害リハビリテーション科	Pitavastatin Upregulates Nitric Oxide Synthases in the Kidney of Spontaneously Hypertensive Rats and Wistar-Kyoto rats.	American journal of hypertension2018 Jun;31(10):1139-1146	Original Article
420	Itoi E, Sekiguchi T, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Playing video games for more than 3 hours a day is associated with shoulder and elbow pain in elite young male baseball players.	Journal of shoulder and elbow surgery2018 Sep;27(9):1629-1635	Original Article
421	Yamaya M, Matsusaka K, Kawakami G, et al.	呼吸器内科	Pneumonia risks in bedridden patients receiving oral care and their screening tool: Malnutrition and urinary tract infection-induced inflammation.	Geriatr Gerontol Int2018 May;18:714-722	Original Article
422	Akira Ohkoshi, Ryo Ishii, Kengo Kato, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Poor oral intake causes enteral nutrition dependency after concomitant chemoradiotherapy for pharyngeal cancers	European Archives of Oto-Rhino-Laryngology2018 Apr;275:1607-1611	Original Article
423	Nishioka T, Tada H, Takase A, et al.	口腔診断科	Porphyromonas gingivalis induces the production of interleukin-31 by human mast cells, resulting in dysfunction of the gingival epithelial barrier.	Cellular microbiology2019 Mar;21(3):e12972	Original Article

424	Mutoh T, Watanabe T, Shimomura H, et al.	加齢・老年病科	Positron emission tomography/computed tomography as a clinical diagnostic tool for anterior mediastinal tumors.	Surg Today2019 Feb;49(2):143-149	Case report
425	Ichinose M, Koarai A.	呼吸器内科	Possible involvement of acetylcholine-mediated inflammation in airway diseases.	Allergol Int. 2018 Oct;67(4):460-466	Review
426	Sasano H, McNamara KM, Kannai A.	病理部	Possible roles for glucocorticoid signalling in breast cancer.	Molecular and cellular endocrinology2018 May;466:38-50	Review
427	Tominaga T, Kimiwada T, Hayashi T, et al.	脳神経外科	Posterior cerebral artery stenosis and posterior circulation revascularization surgery in pediatric patients with moyamoya disease.	Journal of neurosurgery. Pediatrics2018 Jun;21(6):632-638	Original Article
428	Itoi E, Koakutsu T, Sato T, et al.	整形外科	Postoperative Changes in Presepsin Level and Values Predictive of Surgical Site Infection After Spinal Surgery: A Single-Center, Prospective Observational Study.	Spine2018 Apr;43(8):578-584	Original Article
429	Sasaki K, Nakamura K, Tenkumo T, et al.	咬合回復科	Potential adverse effects of antimicrobial chemotherapy based on ultraviolet-A irradiation of polyphenols against the oral mucosa in hamsters and wounded skin in rats.	Journal of photochemistry and photobiology. B, Biology2018 Oct;187:96-105	Original Article
430	Kure S, Obara T, Ishikuro M, et al.	小児科	Potential identification of vitamin B6 responsiveness in autism spectrum disorder utilizing phenotype variables and machine learning methods.	Scientific reports2018 Oct;8(1):14840	Original Article
431	Watanabe K, Uchino M, Ikeuchi H, et al.	総合外科	Pouch functional outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study.	Journal of gastroenterology2018 May;53(5):642-651	Original Article
432	Yoda N, Koyama S, Fuji T, et al.	咬合回復科	Practice-based Longitudinal Study of Multifactorial Risk Assessment for Periodontal Condition and Survival of Remaining Teeth in Patients with Removable Partial Dentures.	International Journal of Prosthodontics2018 Sep;31(5):502-508	Original Article
433	Tatewaki Y, Mutoh T, Sasaki K, et al.	加齢・老年病科	Preceding functional tooth loss delays recovery from acute cerebral hypoxia and locomotor hypoactivity after murine subarachnoid haemorrhage.	Clinical and experimental pharmacology & physiology2018 Apr;45(4):344-348	Original Article
434	Watanabe Z, Nishigori H, Tanoue K, et al.	婦人科	Preconception dysmenorrhea as a risk factor for psychological distress in pregnancy: The Japan Environment and Children's Study.	Journal of affective disorders2018 Nov;245:475-483	Original Article
435	Yaegashi N, Nishigori H, Obara T, et al.	産科	Preconception folic acid supplementation use and the occurrence of neural tube defects in Japan: A nationwide birth cohort study of the Japan Environment and Children's Study.	Congenital anomalies2018 Jul	Original Article
436	Nakazawa T, Yoshida M, Kunimatsu-Sanuki S, et al.	眼科	Predicting the Integrated Visual Field with Wide-Scan Optical Coherence Tomography in Glaucoma Patients.	Current eye research2018 Jun;43(6):754-761	Original Article
437	Ito S, Grams ME, Sang Y, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Predicting timing of clinical outcomes in patients with chronic kidney disease and severely decreased glomerular filtration rate.	Kidney Int2018 Jun;93(6):1442-1451	Original Article

438	Nakazawa T, Kokubun T, Tsuda S, et al.	眼科	Prediction of Surgical Outcome After Trabeculectomy for Neovascular Glaucoma with Anterior-segment Optical Coherence Tomography.	Journal of glaucoma2018 Sep;27(12):1157-1164	Original Article
439	Jin K, Kitazawa Y, Kakisaka Y, et al.	てんかん科	Predictive factors of higher drug load for seizure freedom in idiopathic generalized epilepsy: Comparison between juvenile myoclonic epilepsy and other types.	Epilepsy research2018 Aug;144:20-24	Original Article
440	Akira Ohkoshi, Takenori Ogawa, Ayako Nakanome, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Predictors of chewing and swallowing disorders after surgery for locally advanced oral cancer with free flap reconstruction: A prospective, observational study	Surgical Oncology2018 May;27:490-494	Original Article
441	Saiki Y, Kawatsu S, Sasaki K, et al.	心臓血管外科	Predictors of Heparin Resistance Before Cardiovascular Operations in Adults.	The Annals of thoracic surgery2018 May;105(5):1316-1321	Original Article
442	Nakazawa T, Maruyama K, Noguchi A, et al.	眼科	Predictors of Recurrence in Vogt-Koyanagi-Harada Disease.	Ophthalmology. Retina2018 Apr;2(4):343-350	Original Article
443	Saiki Y, Masaki N, Kawamoto S, et al.	心臓血管外科	Predictors of the need for pacemaker implantation after the Cox maze IV procedure for atrial fibrillation.	Surgery today2018 May;48(5):495-501	Original Article
444	Onishi Y, Nakagawa R, Kawajiri A, et al.	血液・免疫科	Preemptive therapy for cytomegalovirus reactivation after daratumumab-containing treatment in patients with relapsed and refractory multiple myeloma.	Annals of hematology2019 Mar	Case report
445	Kimura Y, Fujimura C, Ito Y, et.al.	皮膚科	Profiling the immunotoxicity of chemicals based on in vitro evaluation by a combination of the Multi-ImmunoTox assay and the IL-8 Luc assay.	Archives of toxicology2018 Jun;92(6):2043-2054	Original Article
446	Motoi F, Yazdani S, Kasajima A, et al.	総合外科	Progesterone arrested cell cycle progression through progesterone receptor isoform A in pancreatic neuroendocrine neoplasm.	The Journal of steroid biochemistry and molecular biology2018 Apr;178:243-253	Original Article
447	Sasano H, Yazdani S, Kasajima A, et al.	病理部	Progesterone arrested cell cycle progression through progesterone receptor isoform A in pancreatic neuroendocrine neoplasm.	The Journal of steroid biochemistry and molecular biology2018 Apr;178:243-253	Original Article
448	Takahashi J, Hao K, Sakata Y, et al.	循環器内科	Prognostic impact of residual stenosis after percutaneous coronary intervention in patients with ischemic heart failure - A report from the CHART-2 study.	International journal of cardiology2019 Mar 1;278:22-27	Original Article
449	Saiki Y, Kimura Y, Fukuda K, et al.	心臓血管外科	Prognostic Significance of PR Interval Prolongation in Adult Patients With Total Correction of Tetralogy of Fallot.	Circulation. Arrhythmia and electrophysiology2018 Nov;11(11):e006234	Original Article
450	Satoh F, Morimoto R, Omata K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Progress in the Management of Primary Aldosteronism.	American journal of hypertension2018 Apr;31(5):522-531	Review
451	Ito S, , Morimoto R, Omata K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Progress in the Management of Primary Aldosteronism	Am J Hypertens.2018 Apr;31(5):522-531	Review

452	Sasaki K, Tenkumo T, Vanegas Sáenz JR.	咬合回復科	Prolonged release of bone morphogenetic protein-2 in vivo by gene transfection with DNA-functionalized calcium phosphate nanoparticle-loaded collagen scaffolds.	Materials science & engineering. C, Materials for biological applications2018 Nov;92:172-183	Original Article
453	Takano T, Matsuo K, Takazawa Y, et al.	婦人科	Proposal for a Risk-Based Categorization of Uterine Carcinosarcoma.	Annals of surgical oncology2018 Nov;25(12):3676-3684	Original Article
454	Ito S, Watanabe M, Oe Y, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Protease-activated receptor 2 exacerbates cisplatin-induced nephrotoxicity.	American journal of physiology. Renal physiology2019 Jan	Original Article
455	Nakazawa T, Torres LA, Vianna JR, et al.	眼科	Protruded retinal layers within the optic nerve head neuroretinal rim.	Acta ophthalmologica2018 Jun;96(4):e493-e502	Original Article
456	Kitamoto T, Takao M, Kimura H, et al.	病理部	PrP ^{res} deposition in the retina is a common finding of sporadic, familial and iatrogenic Creutzfeldt-Jakob diseases (CJD).	Acta neuropathologica communications2018 Aug;6(1):78	Original Article
457	Sakamoto O, Watabe D, Watanabe A, et al.	小児腫瘍科	Psoriasis-like Dermatitis in Adulthood: A Skin Manifestation of Holocarboxylase Synthetase Deficiency.	Acta dermatovenereologica2018 Aug;98(8):805-806	Original Article
458	Sugiura H, Hirano T, Fujino N, et al.	呼吸器内科	Pulmonary Lymphatic Perfusion Syndrome.	American journal of respiratory and critical care medicine2019 Feb;199(4):529-530	Case report
459	Uematsu M, Akiyama T, Kubota T, et al.	小児科	Pyridoxal 5'-phosphate and related metabolites in hypophosphatasia: Effects of enzyme replacement therapy.	Molecular genetics and metabolism2018 Jul	Original Article
460	Masamune A, Hamada S, Yoshida N, et al.	消化器内科	Pyruvate Kinase Isozyme M2 Plays a Critical Role in the Interactions Between Pancreatic Stellate Cells and Cancer Cells.	Digestive diseases and sciences2018 Jul;63(7):1868-1877	Original Article
461	Tada H, Hatoyama K, Kitamura N, et al.	総合外科	Quantitative analyses of amount and localization of radiosensitizer gold nanoparticles interacting with cancer cells to optimize radiation therapy.	Biochemical and biophysical research communications2019 Jan;508(4):1093-1100	Original Article
462	Nakazawa T., Sato R., Kunikata H., et al.	眼科	Quantitative analysis of the macula with optical coherence tomography angiography in normal Japanese subjects: The Taiwa Study.	Sci Rep2019 Mar;9(1):8875	Original Article
463	Nakazawa T, Fukuda M, Omodaka K, et al.	眼科	Quantitative MRI evaluation of glaucomatous changes in the visual pathway.	PloS one2018 Jul;13(7):e0197027	Original Article
464	Unno M, Motoi F, Kosuge T, et al.	総合外科	Randomized phase II/III trial of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine and S-1 versus upfront surgery for resectable pancreatic cancer (Prep-02/JSAP05).	Japanese journal of clinical oncology2019 Feb;49(2):190-194	Original Article
465	Mutoh T, Sasaki K, Yamamoto S, et al.	加齢・老年病科	Rapamycin protects against early brain injury independent of cerebral blood flow changes in a mouse model of subarachnoid haemorrhage.	Clin Exp Pharmacol Physiol2018 Aug;45(8):859-862	Original Article

466	Tominaga T, Kanamori M, Maekawa M, et al.	脳神経外科	Rapid detection of mutation in isocitrate dehydrogenase 1 and 2 genes using mass spectrometry.	Brain tumor pathology2018 Apr;35(2):90-96	Original Article
467	Sakamoto O, Tocan V, Ohkubo K, et al.	小児腫瘍科	Reappraising newborn screening for cobalamin C disorder.	Pediatrics and neonatology2018 Aug;59(4):415-417	Original Article
468	Saiki Y, Maeda K.	心臓血管外科	Reconsideration of frailty in relation to surgical indication.	General thoracic and cardiovascular surgery2018 Apr;66(4):201-213	Original Article
469	Itoi E, Kanno H, Takahashi T, et al.	整形外科	Recurrence of ossification of ligamentum flavum at the same intervertebral level in the thoracic spine: a report of two cases and review of the literature.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society2018 Jul;27(Suppl 3):359-367	Case report
470	Itoi E, Onoki T, Kanno H, et al.	整形外科	Recurrent primary osseous hemangiopericytoma in the thoracic spine: a case report and literature review.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society2018 Jul;27(Suppl 3):386-392	Case report
471	Tokunaga H, Sugawara J, Iwama N, et al.	婦人科	Regional Birth Outcomes after the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami in Miyagi Prefecture.	Prehospital and disaster medicine2018 Apr;33(2):215-219	Original Article
472	Miura M, Taguchi Y, Handoh T, et al.	循環器内科	Regional increase in ROS within stretched region exacerbates arrhythmias in rat trabeculae with nonuniform contraction.	Pflugers Archiv : European journal of physiology2018 Sep;470(9):1349-1357	Original Article
473	Ichinose M, Mitsune A, Yanagisawa S, et al.	呼吸器内科	Relapsed Myasthenia Gravis after Nivolumab Treatment.	Intern Med. 2018 Jul 1;57(13):1893-1897	Case report
474	NOGAMI S, Takahashi T, Yamauchi K, et al.	歯科顎口腔外科	Relationship between arthroscopic findings of synovitis and levels of tumor necrosis factor- α and matrix metalloproteinases in synovial lavage fluid from patients with unilateral high mandibular condyle fractures	J Oral Rehabil2018 Jun;45(6):452-458	Original Article
475	Yoda N, Tanaka K, Sailer I, et al.	咬合回復科	Relationship between cortical bone thickness and implant stability at the time of surgery and secondary stability .	Journal of periodontal & implant science2018 Dec;48(6):360-372	Original Article
476	Nogami S, Tanaka K, Sailer I, et al.	歯科顎口腔外科	Relationship between cortical bone thickness and implant stability at the time of surgery and secondary stability after osseointegration measured using resonance frequency analysis	J Periodontal Implant Sci2018 Dec;48(6):360-372	Original Article
477	Takase K, Mugikura S, Takahashi S.	放射線診断科	Relationship between Ischemic Injury and Patient Outcomes after Surgical or Endovascular Treatment of Ruptured Anterior Communicating Artery Aneurysms	AJNR Am J Neuroradiol2018 Apr;39(4):E51-E52	Original Article
478	Takase K, Mugikura S, Fujimura M, et al.	放射線診断科	Relationship Between Perforator Infarction and Patient Outcomes After Surgical Treatment of Ruptured Anterior Communicating Artery Aneurysms	World Neurosurg2018 May;113:390-391	Original Article

479	Yaegashi N, Minato T, Ito T, et al.	産科	Relationship Between Short Term Variability (STV) and Onset of Cerebral Hemorrhage at Ischemia-Reperfusion Load in Fetal Growth Restricted (FGR) Mice.	Frontiers in physiology2018 May;9:478	Original Article
480	Komiyama T, Ohi T, Miyoshi Y, et al.	高齢者歯科治療部	Relationship between status of dentition and incident functional disability in an elderly Japanese population: prospective cohort study of the Tsurugaya project	Journal of Prosthodontic Research2018 Oct;62(4):443-448	Original Article
481	Kojima I, Sakamoto M, Iikubo M, et al.	口腔診断科	Relationship of MR imaging of submandibular glands to hyposalivation in Sjögren's syndrome.	Oral diseases2018 Jul;25(1):117-125	Original Article
482	Yaegashi N, Fue M, Miki Y, et al.	産科	Relaxin 2/RXFP1 Signaling Induces Cell Invasion via the β -Catenin Pathway in Endometrial Cancer.	International journal of molecular sciences2018 Aug;19(8)	Original Article
483	Tachi M, Sato A, Imai Y, et al.	形成外科	Reliability of Ultrasound-Guided One-Point Fixation for Zygomaticomaxillary Complex Fractures.	The Journal of craniofacial surgery2018 Nov;30(1):218-222	Original Article
484	Nakazawa T, Tokashiki N, Nishiguchi KM, et al.	眼科	Reliable detection of low visual acuity in mice with pattern visually evoked potentials.	Scientific reports2018 Oct;8(1):15948	Original Article
485	Ito S, Mishima E, Suzuki T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Renovascular hypertension associated with JAK2 V617F positive myeloproliferative neoplasms treated with angioplasty: 2 cases and literature review.	Journal of clinical hypertension (Greenwich, Conn.)2018 Apr;20(4):798-804	Case report
486	Takase K, Mishima E, Suzuki T, et al.	放射線診断科	Renovascular hypertension associated with JAK2 V617F positive myeloproliferative neoplasms treated with angioplasty: 2 cases and literature review	J Clin Hypertens (Greenwich)2018 Apr;20(4):798-804	Original Article
487	Ogawa T, , Malik B, Whittle T, et al.	咬合回復科	Reorganization of motor unit activity at different sites within the human masseter muscle during experimental masseter pain.	European journal of oral sciences2018 Oct;126(5):400-410	Original Article
488	Koike T, Ishihara R, Oyama T, et al.	消化器内科	Reply to the letter to the editor: Lymph node metastasis of adenocarcinoma and different definitions of sm1 cancer in the esophagus.	Journal of gastroenterology2018 Jun;53(6):804-805	Letter
489	Kure S, Takezawa Y, Kikuchi A, et al.	小児科	Reply to: A genomic cause of cerebral palsy should not change the clinical classification.	Annals of clinical and translational neurology2018 Aug;5(8):1012	Letter
490	Kure S, Takezawa Y, Fujie H, et al.	小児科	Reply to: Avoid valproate in IARS2 mutations.	Brain & development2018 Sep;41(1):122	Letter
491	Takahashi J, Ohyama K, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Reply: New Aspects of Vasospastic?Angina: Coronary Adventitial and Perivascular Adipose Tissue?Inflammation.	Journal of the American College of Cardiology2018 Jun 12;71(23):2709-2710	Original Article
492	Kure S, Kanno J, Saito-Hakoda A, et al.	小児科	Responsiveness to pamidronate treatment is not related to the genotype of type I collagen in patients with osteogenesis imperfecta.	Journal of bone and mineral metabolism2018 May;36(3):344-351	Original Article

493	Nakazawa T, Nishiguchi KM, Fujita K, et al.	眼科	Retained Plasticity and Substantial Recovery of Rod-Mediated Visual Acuity at the Visual Cortex in Blind Adult Mice with Retinal Dystrophy.	Molecular therapy : the journal of the American Society of Gene Therapy2018 Jul;26(10):2397-2406	Original Article
494	Kure S, Nakamura H, Uematsu M, et al.	小児科	Rett-like features and cortical visual impairment in a Japanese patient with HECW2 mutation.	Brain & development2018 May;40(5):410-414	Case report
495	Yoko Aoki, Haruhiko Nakamura, Mitsugu Uematsu, et al.	遺伝科	Rett-like features and cortical visual impairment in a Japanese patient with HECW2 mutation	Brain and Development2018 May 1;40:410-414	Case report
496	Ichinose M, Yanagisawa S, Mitsune A.	呼吸器内科	Right-to-left pulmonary shunt through arteriovenous malformation	Med Clin (Barc). 2018 Oct;151(7):297	Review
497	Kohzuki M, Zhang W, Yang X, et al.	内部障害リハビリテーション科	Risk factors for developing diabetes after 3 years among community-dwelling elderly with impaired fasting glucose.	Journal of diabetes2018 Jun;11(2):107-114	Original Article
498	Kanno A, Ito T, Kawa S, et al.	消化器内科	Risk Factors for Pancreatic Stone Formation in Type 1 Autoimmune Pancreatitis: A Long-term Japanese Multicenter Analysis of 624 Patients.	Pancreas2019 Jan;48(1):49-54	Original Article
499	Sasano H, Kobayashi K, Miki Y, et al.	病理部	Roles of human epidermal growth factor receptor family in pulmonary lymphangioleiomyomatosis.	Human pathology2018 Jul;81:121-130	Original Article
500	Sasaki K, Chaweewannakorn C, Tsuchiya M, et al.	咬合回復科	Roles of IL-1 α / β in regeneration of cardiotoxin-injured muscle and satellite cell function.	American journal of physiology. Regulatory, integrative and comparative physiology2018 Jul;315(1):R90-R103	Original Article
501	Kota Ishizawa, Kimiaki Sato, Yurikko Saiki, et al.	総合地域医療教育支援部	S100A10 upregulation associates with poor prognosis in lung squamous cell carcinoma	Biochemical and Biophysical Research Communications2018 Oct;505(2):466-470	Original Article
502	Sasano H, Kikuchi K, McNamara KM, et al.	病理部	S100P and Ezrin promote trans-endothelial migration of triple negative breast cancer cells.	Cellular oncology (Dordrecht)2018 Sep	Original Article
503	Saiki Y, Hosoyama K, Kawamoto S, et al.	心臓血管外科	Safety and durability of the biodegradable felt in aortic surgery: a propensity score-matched study.	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery2018 Aug;54(2):361-368	Original Article
504	Tokunaga H, Kuno T, Tachibana M, et al.	婦人科	Sarcoidosis of the fallopian tube: A rare case study with confirmed Propionibacterium acnes infection.	The journal of obstetrics and gynaecology research2018 Sep	Case report
505	Saiki Y, Hosoyama K, Kawamoto S, et al.	心臓血管外科	Selective Cerebral Perfusion with the Open Proximal Technique during Descending Thoracic or Thoracoabdominal Aortic Repair: An Option of Choice to Reduce Neurologic Complications.	Annals of thoracic and cardiovascular surgery : official journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia2018 Apr 20;24(2):89-96	Original Article

506	Etsuro Mori, Hiroyuki Watanabe, Minoru Matsuda, et al.	高次脳機能障害科	Sentence composition ability in two patients with non-fluent/agrammatic variant primary progressive aphasia	Psychogeriatrics2018 May;18(3):231-234	Original Article
507	Fujimura T, Sato Y, Tanita K, et al.	皮膚科	Serum Level of Soluble CD163 May Be a Predictive Marker of the Effectiveness of Nivolumab in Patients With Advanced Cutaneous Melanoma.	Frontiers in oncology2018 Nov;8:530	Original Article
508	Kaku M, Nakamura K, Saito K, et al.	総合感染症科	Severe epidemic myalgia with an elevated level of serum interleukin-6 caused by human parechovirus type 3: a case report and brief review of the literature.	BMC infectious diseases2018 Aug;18(1):381	Original Article
509	Yaegashi N, Kuniyoshi Y, Kikuya M, et al.	産科	Severity of eczema and mental health problems in Japanese schoolchildren: The ToMMo Child Health Study.	Allergy international : official journal of the Japanese Society of Allergy2018 Apr	Original Article
510	Takano T, Matsuo K, Takazawa Y, et al.	婦人科	Significance of Lymphovascular Space Invasion by the Sarcomatous Component in Uterine Carcinosarcoma.	Annals of surgical oncology2018 Sep;25(9):2756-2766	Original Article
511	Ichinose M, Miyachi E, Matsuda T, et al.	呼吸器内科	Significant differences in T cell receptor repertoires in lung adenocarcinomas with and without epidermal growth factor receptor mutations.	Cancer Sci. 2019 Mar;110(3):867-874	Original Article
512	Saiki Y, Oishi H, Watanabe T, et al.	心臓血管外科	Single lung transplantation for lymphangiomyomatosis: a single-center experience in Japan.	Surgery today2018 Oct;48(10):944-950	Original Article
513	Itoi E, Yabe Y, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Sleep Disturbance Is Associated with New Onset and Continuation of Lower Back Pain: A Longitudinal Study among Survivors of the Great East Japan Earthquake.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 Sep;246(1):9-14	Original Article
514	Tominaga T, Jia W, Saito R, et al.	脳神経外科	SMART (stroke-like migraine attacks after radiation therapy) syndrome responded to steroid pulse therapy: Report of a case and review of the literature.	eNeurologicalSci2018 Sep;12:1-4	Original Article
515	Saiki Y, Nogi M, Satoh K, et al.	心臓血管外科	SmgGDS Prevents Thoracic Aortic Aneurysm Formation and Rupture by Phenotypic Preservation of Aortic Smooth Muscle Cells.	Circulation2018 Jun;138(21):2413-2433	Original Article
516	Tominaga T, Kochi R, Mino M, et al.	脳神経外科	Spontaneous Development of Encapsulated Subdural Hematoma in the Posterior Cranial Fossa after Cardiac Surgery: A Case Report.	NMC case report journal2018 Oct;5(4):87-90	Original Article
517	Unno M, Kumata H, Murakami K, et al.	総合外科	Steroidogenesis in ovarian-like mesenchymal stroma of hepatic and pancreatic mucinous cystic neoplasms.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology2018 Jun;48(12):989-999	Original Article
518	Sasano H, Kumata H, Murakami K, et al.	病理部	Steroidogenesis in ovarian-like mesenchymal stroma of hepatic and pancreatic mucinous cystic neoplasms.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology2018 Jun	Original Article
519	Tominaga T, Elkordy A, Mishima E, et al.	脳神経外科	Stress-induced tRNA cleavage and tiRNA generation in rat neuronal PC12 cells.	Journal of neurochemistry2018 Sep;146(5):560-569	Original Article

520	Takahashi J, Suzuki H, Matsumoto Y, et al.	循環器内科	Structural brain abnormalities and cardiac dysfunction in patients with chronic heart failure.	European journal of heart failure2018 May;20(5):936-938	Original Article
521	Kure S, Sakamoto O, Arai-Ichinoi N, et al.	小児科	Successful control of maternal phenylketonuria by tetrahydrobiopterin.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society2018 Oct;60(10):985-986	Original Article
522	Fujii H, Ichikawa S, Fukuhara N, et al.	血液・免疫科	Successful Cord Blood Stem Cell Transplantation for Primary Cutaneous CD8-positive Aggressive Epidermotropic Cytotoxic T-cell Lymphoma Complicated with Cerebral Infiltration.	Intern Med2018 Jul;57(14):2051-2055	Case report
523	Ishida M, Kumbhari V, Li L, et al.	総合外科	Successful liver-directed gene delivery by ERCP-guided hydrodynamic injection (with videos).	Gastrointestinal endoscopy2018 Oct;88(4):755-76300000	Original Article
524	Onishi Y, Ono K, Kobayashi M, et al.	血液・免疫科	Successful Treatment of Aggressive Mature B-cell Lymphoma Mimicking Immune Thrombocytopenic Purpura.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Sep;57(17):2573-2579	Case report
525	Kure S, Kimura M, Kawano K, et al.	小児科	Successful Treatment of an Infant with Left Ventricular Noncompaction Presenting with Fatal Ventricular Arrhythmia Treated with Cardiac Resynchronization Therapy and an Implantable Cardioverter Defibrillator.	Case reports in cardiology2018 Apr;2018:9562326	Case report
526	Kure S, Usuda H, Watanabe S, et al.	小児科	Successful use of an artificial placenta to support extremely preterm ovine fetuses at the border of viability.	American journal of obstetrics and gynecology2019 Mar	Original Article
527	Sakamoto M, Ouchi T, Sukhbaatar A, et al.	口腔診断科	Superselective Drug Delivery Using Doxorubicin-Encapsulated Liposomes and Ultrasound in a Mouse Model of Lung Metastasis Activation.	Ultrasound in medicine & biology2018 Aug;44(8):1818-1827	Original Article
528	Saiki Y, Masaki N, Kumagai K, et al.	心臓血管外科	Suppressive effect of pitavastatin on aortic arch dilatation in acute stanford type B aortic dissection: analysis of STANP trial.	General thoracic and cardiovascular surgery2018 Jun;66(6):334-343	Original Article
529	Egusa H, Nakazawa K, Nakamura K, et al.	咬合修復科	Surface properties of dental zirconia ceramics affected by ultrasonic scaling and low-temperature degradation.	PloS one2018 Sep;13(9):e0203849	Original Article
530	Nakazawa T, Ota H, Kunikata H, et al.	眼科	Surgical results of internal limiting membrane flap inversion and internal limiting membrane peeling for macular hole.	PloS one2018 Sep;13(9):e0203789	Original Article
531	Tominaga T, Kumata H, Nishimura R, et al.	脳神経外科	Surgical strategy for an adult patient with a catecholamine-producing ganglioneuroblastoma and a cerebral aneurysm: a case report.	Surgical case reports2018 Sep;4(1):119	Original Article
532	Motoi F, Murakami Y, Okada KI, et al.	総合外科	Sustained Elevation of Postoperative Serum Level of Carbohydrate Antigen 19-9 is High-Risk Stigmata for Primary Hepatic Recurrence in Patients with Curatively Resected Pancreatic Adenocarcinoma.	World journal of surgery2018 Oct;43(2):634-641	Original Article
533	Onishi Y, Ichikawa S, Fukuhara N, et al.	血液・免疫科	Sustained Remission of $\gamma \delta$ T-Cell Lymphoma by Graft-Versus-Lymphoma Effect That Relapsed Early After Cord Blood Transplantation.	Clinical lymphoma, myeloma & leukemia2018 Sep;18(9):e369-e372	Case report

534	Aoki M, Mitsui S, Otomo A, et al.	脳神経内科	Systemic overexpression of SQSTM1/p62 accelerates disease onset in a SOD1^{H46R}-expressing ALS mouse model.	Molecular brain2018 May;11(1):30	Original Article
535	Fujii H, Shirai T, Hanaoka R, et al.	血液・免疫科	Takayasu Arteritis Coexisting with Sclerosing Osteomyelitis.	Intern Med2018 Jul;57(13):1929-1934	Case report
536	Unno M, Kawaguchi K, Miyake K, et al.	総合外科	Targeting altered cancer methionine metabolism with recombinant methioninase (rMETase) overcomes partial gemcitabine-resistance and regresses a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model of pancreatic cancer.	Cell cycle (Georgetown, Tex.)2018 May;17(7):868-873	Original Article
537	Unno M, Kawaguchi K, Han Q, et al.	総合外科	Targeting methionine with oral recombinant methioninase (o-rMETase) arrests a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model of BRAF-V600E mutant melanoma: implications for chronic clinical cancer therapy and prevention.	Cell cycle (Georgetown, Tex.)2018;17(3):356-361	Original Article
538	Jin K, Kakisaka Y, Fujikawa M, et al.	てんかん科	Teleconference-based education of epileptic seizure semiology.	Epilepsy research2018 Sep;145:73-76	Original Article
539	Kure S, Shintaku H.	小児科	Tetrahydropterin-responsive phenylalanine hydroxylase deficiency.	Journal of human genetics2018 Nov	Review
540	Tada H, Arinaga Y, Piller N, et al.	総合外科	The 10-Min Holistic Self-Care for Patients with Breast Cancer-Related Lymphedema: Pilot Randomized Controlled Study.	The Tohoku journal of experimental medicine2019 Feb;247(2):139-147	Original Article
541	Itoi E, Yabe Y, Hagiwara Y, et al.	整形外科	The Characteristics of Coaches that Verbally or Physically Abuse Young Athletes.	The Tohoku journal of experimental medicine2018 Apr;244(4):297-304	Original Article
542	Yamada M, Ichinose M.	呼吸器内科	The cholinergic anti-inflammatory pathway: an innovative treatment strategy for respiratory diseases and their comorbidities	Curr Opin Pharmacol2018 Jun;40:18-25	Review
543	Yamada M, Ichinose M.	呼吸器内科	The Cholinergic Pathways in Inflammation: A Potential Pharmacotherapeutic Target for COPD.	Frontiers in pharmacology2018 Dec;9:1426	Review
544	Aoki M, Ando R, Iwaki H, et al.	脳神経内科	The Clinical Findings Useful for Driving Safety Advice for Parkinson's Disease Patients.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Jul;57(14):1977-1982	Original Article
545	Kudo Y, Okamura N, Harada R, et al.	加齢・老年病科	The development and validation of tau PET tracers: current status and future directions.	Clin Transl Imaging. 2018 Aug 20;6(4):305-316	Original Article
546	Shiro Mori, Takuya Izumiyama, Yu Mori, et al.	歯科顎口腔外科	The effect of anti-IL-6 receptor antibody for the treatment of McH-lpr/lpr-RA1 mice that spontaneously developed destructive arthritis and enthesitis. BMC Musculoskeletal Disorder	BMC Musculoskeletal Disorder2019;20(1):286	Original Article
547	Sasaki K, Wang S, Ogawa T, et al.	咬合回復科	The effect of low-magnitude high-frequency loading on peri-implant bone healing and implant osseointegration in Beagle dogs.	Journal of prosthodontic research2018 Oct;62(4):497-502	Original Article

548	Nakazawa T, Kokubun T, Yamamoto K, et al.	眼科	The effectiveness of colchicine combined with mitomycin C to prolong bleb function in trabeculectomy in rabbits.	PloS one2019 Mar;14(3):e0213811	Original Article
549	Goto M, Kakizaki Y, Miyagi S, et al.	総合外科	The effects of short-term subnormothermic perfusion after cold preservation on liver grafts from donors after cardiac death: An ex vivo rat model	Transplantation2018 Apr;102(4):147-154	Original Article
550	Kohzuki M, Oguchi H, Tsujita M, et al.	内部障害リハビリテーション科	The efficacy of exercise training in kidney transplant recipients: a meta-analysis and systematic review.	Clinical and experimental nephrology2018 Aug;23(2):275-284	Original Article
551	Sasano H, Nakamura Y, Ise K, et al.	病理部	The expression of sex steroid receptors and sex steroid-synthesizing/metabolizing enzymes in metastasized lymph nodes of prostate Cancer.	Human pathology2018 Oct;84:124-132	Original Article
552	Sugiura H, Hirano T, Numakura T, et al.	呼吸器内科	The first case of multiple pulmonary granulomas with amyloid deposition in a dental technician; a rare manifestation as an occupational lung disease.	BMC pulmonary medicine2018 May;18(1):77	Case report
553	Kaku M, Maeda M, Muraki Y, et al.	総合感染症科	The first nationwide survey of antimicrobial stewardship programs conducted by the Japanese Society of Chemotherapy.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy2018 Nov;25(2):83-88	Original Article
554	Unno M, Watanabe K, Nagao M, et al.	総合外科	The functional outcome and factors influencing the quality of life after ileal pouch anal anastomosis in patients with ulcerative colitis.	Surgery today2018 Apr;48(4):455-461	Original Article
555	Akaishi T, Onishi E, Ahe M, et al.	総合地域医療教育支援部	The human central nervous system discharges carbon dioxide and lactic acid into the cerebrospinal fluid.	Fluids and Barriers of the CNS2019 Mar 29;16(1):8	Original Article
556	Nakazawa T, Kiyota N, Shiga Y, et al.	眼科	The Impact of Intraocular Pressure Elevation on Optic Nerve Head and Choroidal Blood Flow.	Investigative ophthalmology & visual science2018 Jul;59(8):3488-3496	Original Article
557	Kushimoto S, Kudo D, Miyagawa N, et al.	救急科	The impact of organ dysfunctions on mortality in patients with severe sepsis: A multicenter prospective observational study.	Journal of critical care2018 Jun;45:178-183	Original Article
558	Suzuki T, Iwabuchi E, Miki Y, et al.	病理部	The interaction between carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 6 and HER2 is associated with therapeutic efficacy of trastuzumab in breast cancer.	The Journal of pathology2018 Jul;246(3):379-389	Original Article
559	Sasano H, Iwabuchi E, Miki Y, et al.	病理部	The interaction between carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 6 and human epidermal growth factor receptor 2 is associated with therapeutic efficacy of trastuzumab in breast cancer.	The Journal of pathology2018 Nov;246(3):379-389	Original Article
560	Sasano H, Takagi K, Miki Y, et al.	病理部	The interplay of endocrine therapy, steroid pathways and therapeutic resistance: Importance of androgen in breast carcinoma.	Molecular and cellular endocrinology2018 May;466:31-37	Original Article
561	Ito S, Node K, Kishi T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	The Japanese Society of Hypertension-Digest of plan for the future.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension2018 Dec;41(12):989-990	Review

562	Kushimoto S, Arai M, Kim S, et al.	救急科	The long-term outcomes of early abdominal wall reconstruction by bilateral anterior rectus abdominis sheath turnover flap method in critically ill patients requiring open abdomen.	World journal of emergency surgery : WJES2018 Sep 4;13:39	Original Article
563	Misu T, Ikeda T, Yamada K, et al.	脳神経内科	The pathological features of MOG antibody-positive cerebral cortical encephalitis as a new spectrum associated with MOG antibodies: A case report.	Journal of the neurological sciences2018 Sep;392:113-115	Case report
564	Kimura Y, Watanabe M, Suzuki N, et al.	皮膚科	The performance of an in vitro skin sensitisation test, IL-8 Luc assay (OECD442E), and the integrated approach with direct peptide reactive assay (DPRA).	J Toxicol Sci.2018;43(12):741-749	Original Article
565	Kure S, Iwasawa S, Kikuchi A, et al.	小児科	The prevalence of GALM mutations that cause galactosemia: A database of functionally evaluated variants.	Molecular genetics and metabolism2019 Mar;126(4):362-367	Original Article
566	Satoh F, Burrello J, Burrello A, et al.	腎・高血圧・内分泌科	The Primary Aldosteronism Surgical Outcome Score for the Prediction of Clinical Outcomes After Adrenalectomy for Unilateral Primary Aldosteronism.	Annals of surgery2019 Jan	Original Article
567	Nakazawa T, Ichinohasama K, Kunikata H, et al.	眼科	The Relationship between Carotid Intima-Media Thickness and Ocular Circulation in Type-2 Diabetes.	Journal of ophthalmology2019;2019 :3421305	Original Article
568	Ichinose M, Yamada E, Himori N, et al.	呼吸器内科	The relationship between increased oxidative stress and visual field defect progression in glaucoma patients with sleep apnoea syndrome.	Acta Ophthalmol2018 Jun;96(4):e479-e484	Original Article
569	Nogami S, Ito K, Yamazaki F, et al.	歯科顎口腔外科	The relationship between intracapsular fracture patterns and arthroscopic findings	J Oral Maxillofac Surg2018 Jul;76(7):1501.e1-1510. e12	Original Article
570	Itoi E, Yamamoto N, Kawakami J, et al.	整形外科	The relationship between the glenoid track and the range of shoulder motion: A cadaver study.	Orthopaedics & traumatology, surgery & research : OTSR2018. Oct;104(6):793-796	Original Article
571	Sasano H, McNamara KM.	病理部	The role of 17 β HSDs in breast tissue and breast cancers.	Molecular and cellular endocrinology2018 Nov;489:32-44	Review
572	Yajima T, Sato M, Sato T, et al.	保存修復科	The transient receptor potential cation channel subfamily V members 1 and 2, P2X purinoceptor 3 and calcitonin gene-related peptide in sensory neurons of the rat trigeminal ganglion, innervating the periosteum, masseter muscle and facial skin.	Archives of oral biology2018 Aug;96:66-73	Original Article
573	Suzuki N, Kitajima Y, Nunomiya A, et al.	脳神経内科	The Ubiquitin-Proteasome System Is Indispensable for the Maintenance of Muscle Stem Cells.	Stem cell reports2018 Dec;11(6):1523-1538	Original Article
574	Masamune A, Kondo Y, Hatta W, et al.	消化器内科	The Use of Higher Dose Steroids Increases the Risk of Rebleeding After Endoscopic Hemostasis for Peptic Ulcer Bleeding.	Digestive diseases and sciences2018 Jul;63(11):3033-3040	Original Article
575	Sasano H, Ulm M, Ramesh AV, et al.	病理部	Therapeutic advances in hormone-dependent cancers: focus on prostate, breast, and ovarian cancers.	Endocrine connections2019 Jan;8(2):R10-R26	Review

576	Saiki Y, Masuda M, Endo S et al.	心臓血管外科	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2015 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	General thoracic and cardiovascular surgery2018 Oct;66(10):581-615	Original Article
577	Unno M, Onodera Y, Taniyama Y, et al.	総合外科	Thoracoscopic esophagectomy with subcarinal lymph node dissection in the prone position for esophageal cancer with a right superior pulmonary vein anomaly: a case report.	Surgical case reports2019 Jan;5(1):6	Original Article
578	Tominaga T, Kajitani T, Kanamori M, et al.	脳神経外科	Three case reports of radiation-induced glioblastoma after complete remission of acute lymphoblastic leukemia.	Brain tumor pathology2018 Apr;35(2):114-122	Original Article
579	Takase K, Mugikura S, Takahashi S.	放射線診断科	Time to Face the Nightmare That Has Plagued Neurosurgeons for Years: Memory Impairment from Postsurgery Subcallosal Artery Infarction for Anterior Communicating Artery Aneurysms	World Neurosurg2019 Jan;121:280-281	Original Article
580	Sugiura H, Gamo S, Tamada T, et al.	呼吸器内科	TLR7 agonist attenuates acetylcholine-induced, Ca ²⁺ -dependent ionic currents in swine tracheal submucosal gland cells.	Experimental physiology2018 Sep	Original Article
581	Jin K, Iwaki H, Fujikawa M, et al.	てんかん科	Topiramate-induced weight loss depends on level of intellectual disability in patients with epilepsy.	Epilepsy & behavior : E&B2018 Jun;83:87-91	Original Article
582	Aoki M, Asato Y, Kamitani T, et al.	脳神経内科	Transient Pulmonary Interstitial Lesions in Aquaporin-4-positive Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder.	Internal medicine (Tokyo, Japan)2018 Oct;57(20):2981-2986	Case report
583	Ito S, Nakayama M, Watanabe K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Translational Research of Peritoneal Dialysis Solution with Dissolved Molecular Hydrogen.	Contributions to nephrology2018 Jul;196:162-170	Original Article
584	Sakamoto M, Fujii H, Horie S, et al.	口腔診断科	Treatment of false-negative metastatic lymph nodes by a lymphatic drug delivery system with 5-fluorouracil.	Cancer Med.2019;8(5):2241-2251	Original Article
585	Kamei T, Okamoto H, Onodera K, et al.	総合外科	Treatment of spontaneous esophageal rupture (Boerhaave syndrome) using thoracoscopic surgery and sivelestat sodium hydrate.	Journal of thoracic disease2018 Apr;10(4):2206-2212	Case report
586	Suzuki T, Takayama KI, Tanaka T, et al.	病理部	TRIM25 enhances cell growth and cell survival by modulating p53 signals via interaction with G3BP2 in prostate cancer.	Oncogene2018 Apr;37(16):2165-2180	Original Article
587	Sasano H, Takahashi S, Thike AA, et al.	病理部	Triple-negative and HER2 positive ductal carcinoma in situ of the breast: characteristics, behavior, and biomarker profile.	Virchows Archiv : an international journal of pathology2018 Sep;473(3):275-283	Original Article
588	Mori S, Kodama T, Nose M.	歯科顎口腔外科	Tumor cell invasion from the marginal sinus into extranodal veins during early-stage lymph node metastasis can be a starting point for hematogenous metastasis	J Cancer Metastasis Treat2018;4	Original Article
589	Ito S, Yamazaki Y, Omata K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Tumor Cell Subtypes Based on the Intracellular Hormonal Activity in KCNJ5-Mutated Aldosterone-Producing Adenoma.	Hypertension (Dallas, Tex. : 1979)2018 Sep;72(3):632-640	Original Article

590	Satoh F, Kitawaki Y, Nakamura Y, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Tumor microenvironment in functional adrenocortical adenomas: immune cell infiltration in cortisol-producing adrenocortical adenoma.	Human pathology2018 Jul;77:88-97	Original Article
591	Unno M, Kawaguchi K, Miyake K, et al.	総合外科	Tumor targeting Salmonella typhimurium A1-R in combination with gemcitabine (GEM) regresses partially GEM-resistant pancreatic cancer patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse models.	Cell cycle (Georgetown, Tex.)2018 Sep;17(16):1-8	Original Article
592	Mitsuzuka K, Okubo T, Koie T, et al.	泌尿器科	Two years of bicalutamide monotherapy in patients with biochemical relapse after radical prostatectomy.	Japanese journal of clinical oncology2018 Jun;48(6):570-575	Original Article
593	Yaegashi N, Ishibashi M, Toyoshima M, et al.	産科	Tyrosine kinase receptor TIE-1 mediates platinum resistance by promoting nucleotide excision repair in ovarian cancer.	Scientific reports2018 Sep;8(1):13207	Original Article
594	Harigae H, Ochi T, Onishi Y, et al.	血液・免疫科	Umbilical Cord Blood Transplantation Using Reduced-intensity Conditioning without Antithymocyte Globulin in Adult Patients with Severe Aplastic Anemia.	Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation2018	Original Article
595	Akaishi T.	総合地域医療教育支援部	Unified neural structured model: A new diagnostic tool in primary care psychiatry.	Medical Hypotheses2018 Sep;118:107-113	Original Article
596	Yaegashi N, Ishikawa T, Obara T, et al.	産科	Update on the prevalence and determinants of folic acid use in Japan evaluated with 91,538 pregnant women: the Japan Environment and Children's Study.	The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians2018 Aug1-10	Original Article
597	Ito S, Sato E, Wang AY, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Urinary angiotensinogen excretion level is associated with elevated blood pressure in the normotensive general population.	Am J Hypertens.2018 May;31(6):742-749	Original Article
598	Masamune A, Yasuda H, Kataoka K, et al.	消化器内科	Usefulness of urinary trypsinogen-2 and trypsinogen activation peptide in acute pancreatitis: A multicenter study in Japan.	World journal of gastroenterology2019 Jan;25(1):107-117	Original Article
599	Wada M, Nio M, Sasaki H, et al.	小児外科	Using ^{99m} Tc-DTPA galactosyl human serum albumin liver scintigraphy as a prognostic indicator in jaundice-free patients with biliary atresia.	Journal of pediatric surgery2018 Sep;53(12):2412-2415	Original Article
600	Nakazawa T, Tanito M, Nitta K, et al.	眼科	Validation of formula-predicted glaucomatous optic disc appearances: the Glaucoma Stereo Analysis Study.	Acta ophthalmologica2018 Jul;97(1):e42-e49	Original Article
601	Sasano H, Iwata H, Masuda N, et al.	病理部	Validation of the 21-gene test as a predictor of clinical response to neoadjuvant hormonal therapy for ER+, HER2-negative breast cancer: the TransNEOS study.	Breast cancer research and treatment2018 Sep;173(1):123-133	Original Article
602	Nogami S, Yamaguchi Y, Yamauchi K, et al.	歯科顎口腔外科	Volumetric comparison of maxillofacial soft tissue morphology: computed tomography in the supine position versus three-dimensional optical scanning in the sitting position	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol2018 Apr;125(4):351-357	Original Article

603	Nakagawa A, Nakayashiki A, Kawaguchi T, et al.	脳神経外科	Water veil effect to control splashing from the pulsed water jet device: Minimization of the potential risk of dissemination using surgical aspirators.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg2018 Jul;79(4):309-315	Original Article
604	Tominaga T, Nakayashiki A, Kawaguchi T, et al.	脳神経外科	Water Veil Effect to Control Splashing from the Pulsed Water Jet Device: Minimizing the Potential Risk of Dissemination Using Surgical Aspirators.	Journal of neurological surgery. Part A, Central European neurosurgery2018 Jul;79(4):309-315	Original Article
605	Onishi Y, Nakasone H, Tabuchi K, et al.	血液・免疫科	Which is more important for the selection of cord blood units for haematopoietic cell transplantation: the number of CD34-positive cells or total nucleated cells?	British journal of haematology2018 May;185(1):166-169	Original Article
606	Itoi E, Sekiguchi T, Hagiwara Y, et al.	整形外科	Youth baseball players with elbow and shoulder pain have both low back and knee pain: a cross-sectional study.	Knee surgery, sports traumatology, arthroscopy : official journal of the ESSKA2018 Jul;26(7):1927-1935	Original Article
607	Onishi Y, Ono K, Kobayashi M, et al.	血液・免疫科	γ δ T cell clonal proliferation early after PD-1 blockade.	Annals of hematology2018 Jun;98(1):219-220	Case report

計 607件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含まれるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	中澤 徹, 針谷 威寛, 丸山 和一, 他	眼科	アレルギー性結膜炎に対する抗アレルギー点眼液のヒスタミン受容体発現に及ぼす影響	あたらしい眼科. 2019 Feb;36(2):273-281	Original Article
2	徳永 英樹, 永瀬 智, 山上 亘, 他	婦人科	[日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会プロジェクト](パート3) 婦人科悪性腫瘍の登録事業と公共性 婦人科悪性腫瘍の登録事業と公共性	日本婦人科腫瘍学会雑誌2018Apr;36(2):186-192	Others
3	江草宏	咬合修復科	『米国型 vs. スカンジナビア型』—日本の補綴歯科専門医はどちらを向いているのか?—	日補綴会誌 2018;10(2):134-135	Others
4	高山真, 菊地 章子, 金子聡一郎	総合地域医療教育支援部	[リハビリテーション医療における補完代替医療の可能性]嚥下障害に対する鍼治療	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine2018 Dec;55(12):978-983	Review

5	菊地 克子, 遊佐志乃, 岡田 修子, 他	皮膚科	【小児先天性皮膚疾患】臨床例 10代の姉弟にみられた基底細胞母斑症候群(Gorlin症候群)	皮膚病診療2019 Jan;41(1):21-24	Case report
6	森川 孝則, 片寄友, 伊勢 一郎, 他	総合外科	【敗血症・院内感染にいかにも挑むか】待機的肝胆膵術後敗血症の術前リスク因子解析および予後の検討	日本腹部救急医学会雑誌2018May;38(4):635-641	Original Article
7	山本照子, 高野郁子, 清流正弘, 他	矯正歯科	Anterior ratioの改善と外科的矯正歯科治療を併用し, TMJ症状を改善した骨格性III級非対称症例	東北矯正歯科学会雑誌2018;26(1):23-35	Case report
8	一ノ瀬正和	呼吸器内科	COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン2018のポイント	日本薬剤師会雑誌2018;70(10):11-13	Review
9	藤原 亨, 川上 徹, 中澤 英之, 他	血液・免疫科	ビタミンB6が著効したALAS2 R452H変異陽性X連鎖性鉄芽球性貧血	臨床血液2018;59:401-406	Case report
10	松井桂子, 川井忠, 江副祐史, 他	歯科顎口腔外科	インプラント治療へのリン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体の応用	日本顎顔面インプラント学会2018Apr;17(1):3-8	Others
11	菊地 克子	皮膚科	がんこな顔面皮疹;脂漏性皮膚炎と酒さの一手・決手 脂漏性皮膚炎と酒さ 診断から治療のトータルマネジメント	日本臨床皮膚科医会雑誌2018Apr;35(3):451-456	Others
12	海野 倫明, 渡辺和宏, 倉地 清隆, 他	総合外科	クローン病における直腸肛門管癌の癌スクリーニングの現状と問題点 国内専門施設へのアンケート調査	日本大腸肛門病学会雑誌2018Jul;71(7):283-290	Original Article
13	一ノ瀬正和, 大江崇, 平野泰三, 他	呼吸器内科	ステドスポリウム属によるステント腐生により喘息様症状を呈した1例	日本呼吸器学会雑誌2018;7(3):187-191	Case report
14	藤井 博司, 鈴木千恵, 榎尾 一志, 他	血液・免疫科	トランスサイレチンにおける高値要因の検討	日本臨床検査自動化学会会誌2018 Sep;43(4):433-	Original Article
15	根本 英二, 池野修功, 金谷 聡介, 他	歯周病科	ヒト歯根膜細胞の分化・増殖に対するBerberineの作用	日歯周誌2018;60(1):13-25	Original Article
16	中川敦寛, 石塚治也, 石垣司, 他	脳神経外科	異質なデータを統合した敗血症の転帰予測システム	電子情報通信学会論文誌2018;J101-D(3):481-493	Original Article
17	高山真, 大澤稔, 石井正, 他	総合地域医療教育支援部	温補剤無効の“上腕の冷え”に奏効した漢方治療の1例	産婦人科漢方研究のあゆみ2018Apr;(35):134-136	Case report
18	野上晋之介, 片岡良浩, 斎藤 悠, 他	歯科顎口腔外科	下顎臼後部に生じた乳頭状唾液腺腺腫の1例	日口外誌2019 Mar;65(3):179-183	Case report

19	片岡 良浩, 野上 晋之介, 齋藤 悠, 他	歯科顎口腔外科	下顎臼後部に生じた乳頭状唾液腺腺腫の1例	日本口腔外科学会雑誌 2019 Mar;65(3):179-183	Case report
20	一ノ瀬正和, 有竹 秀美, 村上康司, 他	呼吸器内科	家族性サルコイドーシスとの鑑別に難渋した TINU症候群の1例	日本サルコイドーシス・肉芽腫性疾患学会雑誌 2018;38(1):88-92	Case report
21	福永 智広, 真山 敦, 清流 正弘, 他	矯正歯科	過去9年間の東北大学病院矯正歯科における歯科矯正用アンカースクリューの動向調査	東北矯正歯科学会雑誌 2018;26(1):3-8	Original Article
22	福永 智広, 土江 雄治朗, 解良 洋平, 他	矯正歯科	外科的矯正治療による顎顔面形態の変化に伴う顎口腔機能の改善をみた下顎両側切歯の癒合を伴う骨格性下顎前突症例	東北矯正歯科学会雑誌 2018;26(1):49-61	Case report
23	館 正弘, 今井 啓道, 西村 壽晃, 他	形成外科	顎裂手術と矯正治療の連携と工夫 東北大学病院での医科・歯科連携による顎裂部骨移植歯科との連携で可能となった形成外科での顎裂部骨移植	日本口蓋学会雑誌 2018Apr;43(2):70	Original Article
24	松井桂子, 野上晋之介, 山内健介, 他	歯科顎口腔外科	顎裂部新鮮自家腸骨海綿骨細片移植術後のX線CT画像による移植骨の経時的变化	日本口蓋学会雑誌2018 Oct;43(3):189-196	Original Article
25	館 正弘	形成外科	感染創へのアプローチ	日本褥瘡学会誌2018 Sep;20(3):229	Original Article
26	野上晋之介, 岩間 亮介, 横田 聡, 他	歯科顎口腔外科	強直性脊椎炎を伴った顎関節強直症に対し顎関節授動術を施行した1例	日口外誌2018 Oct;64(10):582-587	Case report
27	一ノ瀬正和, 佐野 寛仁, 小林 誠, 他	呼吸器内科	抗TNF α 抗体抵抗性のペムプロリズマブによる難治性大腸炎の1例	日本呼吸器学会雑誌 2018;7(6):409-414	Case report
28	福永 智広, 大柳 俊仁, 清流 正弘, 他	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューを用いて過蓋咬合、上顎空隙歯列および下顎歯列叢生を改善した上顎両側側切歯の先天性欠如を伴う骨格性II級, Angle II級症例	東北矯正歯科学会雑誌 2018;26(1):37-47	Case report
29	山本照子, 小林孝敬, 清流正弘	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューを用いて外科的矯正治療を回避した骨格性III級の抜歯症例	東北矯正歯科学会雑誌 2018;26(1):9-21	Case report
30	山田将博, 鷲尾純平, 高橋信博, 他	咬合修復科	歯科用ユニットの水質管理—“フラッシング”の重要性—	日歯理工会誌 2018;37(4):223-226	Others
31	江草宏	咬合修復科	歯周病患者に対する補綴歯科治療の専門性—『米国型 vs. スカンジナビア型』を読んで—	日補綴会誌 2018;10(3):202-208	Others
32	中澤 徹, 高橋 成奈, 横山 悠, 他	眼科	治療抵抗性緑内障に対し硝子体手術併用眼内毛様体光凝固を施行した11例の検討	臨床眼科2018 Oct;72(10):1451-1458	Original Article

33	西川仁, 高山真, 菊地章子, 他	総合地域医療教育支援部	耳鼻咽喉科領域の症状に対する漢方治療例の検討	日本東洋医学雑誌2019 Jan;70(1):18-24	Others
34	後藤 昌史	総合外科	自家臍島移植の現況	日本消化器病学会雑誌2018;115(8):706-712	Original Article
35	赤松 大二朗, 亀井尚	総合外科	手術のtips and pitfalls 大腿静脈グラフト採取	日本外科学会雑誌2018May;119(3):318-322	Original Article
36	菊地 克子, 山崎絵美, 玉淵 めい, 他	皮膚科	出生前に病変の大部分が退縮し脂肪萎縮を生じた先天性血管腫の1例	日本皮膚科学会雑誌2018Jun;128(7):1509-1514	Case report
37	海野 倫明, 相澤卓, 渡辺 和宏, 他	総合外科	術前診断が潰瘍性大腸炎であったcolitic cancerを合併したCrohn病の1例	日本臨床外科学会雑誌2018Apr;79(4):814-819	Case report
38	阪本真弥, 中目亜矢子, 小川武則, 他	口腔診断科	症例をどうみるか MRIが診断に有用であった頭頸部悪性腫瘍の2症例	JOHNS2018;34(1)	Case report
39	野上晋之介, 大竹義雄, 佐藤 工, 他	歯科顎口腔外科	上顎類腫型エナメル上皮腫に対して遊離腸骨ブロック移植後にカスタムメイド・チタンメッシュトレーと自家腸骨海綿骨細片で上顎骨二次再建を施行した1例	日口外誌2019 Jan;65(1):16-21	Case report
40	佐々木 啓一, 依田信裕, 小山 重人, 他	咬合回復科	生体内荷重測定に基づくインプラント生体力学研究の発展と課題	日本口腔インプラント学会誌2018Jun;31(2):135-143	Original Article
41	館 正弘, 柿花 隆昭, 古澤 義人, 他	形成外科	多職種介入により運動機能向上がみられた足変形を伴う末梢動脈疾患の1例	日本フットケア学会雑誌2018 Sep;16(3):141-144	Case report
42	館 正弘, 伊師 森菜, 小林 正和, 他	形成外科	体外式膜型人工肺(V-V ECMO)を使用した重症気道熱傷患者における水分バランスの検討 自験4例からの解析	熱傷2018Jun;44(2):80-89	Original Article
43	水間 正道, 片寄友, 伊勢 一郎, 他	総合外科	待機的肝胆膵術後敗血症の術前リスク因子解析および予後の検討	日本腹部救急医学会雑誌2018May;38(4):635-641	Original Article
44	阿部倫明, 野崎裕之, 中川高, 他	総合地域医療教育支援部	大学病院総合診療科初診患者のうつ状態を評価するためのハミルトンうつ病評価尺度の有用性	日本病院総合診療学会学会誌2018 Nov;14(6):556-563	Original Article
45	中山 雅晴	循環器内科	地域包括ケアシステムの展望	医療情報学会誌2018;38(1):44	Original Article
46	山田将博, 勝田悠介, 石橋実, 他	咬合修復科	東北大学歯学部におけるCAD/CAM冠模型実習システムの導入	日補綴会誌2018;10(4):335-344	Others

47	後藤 昌史	総合外科	同種膵島移植の現状と展望	日本糖尿病学会誌 2018;61(7):465-467	Original Article
48	館 正弘, 松本 学, 今井 啓道, 他	形成外科	被虐待経験を有する母親への心理社会的支援 養育者のアドヒアランスのために	日本口蓋裂学会雑誌 2018Apr;43(2):131	Original Article
49	山田将博	咬合修復科	非復位性関節円板前方転位を整復後に咬合 再構成により顎関節の安定化を図った症例	日補綴会誌 2018;10(3):247-250	Case report
50	館 正弘, 遊佐 優, 矢野 亜希子, 他	形成外科	腹部余剰皮膚切除後に術後予防的陰圧閉鎖 療法を施行した1例	日本形成外科学会誌 2018Jun;38(6):339-340	Case report
51	新部邦透, 江草宏	咬合修復科	補綴歯科領域で期待される幹細胞	日補綴会誌 2018;10(3):230-237	Others
52	海野 倫明, 佐藤 英昭, 石田 晶玄, 他	総合外科	慢性偽性腸閉塞症と鑑別を要した急性肺炎 に続発した慢性巨大結腸症の1例	日本臨床外科学会雑誌 2018Apr;79(4):820-824	Case report
53	館 正弘, 丹野 寛 大, 菅野 恵美, 他	形成外科	緑膿菌接種創の治癒過程と菌排除における NKT細胞欠損の影響	日本褥瘡学会誌2018 Sep;20(3):294	Original Article
54	海野 倫明	総合外科	臨床研究成果の国際的発信“Surgery Today” の役割	日本外科学会雑誌 2018Jul;119(4):438-440	Others

計 54件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、有害事象への適切な対応と評価、臨床研究における品質管理と質保証、臨床研究におけるモニタリングと監査、臨床研究法の概要と審査体制など。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、大学院で学位を併行して取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。

平成30年度から開始した新専門医制度による専門医研修において、全19基本領域の専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャリティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	92.33人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科(総合診療科)	准教授	25年	
下川 宏明	循環器内科	教授	40年	
青柳 哲史	感染症内科	准教授	18年	
宮崎真理子	腎臓・内分泌内科	特任教授	32年	
張替 秀郎	血液内科	教授	33年	
石井 智徳	リウマチ科	特任教授	31年	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	32年	
浅野 直喜	消化器内科	講師	20年	
沖永 壮治	老年内科	准教授	28年	
高山 真	漢方内科	准教授	23年	
福土 審	心療内科	教授	36年	
玉田 勉	呼吸器内科	講師	26年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	36年	
海野 倫明	外科(肝臓・胆のう・膵臓外科)	教授	34年	
内藤 剛	外科(胃腸外科)	特任教授	29年	
亀井 尚	外科(移植・食道・血管外科)	教授	28年	
石田 孝宣	外科(乳腺・内分泌外科)	教授	32年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	29年	
井樋 栄二	整形外科	教授	39年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
館 正弘	形成外科	教授	34年	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	31年	
山内 正憲	麻酔科	教授	29年	
八重樫伸生	産婦人科	教授	36年	
伊藤 明宏	泌尿器科	教授	29年	
青木 正志	脳神経内科	教授	27年	
遠藤 英徳	脳神経外科	講師	19年	
富田 博秋	精神科	科長	25年	
笹原 洋二	小児科	准教授	28年	
和田 基	小児外科	准教授	26年	
和田 基	小児腫瘍外科	准教授	26年	
山崎 研志	皮膚科	准教授	28年	
横倉 俊二	眼科	講師	16年	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	29年	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	29年	
上月 正博	リハビリテーション科	教授	38年	
高瀬 圭	放射線科	教授	30年	
入野田 崇	救急科	講師	24年	
渡辺 みか	病理診断科	准教授	29年	
山田 聡	歯科	教授	25年	
高橋 哲	歯科顎口腔外科	教授	36年	
福本 敏	小児歯科	教授	26年	
溝口 到	矯正歯科	教授	36年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数

平成30年4月～平成31年3月 期間中53回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 2666人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護管理について人を育成しながら、組織運営に係わる資質向上のために、「看護実践能（クリニカルラダー）」に加えて、「看護実践の組織化能力（マネジメントラダー）」システムを導入し、目標管理、人間関係能力、看護の質評価・改善、教育・研究、倫理の5項目について、経験年数別、職位別の教育プログラムを組んでいる。また、看護師長、副看護師長の研修では、更に安全・安心で質の高い看護の提供のために導入したPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム[®]）を推進するために研修を実施した。

・研修の期間・実施回数

平成30年5月～平成30年12月 期間中10回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 806人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 富永 悌二
管理担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史・医事課長 前田 光男

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部 電子カルテ	診療記録(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む)は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課及び医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	地域医療連携課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	地域医療連携課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	地域医療連携課
			患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計し、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
			年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	地域医療連携課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	地域医療連携課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	地域医療連携課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室

年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

電子ファイルで保管(医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書)

毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。

		保管場所	管理方法		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	地域医療連携課		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課		
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報室		
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課		
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 経営管理課		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 医薬品安全管理室		
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課		
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	地域医療連携課		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	地域医療連携課		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	地域医療連携課		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	地域医療連携課		
		職員研修の実施状況	地域医療連携課		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	地域医療連携課		
		管理者が有する権限に関する状況	総務課内		年度ごとに紙媒体を1つにまとめ、簿冊として保管している。
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課内		
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課内		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 富永 梯二	
閲覧担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史・医事課長 前田 光男	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要		
閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <p>(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。</p> <p>(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的開催する。</p> <p>(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。</p> <p>(4) 上記3つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。</p> <p>① 医療安全管理責任者 本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。</p> <p>② 医療安全推進委員会 本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。</p> <p>イ 分類別、職種別、レベル別の月間分析結果 ロ 分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果 ハ レベル3b以上の事案についての詳細とその改善状況 ニ 警鐘的事例に関すること ホ その他、重大事例に関すること</p> <p>③ 医療安全推進室 医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。</p> <p>④ 専門部会 医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。</p> <p>イ マニュアル作成部会 ロ 標準化推進部会 ハ 広報・教育部会 ニ インシデント審議部会</p> <p>⑤ リスクマネジャー会議 医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。</p>	

- ⑥ 医薬品安全管理室
本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。
- ⑦ 医療機器安全管理室
本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。
- ⑧ インシデント対応委員会
本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。
- ⑨ 医療事故調査委員会
医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた病院長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。
- ⑩ 特別医療事故調査委員会
病院長は、医療法第6条の10第1項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。
- ⑪ 高難度新規医療技術
高難度新規医療技術等を用いた医療を提供する場合は、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無（有・無）
- ・ 開催状況：年12回
- ・ 活動の主な内容：
 - 医療安全推進委員会
 - 以下の内容についての審議及び報告を行う。
 - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
 - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
 - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
 - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
 - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
 - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
 - (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
 - (8) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
 - (9) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
 - (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
 - (11) 前号に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
 - (12) その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年36回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ●医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者・復職者対象医療安全必修コース） ●具体的事例を取り上げた職種横断的な演習（年5回） ●ブラッシュアップ研修（年4回） ●歯科部門の医療安全研修（年2回） ●医療安全管理全般に関する講演会 ●医療倫理講演会 ●せん妄対策勉強会 ●その他医療安全管理に関する研修会（随時） 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ●事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。 ●事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。 ●重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。 ●毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っていること。 ●毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRM3名が、毎週、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 院内感染対策に関する基本的な考え方 ● 感染対策のための委員会 ● 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ● 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ● 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針 ● 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ● その他の感染対策の推進のために必要な指針 <p>『東北大学病院における感染対策の指針』 医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策ならびに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。</p> <p>(1) 感染対策のための委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。 ② 感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染予防対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。 ③ 当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。 ④ 感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT (Infection Control Team) を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。 ⑤ 抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST (Antimicrobial Stewardship Team) を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。 <p>(2) 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な研修の立案・実践を行う。 ② 感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。 ③ ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。 <p>(3) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。 ② 感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICT及びASTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。 ③ 感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合においては、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。 ④ 感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。 <p>(4) 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p>	

<p>①感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員 の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。</p> <p>②患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事 実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明 内容などについて詳細に診療録等に記録する。</p> <p>③当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並 びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。</p> <p>④死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指 示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所・東北厚生局に届出をし、報告を行う。</p> <p>⑤集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。 調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。必要に応じて、保健 所や東北厚生局などの外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。又、公 表の必要性と方法を協議し、病院長が決定する。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。 ●重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含 め管理者へ報告すること。 ●院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに 従業者への周知を図ること。 ●院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う こと。 ●医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審 議決定すること。 ●感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要 事項として対応すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年37回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オ リエンテーション、中途採用者・復職者対象感染対策必修コース） ●院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するインターネット研修 会） ●感染管理全般に関する定期講演会（年8回） ●歯科部門の感染対策研修（年2回） ●その他感染管理に関する研修会（随時） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には 毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており 、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。 また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の4職種が、毎週、月曜日に全病棟30部署の ラウンドを実施し、金曜日には外来・中央診療部門をラウンドすることによって、感染症防止 対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年35回（昨年度）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 ・ 医薬品の管理に関する業務 ・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 ・ 患者に対する与薬 ・ 未承認等医薬品の使用に関すること 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> 内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品（全277品目、平成31年3月31日現在）や、薬剤師が把握した未承認等医薬品の情報を管理している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無										
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年29回										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施 ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項 ○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項 											
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>保守点検の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工心肺装置及び補助循環装置</td> <td rowspan="7">始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器</td> </tr> <tr> <td>血液浄化装置</td> </tr> <tr> <td>除細動装置</td> </tr> <tr> <td>閉鎖式保育器</td> </tr> <tr> <td>診療用高エネルギー放射線発生装置</td> </tr> <tr> <td>診療用放射線照射装置</td> </tr> </tbody> </table>	機器	保守点検の主な内容	人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検	人工呼吸器	血液浄化装置	除細動装置	閉鎖式保育器	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用放射線照射装置	
機器	保守点検の主な内容										
人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検										
人工呼吸器											
血液浄化装置											
除細動装置											
閉鎖式保育器											
診療用高エネルギー放射線発生装置											
診療用放射線照射装置											
<p>上記保守点検について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録 ② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し 											
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)： <ul style="list-style-type: none"> ○消化器内科における脛石破碎のための電極放電式破碎装置の適用外使用 70件 ○婦人科における術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用 6件 ○肢体不自由リハビリテーション科における上下肢麻痺を治療するためのバスリーダーの適用外使用 135件 ○保存修復科における歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントを適用外使用 21件 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○未承認等医療機器を使用した診療に関しての届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。 ○添付文書等の管理 ○医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告 ○毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発 											

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副院長が、医療安全管理部門（医療安全推進室）、医療安全管理委員会（医療安全推進委員会）、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常診療において原則として説明すべき事項 ・説明は原則として主治医が行うこと ・説明は原則として患者本人に行うこと ・説明の方法 ・説明の記録方法 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>・診療録等に必要事項の記載があるか、また記載内容に齟齬がないか等の点検のため、チェックシートを使用し、入院診療計画書、医師経過記録、インフォームドコンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約等の評価を行っている。なお、点検結果は、記載の質向上がなされるよう各診療科へフィードバックし、適切な記載方法について指導している。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（１）名</p> <p>うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１）名</p> <p>うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>◎医療安全推進室</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。 (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。 (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。 (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (5) 医療安全巡視の実施及び実施状況の把握・分析に関すること。 (6) 医療安全確保のための業務改善計画書の作成、実施状況の確認及び評価結果の記録に関すること。 (7) 患者等からの相談件数、相談内容、相談後の取扱いに係る医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。 (8) 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施及び記録に関すること。 (9) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確 	

認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関する事。

- (10) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関する事。
- (11) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関する事。
- (12) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関する事。

なお、手術オカレンスと放射線読影レポートの未読状況について、医療安全推進室がモニタリングを行い、毎月の状況を医療安全推進委員会に報告している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
 - ・高難度新規医療技術担当部門の設置について
 - ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
 - ・体制に変更があった場合の確認について
 - ・高難度新規医療技術評価委員会について
 - ・報告及び通知について
 - ・実施状況等の確認について
 - ・センター長及び病院長への報告について
 - ・病院長からの停止命令について
 - ・審査資料等の保管について
 - ・秘密の保持について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

- ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
- ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
- ・未承認新規医薬品評価委員会について
- ・報告及び通知について
- ・使用状況等の確認について
- ・センター長及び病院長への報告について
- ・審査資料等の保管について

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 647 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 88 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡報告については、毎月、医療安全推進室が死亡の原因や死亡と手術との関連性の検証結果、解剖や AI の結果等について医療安全推進委員会に報告している。

3 b 以上の事例についても、毎月、医療安全推進室が内容を検証し、インシデントの原因や対策等の詳細を医療安全推進委員会に報告すると共に、必要に応じて医療安全推進委員会でも改善策の検討を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：京都府立医科大学附属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：和歌山県立医科大学附属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

○京都府立医科大学附属病院へ

・高難度新規医療技術の導入については、臨床倫理委員会において倫理性を、適応評価委員会で医学的な妥当性を、それぞれ審査されているので、両委員会の位置付けや役割を整理すると、より分かりやすい組織となると考える。

・高難度新規医療技術及び未承認薬等の導入審査を始めとし、各種の医療安全活動においては、医療安全管理責任者の負担が大きいことと推察する。医療安全管理部門においては、専任の医

師2名体制で鋭意努力されていることが伺われた。また、安全管理推進者として専従の看護師を2名配置されており、貴院の医療安全に対する積極的な姿勢を感じた。

- ・病院規模から考えると薬剤師58名という構成は、かなり少ない人数であると感じた。休憩時に薬剤部の業務も拝見したが、環境的にもきつい状況であるように思われる。適正な人員配置は医療安全にも資することとなるので、種々ご事情がおりとは思いますが、薬剤師の増員についての検討をお願いしたい。

- ・手術部及び集中治療部のオカレンス報告が実施されていたが、オカレンス報告は、それをどのように改善につなげるのかが重要であり、貴院においては、医療安全管理部門が必要に応じて働き掛けを行い、実際に手術時間の延長が減少したという効果が認められているとのこと、評価に値する活動である。

- ・医療安全監査委員会については、京都大学との従来からの連携を活用しながら運用を行って積極的な監査が実施されているとのことであり、参考となる取り組みであった。

○和歌山県立医科大学から

- ・インシデント報告のシステムが整備されており、濃厚な処置や治療を要したインシデントの把握が迅速にできていることを確認した。インシデント0レベルの報告が150件程度だったので、さらなる報告件数の増加を検討願いたい。

- ・ワーキンググループを設置し多職種との活動が、医療の質向上につながっていると感じた。

- ・活動報告に対し、病院から称賛される機会もあり、安全文化の醸成に努めていることを確認した。

- ・手術オカレンス報告は40項目に及ぶ膨大な情報をどのように分析し、改善につなげるかが課題である。

- ・薬剤師による疑義紹介件数と変更率の高さは、見習うべきものであった。

- ・放射線レポートの未読に対応するために、「確認」「閲覧」を明確に区分し、データ抽出できるシステムは今後役立つと感じた。「確認」したレポートの中で、悪性所見等に対応できていない事例が発生する可能性はあり、次の対策を検討願いたい。

- ・貴院の規模から考えると、看護師の専従は2名以上の配置が必要ではないか。

- ・未承認等医薬品の使用の状況について把握する仕組みとして、オーダ時に同意書を発行し薬剤部に届ける運用や使用状況をデータベース化し記録から必要な情報を抽出できるシステム構築など、電子カルテやシステムを利用した情報収集を積極的に行っている点は大変良い取り組みである。

- ・未承認新規医薬品の決定部門が医薬品安全管理室と未承認新規医薬品評価委員会の2段階で決定しており、医薬品安全管理者が仮承認を行うことで申請数が多くても承認できるシステムは参考にしたい。

- ・医薬品安全管理責任者は医薬品の適正使用のための注意喚起情報について、メール機能を用いて医療職全員に情報提供を行い、更に開封率の低い医師に関しては個別に配信、また紙ベースでの提供を行うとともに、医局会で医局長にも伝えるなど周知が徹底されていた。

- ・担当部門に関しては、既存の組織を活用して適切に構成、運用されていることを確認した。担当部門には臨床工学技士を含める等、より多職種からなる組織を構成することを検討願いたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会に関しては、直近3件の詳細検証を含めて、適切に開催、運営されていることを確認した。また、承認後の報告体制に関しても適切であることを確認した。 ・評価委員会の委員構成に関して、現行の職種が医師と歯科医師であった。説明と同意取得、患者の理解度確認などでは、看護師の役割が大きく、また、非専門職の視点による評価も重要と考えるので、今後、委員に看護師、事務職など幅広い職種からの選出を検討願いたい。 ・監査項目について、外部監査委員に東北大学病院の基本的な部分を理解いただくという意味も含め、当初は網羅的に行ったが、今後は個別のテーマを設定することも検討していくとのことであり、非常にシステムティックかつ効率的な監査が実施されている。
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している。

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 医療安全研修、ブラッシュアップ研修、新規採用者オリエンテーションでの研修、医療安全講演会での警鐘事例研修等を実施しており、e-learningの活用も行っている。 12月4日に特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。 また、特定のテーマを定め、年4回ブラッシュアップ研修を実施しており、職員のスキル向上に努めている。(超音波スケーラーとエアースケーラー、診療記録の記載、簡易懸濁法の基礎知識、患者急変に“気づく”等) なお、平成29年度からは、医薬品安全研修が毎月開催されている。 実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているラジオラス通信トリビア編(マークシート回答)によって検証している。

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の平成30年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講

管理者：平成31年2月6日

医療安全管理責任者：平成30年12月2日、平成31年2月6日

医薬品安全管理責任者：平成31年2月6日

医療機器安全管理責任者：平成31年2月6日

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 一 医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。 二 東北大学病院（以下「本院」という。）の管理運営上必要な資質及び能力 本院または本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。 三 本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意志とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ） ・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で基準を公表している。 (参照：http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm)
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ） ・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で委員名簿等を公表している。 (参照：http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm) 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
大野 英男	東北大学総長	○	国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第1号によるもの	<input checked="" type="radio"/> 有・無
青木 孝文	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第1号によるもの	<input checked="" type="radio"/> 有・無

滝澤 博胤	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有・無
早坂 忠裕	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有・無
植木 俊哉	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有・無
下間 康行	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有・無
林 富	医療法人社団スズキ病院理事長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	有・無
近藤 丘	東北医科薬科大学 病院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	有・無
五十嵐和彦	東北大学医学系研究 科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有・無
佐々木 啓一	東北大学歯学研究 科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有・無
川島 隆太	東北大学加齢医学 研究所長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有・無
佐藤 和宏	宮城県医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第5号によるもの	有・無
永井 幸夫	仙台市医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第5号によるもの	有・無

*当該「東北大学病院長候補者選考会議」は、病院長候補者の選考が必要な場合に設置され、選考が完了したら廃止されることとなっている。そのため上記委員会は平成30年度当時のものとなっている。

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項。 ・審議の概要の従業者への周知状況 合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富 永 悌 二	○	医師	病院長
高 橋 哲		歯科医師	総括副病院長
張 替 秀 郎		医師	副病院長
石 岡 千加史		医師	副病院長
亀 井 尚		医師	副病院長
五十嵐 薫		歯科医師	副病院長
江 草 宏		歯科医師	副病院長
鈴 木 由 美		看護師	副病院長・看護部長
藤 森 研 司		医師	病院長特別補佐
高 野 忠 夫		医師	病院長特別補佐

下川宏明		医師	循環器内科長
宮崎真理子		医師	腎・高血圧・内分泌科
片桐秀樹		医師	糖尿病代謝科
正宗淳		医師	消化器内科
荒井啓行		医師	加齢・老年病科長
福土春		医師	心療内科長
一ノ瀬正和		医師	呼吸器内科長
海野倫明		医師	総合外科長
内藤剛		医師	総合外科長
亀井尚		医師	総合外科長
石田孝宣		医師	総合外科長
齋木佳克		医師	心臓血管外科長
井樋栄二		医師	整形外科長
館正弘		医師	形成外科長
山内正憲		医師	麻酔科長
井上彰		医師	緩和医療科長
岡田克典		医師	呼吸器外科長
久志本成樹		医師	救急科長
島田宗昭		医師	婦人科長
齋藤昌利		医師	産科長
伊藤明宏		医師	泌尿器科長
青木正志		医師	神経内科長
富田博秋		医師	精神科長

呉 繁 夫		医師	小児科長
青 木 洋 子		医師	遺伝科長
仁 尾 正 記		医師	小児外科長
笹 原 洋 二		医師	小児腫瘍科長
相 場 節 也		医師	皮膚科長
中 澤 徹		医師	眼科長
香 取 幸 夫		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科 長
出 江 紳 一		医師	肢体不自由リハビリテーション 科長
中 里 信 和		医師	てんかん科長
上 月 正 博		医師	内部障害リハビリテーション科 長
鈴 木 匡 子		医師	高次脳機能障害科長
神 宮 啓 一		医師	放射線治療科長
高 瀬 圭		医師	放射線診断科長
小 関 健 由		歯科医師	予防歯科長
溝 口 到		歯科医師	矯正歯科長
齋 藤 正 寛		歯科医師	保存修復科長
佐々木 啓 一		歯科医師	咬合回復科長
山 田 聡		歯科医師	歯周病科長
江 島 豊		医師	材料部長
笹 野 公 伸		医師	病理部長
石 井 正		医師	総合地域医療教育支援 部長

中山雅晴		医師	メディカルITセンター 一部長
菊池雅彦		歯科医師	総合歯科診療部長
服部佳功		歯科医師	高齢者歯科治療部長
小山重人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部
真野成康		薬剤師	薬剤部長
梁川功		放射線技師	診療技術部長
山腰俊昭		事務職員	事務部長
飯久保正弘		歯科医師	周術期口腔支援センター 一長
加藤裕光		歯科技工士	診療技術部歯科技術部 門長
佐藤智昭		歯科医師	総括副病院長特別補佐
黒澤一		医師	安全衛生管理室長
藤盛啓成		医師	医療安全推進室長
徳田浩一		医師	感染管理室長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（一部有）
- ・ 公表の方法
病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。
病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副院長及び副院長に関する申合せ」、「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。
- ・ 規程の主な内容
「東北大学会計規程」においては、部局の長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。
「東北大学病院の総括副院長及び副院長に関する申合せ」では、病院長が総括副院長及び副院長候補者を指名し、総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。「東北大学病院専門別診療科内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は、病院長が任命することを定めている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
本院では、歯科部門の責任者として総括副院長を1名置き、医科部門の副院長3名、歯科部門の副院長を2名置いている。また、現在、病院長特別補佐を23名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、次世代の病院運営を担う層に対して「トップセミナー」も実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>・ 以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。</p> <p>イ 医療安全管理に係る体制</p> <p>ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況</p> <p>ハ 医療安全推進室の業務の状況</p> <p>ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況</p> <p>ホ その他医療安全管理に関して必要な事項</p> <p>・ 必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</p> <p>・ その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

国立大学法人東北大学監事監査規程（公表）において、本学の監事監査の目的として「関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査する」と定められている。この監査事項の詳細は、国立大学法人東北大学監事監査実施細則（非公表）に定められており、第3条第1項第9号に「病院管理者の業務の法令適合状況」が明記されている。
また、同監事監査規程においては、監査報告書に基づき改善すべき事項がある場合には、総長（病院開設者）は速やかに改善の措置を講ずることとされており、取組の有効性を検証し、適時に見直しを行う体制が構築されている。

・ 専門部署の設置の有無（有・無）

・ 内部規程の整備の有無（有・無）

・ 内部規程の公表の有無（一部有・無）

・ 公表の方法

国立大学法人東北大学監事監査規程は国立大学法人東北大学規程集 (http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01.html) にてweb公開されている。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<p>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。 この会議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。</p> <p>・ 会議体の実施状況（年2回）</p> <p>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年2回）</p> <p>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 公表の方法</p>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
林 憲	医療法人社団スズキ病院 スズキ記念病院理事長	○	有・無
近藤 丘	東北医科薬科大学病院・院長		有・無
朴澤 泰治	学校法人朴沢学園理事長		有・無
一力 雅彦	河北新報社代表取締役社長		有・無
大山 健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長		有・無
田苗 博	東北電力株式会社取締役副社長		有・無
小林 英文	株式会社七十七銀行取締役頭取		有・無
深澤 ひとみ	ブルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社 執行役員		有・無
伊藤 直之	伊藤・根本法律事務所弁護士		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 <p>窓口が設置された平成28年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。</p> <p>また、毎年4月当初に開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布している。</p>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成27年2月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。 また、病院広報誌の刊行を定期的で開催するほか、河北新報に「気になる症状すっきり診断」と題した連載を掲載し、本院の診療に関する取り組みについて紹介している。 さらに、これまで仙台市内で開催していた市民公開講座を刷新し、宮城県内の地域に出向いて最新の医療を分かりやすく紹介する「つながる健康講座」を開催することとしている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し、効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を整備している。 また、平成29年度には個別化医療センターを設置し、複数診療科体制で、血液検体や組織検体を採取し、がんゲノム医療をはじめとする未来型医療を邁進している。	